

林原編年	山陰地方			瀬戸内
	西部	中部	東部	
鳥式	島式	島式	島式	福田K2式古段階
幕地式	幕地式	幕地式	幕地式	福田K2式新段階
林原Ⅰ期				
林原Ⅱ期	刻目墳帶文土器群？	(松ノ木式類似土器) (北原木振D-T05段階)		布勢式古段階 大浦浜下層式
林原Ⅲ期	(イセ遺跡)	林原式		布勢式新段階 なつめの木式
林原Ⅳ期		崎ヶ鼻1式	(桂見遺跡・栗谷遺跡)	津雲A式
林原Ⅴ期	+	崎ヶ鼻2式	(智頭枕田遺跡S1資料?)	彦崎K1式

第132図 山陰地方の縄文後期中葉の編年試案

客体的である点など、崎ヶ鼻式には無い特徴を多く持つ。これらは、母体となる布勢式からの連続的な変遷を追えるため、山陰東部には中部とは異なる型式が成立していた可能性が高い。

当地の土器は、口縁部を平板上に肥厚させ、区画文を配する津雲A式的要素と、多条沈線による文様意匠を基本とする北白川上層式1期的な要素に加え、崎ヶ鼻式的要素である入組文を持つなど、隣接する地域の特徴を兼ね備えた土器として理解される。

該期の土器は柱見遺跡（牧本他編1996）や東谷遺跡（岡岡編1989a、1989b、1990）でまとまって出土しており、以下のような変遷が追える（第130図）。林原式並行の土器は、比較的ゆるやかな波状口縁を呈し、一条の沈線による入組文や連弧文、区画文が施される（9~16）。双頭の波頂部を持つものも該期に属すると思われる。続く崎ヶ鼻1式並行期になると、沈線の数が増え、多条沈線による入組文や山形文、区画文を描く（17~22）。そして崎ヶ鼻2式並行期の土器（23~33）は、波頂部がより急角度になることで、相対的に口縁部主文様の描かれる面積が増え、沈線のさらなる多条化へと向かう。区画文は姿を消し、口縁部主文様と從文様を連結した文様が主体となる。前段に比べ口縁部肥厚帯がゆくなり、口縁端部を面取りするものが増えるようだ。まとめた資料としては、最近報告された智頭枕山遺跡S1資料（酒井編2006）が相当するかもしれない。ただし、これらの検討は確たる根拠があるわけではないので、今後の課題としておきたい。

山陰西部ではイセ遺跡出土土器群（渡辺編1993）がある（第131図）。これらも、前段階の刻目墳帶文土器群からの変遷がうかがえ、崎ヶ鼻式とは異なる特徴を有していると言える。

さて、これまでの検討をもとにして、千葉農（千葉1989）、柳浦俊一（柳浦2000）、山崎真治（山崎2003）らの研究成果を参考に作成したものが第132図の縄文表である。これを見ると、山陰地方は縄文成立期を境に東部、中部、西部に分かれ、それぞれが近接する地域の影響を受けながら独自に展開していることが分かる。こうした地域区分は、土器の底部形態（幸泉2004）や石器製作技術構造（稻山2007）、堅穴住居や石圓炉、石棒（濱田2000）などからも言及されており、縄文成立期以降に細かな地域性が顕在化していることは間違いないと思われる。

註

- (1) このような考えは、より強い屈曲を見せる布勢式には柄状把手が多用され、比較的くびれの弱い松ノ木式や櫛式には柄状把手がほとんど見られない点からも支持される。
- (2) 千葉農氏のご教示による。
- (3) 時期は異なるが、彦崎K2式先行土器群の内文にも同様の解釈が与えられている（橋本1991）。
- (4) この指標を用いると、山陰中部の後期土器類改進構のうち、そのほとんどが磨消繩文土器期に帰属される。後期の土器理説改進構の特徴は、逆位で埋められ底部が欠損している点である。興味深いことに、前谷谷遺跡の埠耳壺や埠地遺跡の浅鉢の底部が意図的に打ち抜かれた状態で出土しており、該期には底部の打ち抜き行為が、頻繁に行なわれていたのかもしれない。

第2節 林原遺跡出土剥片石器群の石器製作技術構造

1. はじめに

林原遺跡では、磨消縄文土器期から縁帯文土器期にわたる石器群が出土している。これらのうち、特に剥片石器に焦点をあて、その製作技術について検討してみたい。その際に、まず帰属時期の明確な肥厚型縁帯文土器期の資料を分析し、その後に磨消縄文土器期、縁帯文成立期の石器製作技術構造を抽出する。なお、石器の分類には筆者の論文（稻山2005、2006、2007）を用いる。

2. 肥厚型縁帯文土器期の石器製作技術構造

i) 林原Ⅲ期～V期の利用石材

第133図は、林原Ⅲ期からV期にかけての石材別利用表である。これを見ると、点数、重量ともに最も多く利用されているのは黒曜石であることが分かる。従来、山陰地方の縄文後期はサヌカイトの利用が増加する時期とされてきたが（竹広2000など）、肥厚型縁帯文土器期では黒曜石の利用率が高いようだ。統いて利用率が高いのはサヌカイトで、点数では黒曜石の2分の1、重量では3分の1が利用されている。

以上から、林原遺跡の石器製作は黒曜石を主要石材としていたと判断され、林原遺跡の石器製作技術構造を復元するにあたって、まず黒曜石製の石器製作工程の検討から始めよう。

ii) 黒曜石製石器製作工程

【素材搬入形態】

黒曜石の素材搬入形態を検討してみる。林原遺跡では黒曜石原石の出土は見られなかったが、SK18より興味深い資料が出土している。第68図1と2は、大型剥片を素材とした石核で、両者は土坑内に納められていた。出土状況から見て黒曜石貯蔵穴と判断され、山陰地方では初の検出例となる。出土した黒曜石は、接合して大角礫に近い状態になる。黒曜石製の大角礫は、黒曜石利用の高まる縄文前期には認められず、唯、原産地直下に位置する隱岐の島町宮尾遺跡でのみ確認されている（稻山2005）。後期の例としては、米子市古市河原田遺跡（鳥取県教育文化財団編1999）や、時期不明ながら可能性の高い資料として家の後II遺跡（熱山編2007）などがあげられる。類例は少ないが、素材搬入の一形態として大角礫が採用されていた可能性が高いだろう。こうした黒曜石貯蔵穴や大角礫の存在から、後期段階には前期と異なった黒曜石流通形態がとられていたと推測される。具体的にどのような流通形態がとられていたかは、さらなる検討が必要であるが、こうした黒曜石製大角礫を保有する遺跡が、黒曜石流通の際に中核となっていたと推定される。

Tool													
	Cr	Pt	Fl	Ch	Ah	Aspl	Ses	鉄	釘	N	Rf	Uf	計
Ob	3	18	46	84	8	7	3	2	4	10	186		
Sen	2	1	24	29	19	7	3	5		1	92		
点数													
An	1	4	4			1					10		
As													
Sh											3		
Cr	1										2		
計	7	20	76	120	27	15	4	5	3	2	5	11	294

Tool													
	Cr	Pt	Fl	Ch	Ah	Aspl	Ses	鉄	釘	N	Rf	Uf	計
Ob	2	5	29	78	6	4				2	1	3	129
Sen	12	61	52	19	3	3	3	3	3	1	1	3	159
点数													
An		10	4								1		11
As													
Sh													
Cr		2	3								1		3
計	2	17	182	132	25	7	3	3	1	3	5	4	308

Tool													
	Cr	Pt	Fl	Ch	Ah	Aspl	Ses	鉄	釘	N	Rf	Uf	計
Ob	30.8	93.8	83.6	30.6	55.9	20.5	2	7	6.4	5.1	25.6	93.2	
Sen	13.2	1.4	42.7	8.9	16.1	13.6	9.7	42.9	2.1	6.4	18.1		
点数													
An	48.2		21.5	1.6		30.6					70.2		
As			1.6	1		1.4					4		
Sh			0.9								0.9		
Cr	2.8	2.6									5.4		
計	97.8	100.4	43.2	21	39.5	21.0	11.7	47.9	7	6.4	2.2	46.9	

Tool													
	Cr	Pt	Fl	Ch	Ah	Aspl	Ses	鉄	釘	N	Rf	Uf	計
Ob	3.5	16.3	58.1	19.7	5.2	6.7				3.8	1	8.2	123.3
Sen	40.8	135.1	17.6	31.0	-5.5				19	4.8	3	12	248.3
点数													
An		117.7	5.9							50.6		2.7	68.6
As													
Sh												2	
Cr		3.2	2							3.3		11.8	
計	3.5	57.1	316.4	45.4	18.5	12.2	-36.3	19	4.8	6.8	15.7	11.5	125.8

第133図 林原Ⅲ～V期の石材利用

第134図 林原Ⅰ～V期の石材利用

【剥片剥離技術】

統いて、剥片剥離技術について検討する。石核は、大角礫を分割した大型剥片を素材としており、求心的に剥離し残核形状が盤状のもの（C類石核、稻田2007分類）、打面を頻繁に転移し残核形状がサイコロ状のもの（D類石核）、一方向から交互剥離を行ない残核形状がチョッピングトゥール状のもの（G類石核）の3者が存在する。

C類石核（第68図2）は剥離面や礫面を打面とし、径が5mm程度のハードハンマーを用いた直接打撃によって剥離している。剥離角は幅広く、60度から120度である。剥離面の末端は大きなヒンジになっており、手首にスナップをきかせて、石核中心部へ向けて深めに加撃していたことが分かる。そのため、得られた剥片はかなり分厚いものであったと思われ、最低でも8mmから1.5cm程度の厚さの不定形剥片が予想される。

D類石核（第91図1）は、厚めの剥片を素材として径が1mm程度のソフトハンマーによって剥離している。剥離角はおおむね110度から120度にまとまり、剥片は小型で薄手のものが大半だったと推測される。

G類石核（第68図1）は、径が2mm程度のハードもしくはソフトハンマーによる直接打撃で、剥離作業面を交互に入れ替ながら剥離している。剥離角は70度から80度と規則的である。石核の下端部側が平坦であることから、こちら側を手で固定して剥離していたと推測される。剥離の末端はフェザーエンドが多く、剥離される剥片は比較的薄い幅広剥片であったようだ。また、実測岡左面左側縁の剥離面には、ハンマーの打撃痕が残っており、剥離失敗の痕跡と判断される。

この他に剥片生産が想定される器種として、楔形石器（E類石核）があげられる。林原遺跡では多量の楔形石器が出土しており、石器組成の中でも主体をしめる。厚めの剥片を素材とし、径が1mm程度のソフトハンマーを用いた垂直加撃で、線状打面を持つ薄手の小型綫長剥片を剥離している（第75図6、7）。また、楔形石器の中には平坦打面を持つものが多く、当初から打面と作業面の区別が行なわれていたことが分かる。

以上から林原遺跡の剥片剥離技術を復元すると、

- ①剥片剥離技術Ⅲ：大角礫→大型剥片→ハードハンマーによる求心剥離→厚手の大型不定形剥片
- ②剥片剥離技術Ⅳ：厚めの剥片→ソフトハンマーによるランダムな剥離→薄手の不定形小型剥片
- ③剥片剥離技術Ⅴ：厚めの剥片→ソフトハンマーによる両極技術→薄手の小型綫長剥片
- ④剥片剥離技術Ⅵ：大角礫→大型剥片→ハード、ソフトハンマーによる交互剥離→薄手の大型幅広剥片

としてまとめられる。石核の出土量から各剥片剥離技術の割合を見てみると、①：②：③：④=1:1:18:1となり、剥片剥離技術Ⅴが大多数であったようだ。次は、得られた剥片がどのように器種利用されるかを検討してみる。

【器種製作技術】

今回認定された黒曜石製石器の器種は、石錐、石錐1類、石錐2類、釣針型石器、ノッチ、R.F.、U.F.、楔形石器であり、S.S.C等の刃器類は製作されていない。残存する素材面の観察から、石錐、石錐1類、ノッチには薄手の剥片を、石錐2類や釣針型石器、楔形石器には、厚手の剥片を多用する傾向にある。従って、前者は剥片剥離技術Ⅳ、V、VIと親縁性が高く、後者は剥片剥離技術Ⅲと対応することが指摘できよう。ただし、両者は排他的な関係ではなく、あくまでも傾向として認め

られるものである。

石錐は、基部から先端部にかけて平坦な押圧剥離が施される。円基式が多いが、早期や前期のものに比べると抉りが浅い傾向がある。また全体的に小型で2cm前後に収まる場合が多い。

石錐1類は、薄手の剥片を用いて急斜度押圧剥離で錐部を作出している。基部は素材面を残すものが多く、ほとんどの資料が折断調整を行なっている。石錐2類は、厚手の剥片を利用し、平坦剥離や急斜度押圧剥離を用いて複数面を加工することで立体的な錐部を作り出している。これも基部に素材面を残す傾向があるが、折断調整は少ない。

釣針型石器は、該期に特徴的に組成される器種である。急斜度押圧剥離によって全面を整形し、釣針状に加工する。中には本物の釣針のように逆刺がつくものも存在する。基部は、折断もしくはU字状に加工される。用途は不明だが、第61図17は先端に桶状剥離が確認され、これが使用による結果であるなら、何らかの刺突具としての機能が想定される。

ノッチは、急斜度押圧剥離を用いて抉りを入れ、刃部としている。抉り以外の箇所に微細剥離痕が見られることも多く、多機能的な器種と考えられる。

R Fは、そのほとんどが石錐や石錐の未製品と考えられ、また刃器として用いられたものも含まれるようだ。U Fは薄手の剥片の鋭いエッジをそのまま用いている。

iii) その他の石材の石器製作工程

統いて、その他の石材の石器製作工程を検討する。サヌカイト製石器製作工程では、大型剥片を素材とした剥片剥離技術Ⅲと剥片剥離技術Vによって、薄手の小型剥片を剥離している。得られた剥片は、黒曜石とはほぼ同じ器種に加工されるが、小型SSCや抉入石器などの刃器類は、サヌカイト製石器製作工程のみに配置され、器種製作における石材別の使い分けとして注目される。

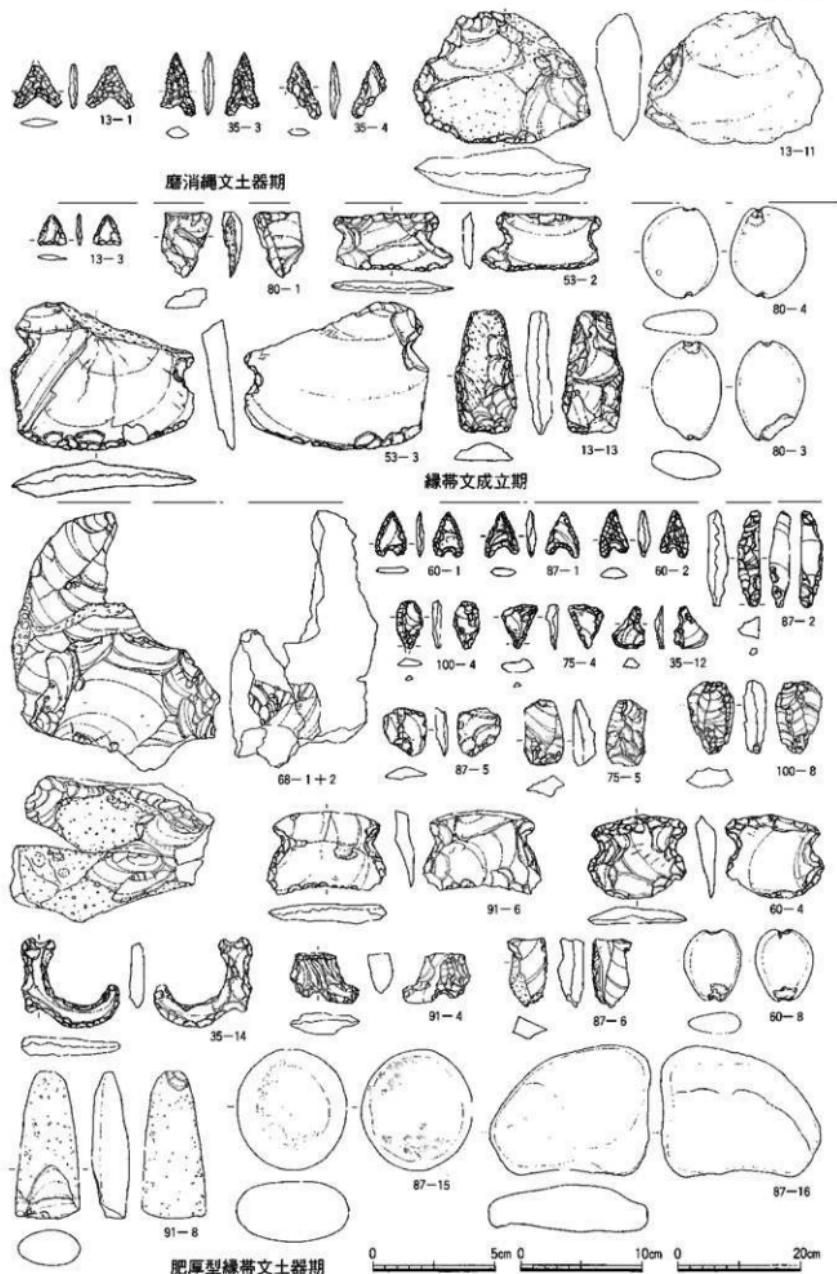
小型SSC（第75図8）は、押圧剥離によって刃部を作出し、折断調整が見られる。抉入石器（第60図4、第91図6など）は、大型剥片を用いるものが多く、搬入された剥片をそのまま用いて加工していたと推測される。急斜度押圧剥離で抉部を作り、刃部は未調整の場合が多い。刃部が使用によって摩滅しているものが散見され、かなり頻繁に利用されていたことが分かる。

次に安山岩製石器製作工程を見てみる。大粒の斑晶が入る安山岩を使用しており、このような石材は斐伊川中流域で採取可能である。石核は、大型剥片を用いたG類石核（第87図8）があり、2mmから3mm程度の径を持つソフトハンマーを用いて大型幅広剥片を剥離している。この点は、黒曜石製のG類石核と共通し、剥離技術とハンマーに何らかの対応関係が存在していた可能性がある。

大型剥片の用途は不明だが、DT5では流紋岩製の大型SSC（第87図7）が出土しており、DT1-2でも斑晶の多い安山岩を用いた大型SSCが見られることから、大型刃器類への利用が考えられる。この他に、玉髓・メノウや水晶も用いられているが、量的に僅かであるため割愛する。

iv) 林原型石器製作技術構造

これまでの分析をまとめ、林原遺跡の石器製作技術構造を復元する。林原遺跡では、黒曜石製石器製作工程を主体としながら、刃器類の製作においてサヌカイトと石材別の使い分けが確認できた。このような技術構造は、早期や前期でも一般的に見られ、その意味では山陰地方の伝統的な石器製作技術を継承していると言えよう。だが一方で、黒曜石の大角礫を搬入する点、大角礫と結びついで剥片剥離技術Ⅲが見られる点、剥片剥離技術Vが圧倒的主体となる点、釣針型石器や抉入石器など新たな器種が製作される点などから、早期や前期の石器製作技術構造とは区別可能であり、この



第135図 林原遺跡出土石器変遷図 (S=1/3, 1/6, 1/12)

ような石器製作技術構造を、林原遺跡出土資料を標識として林原型石器製作技術構造と設定する。林原型は山陰地方の肥厚型縁帶文土器期に成立し、その分布範囲は、三瓶山以東から大山にかけての山陰地方中部域に広がっている（稻田2007）。これは、林原式や崎ヶ鼻式の分布範囲とおおむね重なると考えており、山陰中部の地域性を表す要素として注目される。では次に、磨消繩文土器期、縁帶文成立期の石器製作技術構造を抽出してみよう。

3. 磨消繩文土器期、縁帶文成立期の石器製作技術構造

第134図は、磨消繩文土器期から肥厚型縁帶文土器期の資料が混在するDT1-1、DT1-2、DT4の利川石材別器種別一覧表である。これを見ると、肥厚型縁帶文土器期とは異なり、サヌカイトが最も多く利用されていることが分かる。また、安山岩や頁岩、水晶などの地元石材が比較的多いことも指摘しておきたい。製作される器種は、鋸齒縁鉋やサヌカイト製打製石斧など、林原型にはない器種が存在する。これらのことから、磨消繩文土器期と縁帶文成立期には、肥厚型縁帶文土器期とは違う石器製作技術構造がとられていたと判断される。

最も多くの石器を出土したDT1-1・2は、林原型との混在が予想されるためより純粹な時期的まとまりを持つ資料を例示すると、磨消繩文土器期の資料として奥出雲町前田遺跡（西尾他編2005）が、縁帶文成立期の資料として同町北原本郷遺跡DT05資料（黒田他編2007）があげられる。

前田遺跡では、黒曜石を用いて鋸齒縁鉋などの石鏃を製作する工程と、安山岩や頁岩など地元の石材を用いてUFなど刃器類を作る工程の2者があり、これを前田型石器製作技術構造と呼ぶ。

北原本郷遺跡DT05では、サヌカイトを主体とした石器製作が行なわれ、石鉋や石錐、大型SSCなどが作られる。特に注目されるのは新たに登場した抉入石器と打製石斧で、両者ともサヌカイトが用いられる。抉入石器は、林原型のそれと比べて若干大型であり、長さ4cm以上の大型剥片を素材としている。サヌカイト製打製石斧は、石材が剥片石器と共通していることから、その調整剥片を他の器種へと利用することができ、この点は山陰地方の石器製作技術と一線を画する。こうした石器製作技術構造を北原本郷型石器製作技術構造と呼ぶ。

このように、当地域の石器製作技術構造は前田型（磨消繩文土器期）、北原本郷型（縁帶文成立期）、林原型（肥厚型縁帶文土器期）の3者を確認できる。ではここで、改めてDT1-1・2、DT4の資料を整理してみよう。林原型と推定される資料を差し引いた残りの石器群のうち、黒曜石やサヌカイト製鋸齒縁鉋と、安山岩や水晶製刃器類は前田型に、サヌカイトを多用した石器群や大型の抉入石器、サヌカイト製打製石斧は北原本郷型に比定できる。従って、DT1-1・2、DT4の資料は、これら3類型の混在と理解でき、これは上器型式の混在状況と合致している。

4. まとめ

以上、林原遺跡の石器製作技術構造を分析してきた。その結果、林原遺跡では前田型→北原本郷型→林原型と、3段階の時期的変遷が認められた（第135図）。そこには、石材利用を軸とした大きな画期が存在しており、背景には、人間集団の動きや生業・居住戦略の変化が関与していると想定している（稻田2007）。また、これまで石器の時期決定には土器型式のみが用いられてきたが、石器そのものからもある程度時期を決定しうることを示した。今後もこうした検討を通じて実証的に行ない、繩文時代石器群の編年を確立していく必要があるだろう。

第3節 林原遺跡から見た山陰地方縄文後期集落の一様相

1.はじめに

山陰地方の縄文時代集落像は、高橋謙（高橋2000、2001）や山田康弘（山田2002）によって大枠が論じられている。両者は、山陰地方の遺跡群が概して小規模である点を確認した上で、高橋はこれを農耕集団の散村形態と捉え、山田は2棟単位の世帯または家族による、移動や定住を繰り返すフレキシブルな居住形態の現われと説いた。解釈こそ異なるものの、両者の議論の中心に据えられているのは、東日本との比較の中で抽出された遺跡の「小規模性」であり、この点は山陰地方に留まらず西日本全域で議論の焦点になっている（瀬戸2005など）。

しかし、一概に「小規模」といっても、その中にも多様な遺跡間格差は存在しているのであって、これは東日本との比較の上では見出すことはできない。あくまで、山陰地方内部での比較作業が必要であり、特に志津見・尾原ダムの成果を得た今、こうした検討が具体的に行なえる段階にきていくと言えよう。ここでは、前節で検討した土器と石器の分析を踏まえ、肥厚型縄文土器期の集落像について、林原遺跡を中心に検討してみたい。

2. 肥厚型縄文期における林原遺跡の集落像

林原遺跡の最大の特徴は、時期の異なる土器溜まり（以下DT）が環状を呈して検出されたことである。そこでまず、これらDTの性格について検討してみよう。

第136図はDTごとの特徴をまとめたものだが、まず注目したいのは、DT直下に検出された焼土や石臼炉、硬化面などの遺構である。これらは通常住居址に伴う遺構で、特に単独での検出例が少ない石臼炉は、そこに住居址が存在していたことを強く示唆する。

また、唯一明確に住居址と認定できるS101では、住居址内の埋土に多量の遺物が一括発見されていた。同様の発見事例は、松江市勝負遺跡（川原編2007）や家の後II遺跡（黒田編2007）でも確認できる事から、DTの成因もこれに準じて考えることができるだろう。以上から、DTの直下には、屋内炉を備えた住居址が存在していた可能性が高いと思われる⁽¹⁾。

DTの特徴について、もう少し詳しく見てみよう。各DTは直下の遺構の他に、周間に焼土や配石遺構、土坑、石器集中区、石錐溜まり、土偶を伴うことが多い（第136図）。焼土は屋外炉、配石遺構は配石遺構04、09など墓坑と推定されるものを含む。石錐溜まりは10点程度のまとまりを持ち、これを魚網具の1単位とするなら、住居ごとに魚網具を所有・保管していたと言える。土器や石器は、DTごとに安定的な器種組成を示し、特に剥片石器は、剥片・チップ類を中心とした石器集中

	DT1-1・2	DT2	DT3	DT4	DT5	DT6	DT7	DT8	S101
燒 土		O	O				O	O	O
DT 直下	伊						石臼炉		
硬 化 面			石臼炉						
		O					O	O	
燒 土	O	O				O	O		O
配石遺構	O	O			O	O	O		O
DT 周辺									
土 坑	O	O	O	O					
石器集中区	O	O	O				O	O	
石錐溜まり	O	O			O	O			
土 偶	O	O	O				O		O
石 磨	178	29	6	5	73	19	83	0	4

注1：DT1-1・2の石錐は両者の合計数である。内訳はDT1-1で69点、DT1-2で108点となる。

注2：DT2、DT5、DT6の右側は石錐溜まりの点数も含めている。

第136図 DT直下及び周辺の遺構・遺物一覧

部がDTに隣接されていることから、石器製作がDTごとに独立して行なわれていたと判断される。この他に「第二の道具」とされる上偶も、DTやSIに付属して見つかることが多く、祭祀具も住居単位での保存が推定される。

以上をまとめると、林原遺跡のDTは、屋内炉を配した住居址に加え、それぞれが屋外炉、墓、土器や石器製作、祭祀具といった、集落を構成する一連の要素を備えていることが分かるだろう(第137図)。すなわち各DTは、各々が独立して完結的な経済活動を営むことを可能にしており、概期の住居址は、生産・消費における最小の単位として理解することができよう。山田康弘の検討によれば、1住居址の居住人数は5人以下であったとされ、これらは何らかの血縁関係を持つ家族ないし世帯であった可能性が指摘されている(山田2002)。従ってここでも、DTを形成した集団を、5人程度の家族や世帯として捉えておこう。

さて、各DTを住居址と仮定した場合、林原遺跡には最低9棟の住居址を認定することになる。しかし第1節で見たように、各DTには時期差が存在しており、全ての住居址が同時存在しているわけではない。1時期に限定できるDTは少ないが、遺跡利用の極大値を向かえる林原式期について見てみると、少なくともDT3、DT6、DT7が同時併存していたと思われ、DT1-1もその可能性を持つ。続く崎ヶ鼻1式期には減少するが、崎ヶ鼻2式期にはDT2、DT8、SI01とやはり最低3棟が併存するなど、複数棟の同時併存は間違いないと思われる。

このように、林原遺跡では各々が自立性を持った家族ないし世帯が、複数集まって生活する方が復元される。DTが環状を呈する理由についてはなお検討を要するが、居住空間の重層的利用の結果であることは間違いない、この点において東日本的な集落構造を読み取ることができるだろう。以上、林原遺跡の集落像について検討を行なった。次節では、肥厚型縁帶文土器期の生業・居住戦略について、他遺跡の資料も交えて検討してみよう。

3. 山陰地方中部の住居址検出遺跡の二種

前節までの分析結果から、山陰地方の縄文後期前半期は、いくつかの両期や地域差が存在することが分かった。従って、ひとえに「縄文時代後期」と言っても、時期や地域ごとに想定される集落像が異なっている可能性があり、これらを一括りにして検討しては、難多な結論しか生み出せなくなってしまう。そこでまず、本稿で取り扱う時期と地域を設定することにしよう。

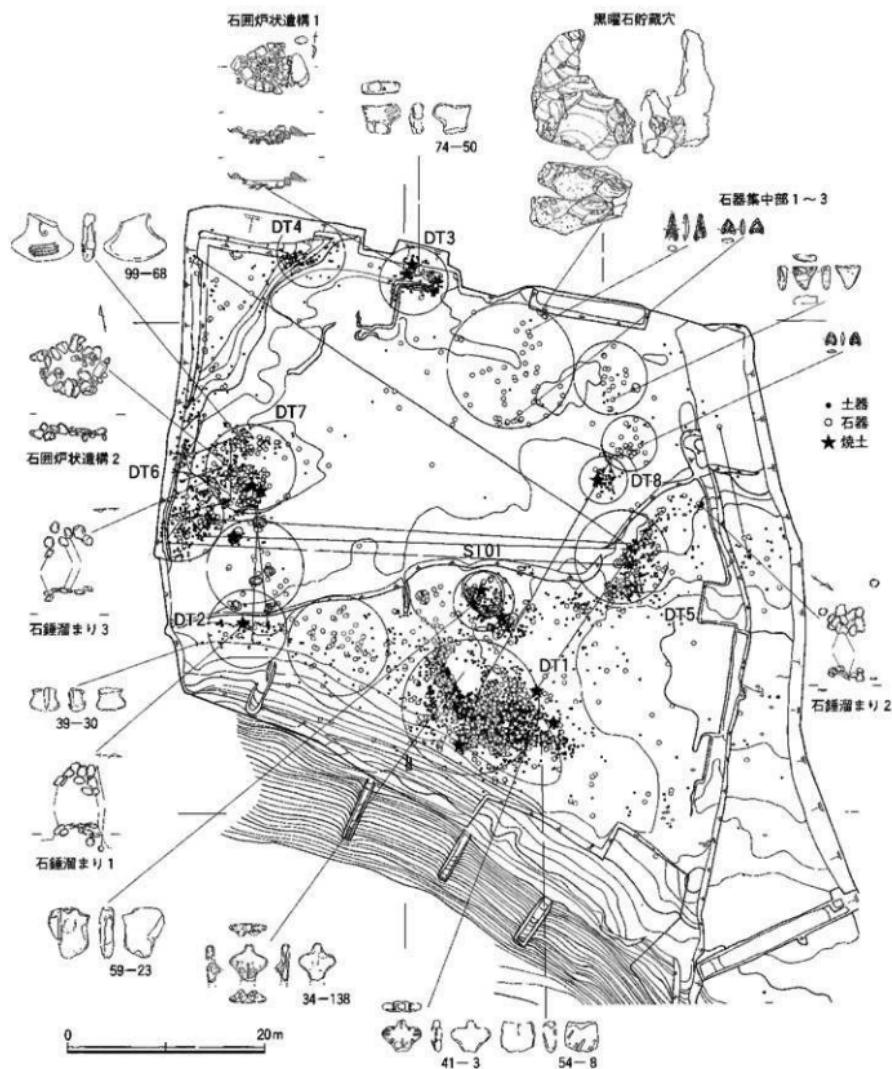
時期は、山陰地方でも比較的資料の充実している肥厚型縁帶文土器期の資料を用い、地域は一概山以東から大山までを設定する。当地域は、林原式や崎ヶ鼻式土器、林原型石器製作技術構造が分布し、また、土偶や岩偶の多出域とも合致する。従って当地域は、土器型式や石器製作技術構造、祭祀具等の文化要素を共有する地域単位として区別でき、これを山陰中部と呼称する。

山陰中部の肥厚型縁帶文土器期の住居址検出遺跡を概観してみると、大きく以下の2類に分類される。

1類：1棟程度の住居址のみで構成される遺跡。

2類：多数の土器溝より群⁽²⁾（住居址）や多数の焼土で構成される遺跡。

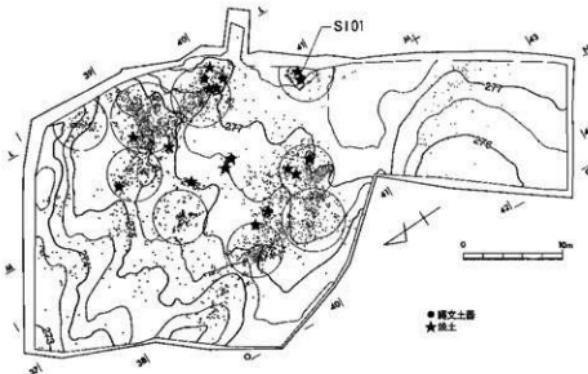
1類に属する遺跡は、出雲市御領山遺跡(角田編1994)、松江市勝負遺跡(川原2007)、飯南町五明田遺跡？(山崎編1999、2001)、同町貝谷遺跡(神社編2002)、雲南省家の後II遺跡(熱田他編2007)、米子市大下畑遺跡(鳥取県教育文化財図編1994)、同市百塚第7遺跡(鳥取県教育文化財図



第137図 林原遺跡全体図 (S = 1/500)

分類	遺跡	遺構名	時期	形態	大きさ (m)	深さ (m)	炉	柱穴	備考
1類	御領田遺跡	堅穴住居跡	林原式	隅丸方形	(1.7) × (3.0)	50	なし	15以上	一部欠損
	貝谷遺跡	2号堅穴住居跡	林原式	隅丸方形	3.6×3.6	42	地床炉	なし	壁面に礫が壁を沿うように積出
	勝負遺跡	堅穴住居	林原式	隅丸方形	3.6×2.6	45	地床炉	44	一部欠損。壁柱穴を伴う
	百塚第7遺跡	S 101	崎ヶ鼻1式	隅丸方形	4.3×(3.6)	70	地床炉	4	一部欠損
	大下煙道跡	S 127	崎ヶ鼻1式	不明	不明	不明	地床炉	3?	大火が欠損。倒壊有り?
	五明田遺跡	S 101	崎ヶ鼻1式	円形	4.1×3.8	20?	地床炉	25	南側に壁柱穴
	五明田遺跡	S 102	林原式～崎ヶ鼻式?	円形	3.2×3.0	20?	地床炉	9	網状型
	五明田遺跡	S 103	林原式～崎ヶ鼻式?	円形	?	20?	地床炉	10以上	網状型。南側に壁柱穴
	五明田遺跡	S 104	崎ヶ鼻2式?	円形	2.8×(3.0)	20?	地床炉	7以上	南側に壁柱穴
	家の後II遺跡	堅穴建物跡	崎ヶ鼻2式?	隅丸方形	4.9×4.9	56	石畠炉	4~6	三瓶大平山火山灰にパック
2類	貝谷遺跡	3号堅穴住居跡	崎ヶ鼻2式	不整縁円形	(1.2) × (0.8)	32	地床炉	20	一部欠損
	大塚遺跡	縄文住居址	柴 壤	円形	3.3×3.3	32	石畠炉	10以上	半分欠損
3類	林原遺跡	S 101	崎ヶ鼻2式	不整縁円形	4×4.6	15	地床炉	なし	三瓶大平山火山灰にパック
	神原III遺跡	S 101	不明	不明	なし	なし	地床炉	13	柱穴のみ

第138図 山陰中部の住居跡一覧

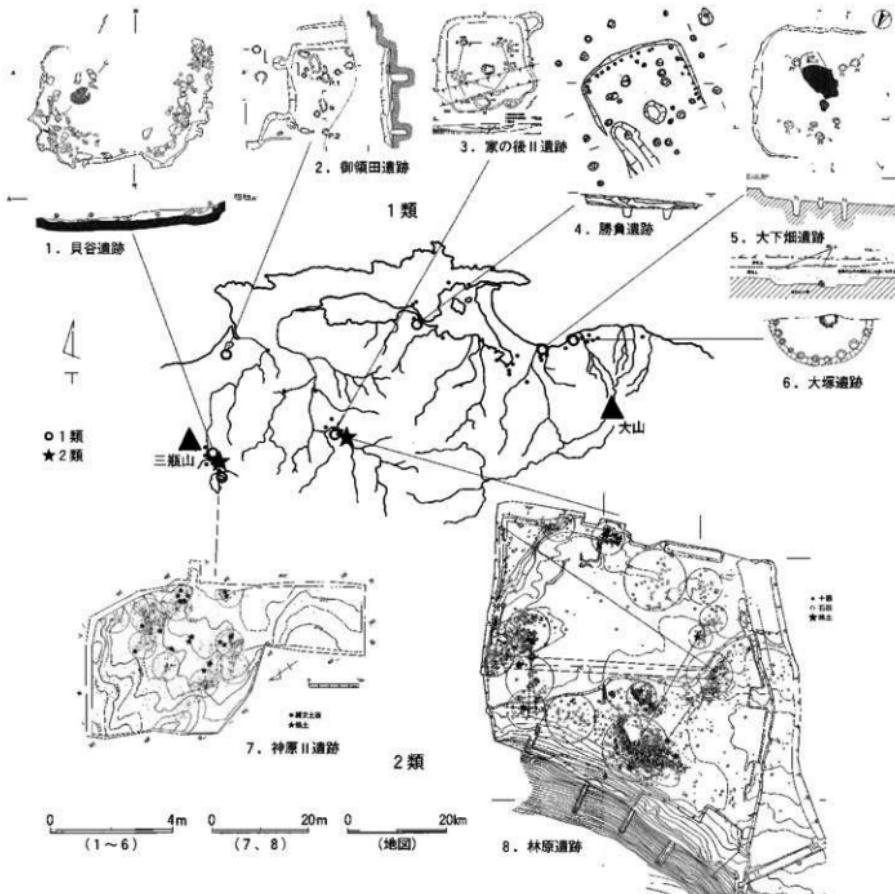


第139図 神原II遺跡の遺物出土状況 (S=1/500) (鳥谷他編2000を一部改変)

編1999)、人山町大塚遺跡(宮長編1994)があげられる(第138図)。山間部と平野部の両方に立地し、貝谷遺跡のように墓坑と推定される配石遺構が伴う場合もある。2類と比べて遺跡規模が小さく、単一時期にのみ形成されるなど重層的な遺跡利用を行なわない場合が多い。

住居址は、筆者の編年観で見ると、大多数が1時期1棟のみで存在するようだ。平面形は隅丸方形が多く、大きさは一边が4m~5mである。しっかりした掘り込みを持ち、深さは32cm~70cm、平均で44cmを測る。中央に地床炉を持ち、家の後II遺跡や大塚遺跡のように石畠炉が設置される場合もある。柱穴はほとんどの住居址で確認でき、御領田遺跡や勝負遺跡、家の後II遺跡、百塚第7遺跡では主柱穴が、勝負遺跡、大塚遺跡、五明田遺跡、御領田遺跡(?)では多数の壁柱穴が見られるなど、規則的な柱穴配置が看取される。この点において興味深いのは、貝谷遺跡の壁面付近に配される石列で、壁柱穴と合わせて、壁面の強化を意識した住居構造と評価できるだろう。

2類に属する遺跡は、林原遺跡と神原II遺跡があげられ、板屋III遺跡第2黑色土上面もその可能性がある。山間部にのみ立地し、DT周辺に多数の配石遺構や焼土を伴う。相対的に遺跡規模が大きく、重層的な遺跡利用が確認できる。また、屋外炉と推定される多数の焼土が認められる点も2類の特徴である。



第140図 山陰地方中部における肥厚型縁帯文土器期の集落
(1~6 : S = 1/160, 7, 8 : S = 1/1,000, 地図 : S = 1/1,000,000)

飯南町神原II遺跡2区第2黑色土では、中津式から崎ヶ鼻2式期までの遺物が、環状約30mを呈する9箇所（？）のDTとして検出されている（第139図）。残念ながら遺物の出土地点が示されておらず、土器型式とDTの関係は不明だが、おおむね林原遺跡と同時期の所産と推測される。注目されるのは、各々のDTが生活遺構である焼土を伴っている点であり、少ないながら土坑も検出されている。DTと焼土の位置関係から、両者が何らかの有機的関連を持つことは確実であり、林原遺跡と同様に直下に住居址を伴っていた可能性が高いだろう。

住居址は、平面プランを有するものとDT状のものがある。平面プランを有するものは林原遺跡

でのみ確認されており、径4m×4.6mの不整橢円形を呈す。掘り込みは緩やかで、深さは約15cmと浅い。中央には地床炉が設置されるが、主柱穴や壁柱穴は認められない。また神原Ⅱ遺跡のように、掘り込みの無い柱穴のみの住居址も存在するようだ。

DT状のものは、平面プランや掘方をうかがうことができないが、黄色砂層（18層）直上に硬化面や石圓炉を検出した林原遺跡DT3、DT7、DT8でも、周辺に明確な柱穴を伴っていないことから、平面プランを有するものと同様の特徴を持っていたと思われる。2類の住居址の多くが、DTという形でしか確認できないのは、掘り込みが浅く、1類のようなしっかりした住居構造を持たないことに起因するためではないだろうか。

このように1類と2類は、遺跡規模や遺跡利用のあり方、住居構造などにおいて明確な差異が認められる（第140図）。特に住居構造は、住居の安定性という観点から見た場合、1類では安定性が高い住居を築造し、2類では安定性の低い住居が造られていると言えるだろう（加納1995、谷口1998）。では次に、1類と2類の関係について、再び林原遺跡に目を戻して検討してみよう。

4. 肥厚型縁帯文土器期の生業・居住戦略

林原遺跡のDTに多数の焼土が伴うことは前述したが、そのうちDT7に伴う焼土08～10（第93図）とDT8に隣接する14、15（第101図）は興味深い状態で検出された。DT7直下では3枚の造構面が確認され、上層では焼土08、09と硬化面2が、中層には硬化面3と粘土床、下層では焼土10と共に硬化面4と配石造構8、石圓炉状造構2が見つかっている。特に焼土08は、焼土10のほぼ真上に構築されていることから、下層の焼土を意識して火を焚いていることが分かる。DT8では、硬化面を作った焼土14の直下に、厚さ約3cmの間層を挟んで焼土15が確認されている。

このような焼土や硬化面の重複現象は、焼土間に確実な時期差が存在していることを示し、またいざれの場合も間層を挟むことから、一定期間後に再び同じ場所で火を焚くという回帰的なあり方を想起させる。この場合、DT8の重複焼土の間層が僅か3cmと薄い点や、間層があるにも関わらずほぼ同一地点で焼土が形成される点などから、上下の重複焼土は、それほど長い時間断続していないかったと推測できる。この現象は、1類の勝負遺跡竪穴住居内でも確認されるため、類型間で共通した現象であるようだ。

問題は、焼土間の間層が人為堆積か自然堆積かであるが、人為堆積とした場合、その成因に住居廃絶に伴う儀礼行為や土層根の崩落、住居の改築等が想定される⁽³⁾。山陰地方では、松江市面白谷遺跡で検出された墓地式期の竪穴住居で、住居廃絶儀礼に伴う火入れの可能性が指摘されており、その根拠として、埋土全面に炭化物が散在していることや、底部を打ち欠いた单耳壺の完形土器があげられている（柳浦2006）。

林原遺跡のDTは、黒色土單層であるため検討を行えないが、他遺跡の住居址埋土を見てみると、確かに勝負遺跡や貝谷遺跡のように埋土中に多量の炭化物を含んでいる例がある。しかし勝負遺跡では、炭化物を含む層は暗灰赤褐色土と暗灰黄褐色土に限られていて、住居内全面に分布していない⁽⁴⁾。また、面白谷遺跡例のような特殊な完形土器も見られず、住居廃絶時の儀礼行為を積極的に見出す根拠は存在しないようだ。住居改築についても、山陰地方では今のところ明確に改築をうかがわせる事例は見当たらない。加えて、御領山遺跡の黒灰色粘質土層のように、住居外からの流入土が一次堆積土となっている例が存在することなどから、山陰中部の肥厚型縁帯文土器期の

住居内埋土は、基本的に自然堆積であったと考えたい。

以上から、重複焼土を根拠に1類と2類では一定期間を経た集団の回帰が行なわれていたと解釈することが可能となる。こうした移動論的視点から考えると、先に見た住居構造の強弱と、1類と2類の関係について説明が付きそうだ。すなわち季節的な移動である。

筆者らが林原遺跡を発掘した2005年度は、積雪が1mに達するほどの豪雪に見舞われ、発掘は困難を極めた。旧仁多町や旧横田町などの山間部集落では、住家1棟が一部損壊、農機具庫やビニールハウス数十棟が倒壊するなど、現代家庭でさえ甚大な被害をこうむっている。また昭和37年から38年の大雪の際には、これを越える2m以上の積雪を記録したという。加えて、繩文時代後期は今より若干冷涼であった点（渡辺2005）なども勘案すると、2類のような柱穴すら持たない安定性の低い住居構造が、果たして山間の越冬に耐えうるのか、甚だ疑問に思える。逆に言えば、1類の住居址が持つ高い安定性は、越冬を視野に入れた住居構造であると評価することができ、両者は、季節ごとに使い分けられる、相互補完的な関係にあったと推測されよう。

こうした観点に立てば、両者の遺跡規模の違いや、1時期の住居址数の違いについても、季節的な移動に伴う離合集散の結果と捉えることができる。しかし、上述したように筆者は、該期の住居は単独で生業を営みうると考えているため、離合集散のモデルを想定した場合、わざわざ集団が集合する理由を考えなければならない。

この点において注目されるのが、該期に多量に出土する石鍤である。便宜的石器（阿子島1999）の側面が強い石鍤は、遺跡内での活動をある程度忠実に表していると思われ、その組成差は遺跡ごとの生業活動の差に還元できる。そこで、時期の限界できるものについて見てみると、1類の遺跡では、勝負遺跡3点、御領山遺跡1点、百塚第7遺跡0点、貝谷遺跡2号竪穴住居址1点、貝谷遺跡3号竪穴住居址0点と少ないのに対し、2類の林原遺跡では石鍤満まり3箇所を含む計283点もの石鍤が出土しており、DTごとの保有量でも1類の遺跡を凌駕している（第131図）。

こうした石鍤保有量の圧倒的差異から、2類の遺跡では石鍤を用いた生業活動において集約的な労働投下が行なわれていたと推定される。従って、集団が集合する理由の一つとして、内水面漁労に際する協業をあげることができよう。2類に特徴的に見られる多数の屋外炉は、こうした協業に際した、集団共通の消費活動の場であったのかもしれない。恐らく夏から秋口にかけて山間部に集合した集団が、協力して内水面漁労を中心とした生業を行ない、冬になると離散して各々が狩猟や採集等を行なっていたのだろう。

このように、肥厚型縁帶文土器期の山陰中部では、季節的な離合集散を行ないながら山間部と平野部を移動する、Collector型（Binford1980）の生業・居住戦略がとられていたと判断される。従って、1類は集団が各地に離散する時のResidential Base、2類は集団集合時のResidential baseと位置付けることができる。こうした広範な居住地移動を考えるなら、該期に急速に広域化する黒曜石の利用状況も、集団の移動に伴った現象と解釈でき、林原遺跡で検出された黒曜石貯蔵穴も、集団集合時の黒曜石貯蔵・補給用と理解することができるだろう。

以上から、林原遺跡は、夏から秋にかけて複数の集団が集合して営まれていた拠点居住地であることが分かった。ただし、集団での協業を行なう一方で、石器製作や祭祀、基本的な消費活動は各住居で自立的に行なわれていることから、その関係は比較的緩やかなものであったと推測される。

5. おわりに

以上、山陰中部の縄文後期集落の一様相について、林原遺跡を中心にして論じてきた。最後に、林原遺跡から見た山陰中部の肥厚型縁帯文土器期の時代像について論じ、まとめとしたい。

林原遺跡の物質文化は、土器型式や石器製作技術構造、板状土偶など、瀬戸内との接触の中で独自的に発展した要素と、環状土器溜まり群（住居址群）や石圍炉などの内在的な変化では説明できない要素に二分される。山陰全域で俯瞰した場合、隅丸方形の住居址や柄鏡型住居址（？）なども後者に属すことができようか。後者の要素には、随所に東日本的な要素が散見され、いわゆる「東日本縄文文化複合体の西漸」と関係を持つものと捉えることができる。

しかし、前者の視点から見た場合、そこには安定した地域的発展の過程を読み取ることでき、山陰地方の縄文後期社会が、人口の大量流入といったような東日本からの一方的な影響下には成立しないことを示唆する。むしろ既消滅文土器期から継続する、地域ごとの安定的な自立性に立脚した東西交流の活発化（矢野1993、2005、幸泉2001、2002、山崎2003など）としたほうが、実態に即しているのではなかろうか。

本稿では、東日本の影響を検討するに先立って、まずは地域ごとの独自性を追求することが必要であると判断し（渕山2000）、「他地域からの影響」という解釈を極力用いずして検証を行なった。結果は、上に述べたとおりだが、今後の山陰地域史を復元するために林原遺跡の成果が一助となれば、幸いである。

（稻田陽介）

註

- (1) ただし、他遺跡で検出されるDTが全て住居址に比定できるというわけではなく、北原本郷遺跡のように明らかに溝内に廃棄した例もある。DTの性格については、遺跡単位で検討しなければならない。
- (2) 環状土器溜まり群を住居址とした場合、住居址が環状配置する東日本の環状集落と酷似する。一般的に、西日本では環状集落は存在しないとされてきたが（矢野1999、瀬戸2005）、林原遺跡や神原II遺跡以外にも、大阪府鶴守遺跡、宍道駆木平原遺跡などが可能性を持つものとして指摘できよう。いずれも、後期初頭から後期中葉と時期的にも共通する。ただし、これらは掘立柱建物や貯蔵施設などを伴わず、谷口康浩が言う重帝構造や分節構造、半分構造（谷口2005）を持たないことから、東日本の環状集落と直接対比できるものではない。重要な問題なだけに、今後慎重に検討を行なっていかなければならぬだろう。
- (3) 積石住居の第一次堆土や柱穴被土を、自然堆積（末本1975、1985、石井1977など）とするか人為堆積（山本1978、1987など）とするかの議論は枚挙にいとまがなく、両者の見解の相違は、その根底に集落の継続性・定住性の捉え方の違いが横たわっているからとされる（谷口2005）。山陰地方でも、移動と定住の問題はなお決着を見ないが、山田康弘が言うように、「周辺の自然的・社会的環境や集落内の社会的状況によって、集落規模や居住期間が歴然無縫に変化する」（山田2002）可能性を視野に入れ、総合的な検討を行なう必要がある。
- (4) 燐失住居の認定条件は大島直行の設定した条件（大島1994）を参考とした。

挿図出典（遺跡の文献は文中に記載）

第127図1・4・10：埴輪遺跡、2・3・5～9：幕地遺跡、11：家の後I遺跡、12～17：暮地遺跡、18～32：北原本郷遺跡、第128図：御領田道路、第129図1：崎ヶ鼻遺跡、2・3：下山遺跡、4：貝谷遺跡、5・7・12：御領田遺跡、6・11・13～17：百塚第7遺跡、8・9：五明田遺跡、10：大下畠遺跡、18：比治山貝塚、19・23・24・31・35～39：水井遺跡、20・21・25～29・32：津奈貝塚、22・30・33・34：津島岡大遺跡、第130図1：森岸第2遺跡、2・4・7・8・11～13・19・20・24：柴谷遺跡、3・6・9・10・14～18・21～23・25・27・28・31・32：桂見遺跡、5：布勢遺跡、26・29・30・33：智頭枕田遺跡、第131図1～10：イセ遺跡、第139図：神原II遺跡、第140図：1：貝谷遺跡、2：御領田遺跡、3：家の後II遺跡、4：勝負遺跡、5：大下畠遺跡、6：大塚遺跡、7：神原II遺跡、8：林原遺跡

【参考文献】

- 阿子尚 善1999「石器の使用痕」ニュー・サイエンス社
- 熱田貴保他2007「家の後II遺跡2・北原木郷遺跡2」鳥取県教育委員会
- 阿部芳郎1994「津島岡大遺跡第5次調査」岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
- 石井 寛1977「縄文時代における集団移動と地域組織」「調査研究集録」2
- 稻田陽介2005「山陰地方における縄文時代前期の石器製作技術構造」「鳥根考古学会誌」第22集、鳥根考古学会
- 稻田陽介2006「山陰地方における縄文時代早期の石器製作技術構造」「鳥根考古学会誌」第23集、鳥根考古学会
- 稻田陽介2007「山陰地方における縄文時代後期の石器製作技術構造」「鳥根考古学会誌」第24集、鳥根考古学会
- 今村啓爾1983「文様の削りつけと文様帯」「縄文文化の研究」5
- 大島直行1994「縄文時代の火災住居—北道遺を中心として—」「考古学雑誌」第80巻第1号、日本考古学会
- 角田徳幸編1994「神南地区県営農場整備事業に伴う埋蔵文化財調査報告書」湖陵郡教育委員会
- 角田徳幸編2007「中根遺跡範囲確認調査報告書」鳥根県教育委員会
- 加納 実1995「ドロ合地における加曾利E式墓の諸問題—集落の成立に関する予察を中心に—」「千葉県文化財センター研究紀要」16、千葉県文化財センター
- 神柱彦彌編2002「貝谷遺跡」鳥根県教育委員会
- 川原和人編2007「国道485号線道路改築事業（松江第5大橋道路）建設に伴う埋蔵文化財調査報告書I 南外1号墳・勝負遺跡」鳥根県教育委員会
- 幸泉満夫2001「西日本縄文後期土器組成論一瀬川内地方における沈縄文系土器に関する研究」「考古学研究」第48巻第3号、考古学研究会
- 幸泉満夫2002「上器底部形態による縄文時代後期社会の小地域性」「大庭徹夫先生古稀記念論集 四国とその周辺の考古学」大庭徹夫先生古稀記念論文集刊行会
- 幸泉満夫2004「山陰地方における縄文時代後期社会の小地域性」「考古論集—河瀬正利先生退官記念論文集」河瀬正利先生退官記念事業会
- 酒井雅代他編2006「智頭枕山遺跡II」智頭町教育委員会
- 佐々木謙・小林行雄1937「出雲国山崎ヶ鼻洞窟及び櫛原山洞窟遺跡」「考古学」第8卷第10号
- 島田貞彦・清野謙次・梅原未治1920「備中岡太村津雲塚原発掘報告書」「京都帝国大学文部省考古学研究報告」第5冊、京都大学
- 宍道正年1974「鳥取県の縄文土器集成」
- 宍道正年1980「鳥取県の縄文土器の研究—編年を中心として—」「松江考古」第3号、松江考古学講話会
- 木本 健1975「移動としての吹上パターン」「山陰県中央通運蔵文化財包含地発掘調査報告書」山梨県教育委員会
- 木本 健1985「土器窯業と集落研究」「論集:日本歴史」吉川弘文館
- 瀬口眞司2005「関西地方の縄文集落の規模と構成」「第1回西日本縄文文化研究会 西日本縄文文化の特徴」関西縄文文化研究会・中四国縄文研究会・九州縄文研究会
- 瀬古詩織編2006「勝負遺跡」松江市教育委員会
- 高橋 譲2000「西日本における縄文時代の生業と集落」「第28回山陰考古学研究集会 山陰の縄文時代遺跡
- 高橋 譲2001「西日本における縄文時代の生業と集落」「鳥根考古学会誌」第18集、鳥根考古学会
- 竹広文明2006「山陰における石器石材利用をめぐる二、三の問題」「鳥根考古学会誌」第17集、鳥根考古学会
- 谷岡陽一他編1989a「栗谷遺跡発掘調査報告書I」福部村教育委員会
- 谷岡陽一他編1989b「栗谷遺跡発掘調査報告書II」福部村教育委員会
- 谷岡陽一他編1990「栗谷遺跡発掘調査報告書III」福部村教育委員会
- 谷口康浩1998「縄文時代早期懸垂文期における集落の類型と安定性」「考古学ジャーナル」429
- 谷口康浩2005「環状集落と縄文社会構造」学生社
- 千葉 勝1989「縄文帯系土器群の成立と展開—西日本縄文後期前半期の地域相—」「史林」72巻6号
- 千葉 勝1990「近畿北部・山陰東部の成立期縄帶土器」「小森遺跡」兵庫県城崎郡竹野町教育委員会
- 千葉 勝1997「福岡I-C式と宿毛式、序論—型式別介観の視点について—」「古代吉備」第19集、古代吉備研究会
- 千葉 勝2005「西日本縄文後期土器編年研究の現状と課題」「縄文時代」16、縄文時代文化研究会
- 千葉 勝2001「沖丈遺跡出土縄文後期土器の縄文的意義—崎ヶ鼻式と「椎現山式」のあいだ—」「沖丈遺跡」鳥取県邑智町教育委員会
- 出原恵三編2004「区分増井遺跡II」高知県文化財团埋蔵文化財センター
- 鳥取県教育文化財团編1994「大下畠遺跡」鳥取県教育文化財团
- 鳥取県教育文化財团編1999「古市遺跡群I 古市カハラケ田遺跡・古市河原田遺跡」鳥取県教育文化財团
- 笛井 算2005「遺物型式学の編年の論理と西日本縄文土器」「考古学研究」第51巻第4号、考古学研究会
- 宮長源十郎編1991「名和町内道跡分布調査報告書」名和町教育委員会
- 鳥谷芳雄編2000「神原I遺跡・神原II遺跡」「鳥根県教育委員会
- 仲田信一他編1995「百坂第7遺跡(8区)」「鳥取県教育文化財团
- 西尾克己編1979「京殿遺跡—調査概報—」鳥取県三刀屋町教育委員会

- 西尾克己他編2005「前川遺跡（2）・下布施氏銀跡・原川遺跡1区（分析編）」島根県教育委員会
西脇対名夫1990「伊木力遺跡出土縄文時代後期土器の検討」「伊木力遺跡」多良見町教育委員会
野津旭編2004「春地遺跡」「仁多町教育委員会
橋本久和1995「芥川遺跡発掘調査報告書」高槻市立埋蔵文化財調査センター
橋本雄一1994「彦崎K-2式に先行する土器群について」「津島岡大遺跡第5次調査」岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
濱田竜彦2000「山陰・縄文時代後期における東日本系文化要素の波及」「縄文・弥生移行期の石製呪術具」小林吉樹編
深田浩編2002「下山遺跡」島根県教育委員会
前田光雄編2000「松ノ木遺跡V」高知縣長岡郡本山町教育委員会
牧本哲雄他編1998「社見遺跡」鳥取県教育文化財団
増田浩太編2003「家の後I遺跡・垣ノ内遺跡」島根県教育委員会
三森定男1936「西南日本縄文土器の研究」「考古学論叢」第1号
宮本一夫1990「文京遺跡第8・9・11次調査」愛媛大学法文学部考古学研究室、愛媛大学埋蔵文化財調査室
柳浦俊一編2006「島道浜乃木湯川線（湯川工区）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」島根県教育委員会
柳浦俊一2006「山陰地方縄文時代後期初頭～中葉の上器編年」「島根考古学会誌」第17集、島根考古学会
矢野憲一1993「縄文時代中期後葉の瀬戸内地方」「江口貝塚I～IV文前中期編一」愛媛大学法文学部考古学研究室
久野憲一1999「『環状集落地城』」季刊考古学、第69号
矢野憲一2005「上器型式團の広域化」「第1回西日本縄文文化研究会 西日本縄文文化の特徴」関西縄文文化研究会・
中四国縄文研究会・九州縄文研究会
山崎順子1999「飯石郡飯石原町五明田遺跡発掘調査概報」「島根考古学会誌」第16集、島根考古学会
山崎順子2001「五明田遺跡」「第12回中四国縄文研究会 三瓶山周辺の縄文遺跡」中四国縄文研究会
山崎真治2003「縄文土器の編年の研究」「東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室研究紀要」
18号
山田康弘2002「中国地方の縄文時代集落」「島根考古学会誌」第19集、島根考古学会
山本輝久1978「縄文中期における住居跡内一括遺存上器群の性格」「神奈川考古」第3号、神奈川考古同人会
山本輝久1987「縄文時代社会の移動－「集団移動」論をめぐる研究の現状とその問題点について－」「神奈川考古」
第23号、神奈川考古同人会
渡部明夫編1990「四回横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第九冊」香川県教育委員会、財団法人香
川県埋蔵文化財調査センター
渡辺正巳2005「縄文時代晚期の古墳地盤」「第16回中四国縄文研究会 縄文時代晚期の山陰地方」中四国縄文研究会
渡辺千代編1993「ヨレ遺跡・イセ遺跡・筆田遺跡」匹見町教育委員会
Binford, L. 1980 "Willow Smoke and Dog's Tails: Hunter-gatherer Settlement Systems and Archaeological Site
Formation" American Antiquity 45

第4節　まとめ

林原遺跡の発掘調査の結果、縄文時代後期を中心に多くの資料と情報が得られた。以下、林原遺跡の様相を時代を追って概観し、まとめとしたい。

【縄文時代早期・前期】林原遺跡で確認される遺物は、最も古いもので縄文時代早期（菱根式）にさかのぼり、前期の遺物も少量出土している。

【縄文時代中期】本格的な遺跡の開始は縄文時代中期からで、貯蔵穴1基を含む数基の土坑が確認された。後述の縄文時代後期に比べると、住み着いた集団の規模は非常に小さかったようである。

【縄文時代後期】縄文時代後期に入ると集落の規模は一気に拡大し、遺跡のピークを迎える。縄文時代後期の土器が上器溜まりの状態で確認され、かつ焼土・炉などを伴い、それぞれが一つの生産・消費単位と推定された。埋土が同質のため掘り形こそ確認されなかったが住居跡の可能性が高い。上記の上器溜まりと掘り形が確認できた住居跡とを合わせると、最大で9棟の生活跡が認定できることになり、これらは環状に分布していた。土器溜まりに囲まれた調査区中央部は遺構の確認されない空白地帯となっており、広場として居住区と区別されている点が注意される。

当遺跡の住居は、掘り形が浅く、主柱穴や壁柱穴を持たない不安定な構造であり、越冬は不可能とみられるものであった。一方、焼土が同じ地点に重層する事例が検出されていることを併せて考えると、他の土地で冬を越し、特定の季節に林原遺跡に帰ってくる回帰的な居住スタイルが想定される。また、一時期に多数の住居が見られることと、石錘が多数出土していることから、夏から秋にかけての漁期に複数の集団が集結し、協力して内水面漁労に従事する拠点であったと推測される。

配石遺構や土器埋設遺構は後期になって出現し、下部土坑を作り墓と推定される配石遺構も認められる。これらの配石遺構や土器埋設遺構は上器溜まりや聚穴住居に隣接あるいは重複している。また、配石遺構04・09は焼土と切り合い関係にあり、分布範囲が焼土と重なる。以上の遺構配置からは、生活域と墓域を区別するという計画性は認められない。中国地方の縄文集落では、墓域と居住域が区別されているのが一般的であるが⁽¹⁾、林原遺跡はやや異なった様相をみせる。漁期に限った季節的な居住であることや、複数集団の寄り合い所帯であることに起因するのかもしれない。

林原遺跡の調査成果は、縄文時代の季節性、居住形態まで踏み込んだ議論に道を開くものである。縄文時代後期人が、予想以上に移動性の高い生活をしていたことが考えられ、山間部遺跡と平野部遺跡の両方を視野に入れる必要性が高いことが判明した。検出される遺構の解釈に際しては、縄文人の移動という視点を持って臨むことが必要になるだろう。山間部で漁労が行なわれている時、平野部の住居に人が残っていたかという問題も含め、検討課題は今後多方面に広がると予想される。

上記の居住・埋葬にかかる遺構に加え、黒曜石の貯蔵穴も検出された。黒曜石の貯蔵・供給の拠点、及びその担い手が縄文時代後期に海岸部から山間部へ進出してきたことを明らかにした⁽²⁾点で、石材の流通形態の変化の画期を示す遺構と評価できる。

遺物では、7点出土した土偶が注意される。当遺跡では、土偶の多くが住居や土器溜まりに伴って出土し、1生活単位につき1個と見られる所有状況が確認された。一遺跡での土偶出土点数は中国地方で最多となつたが、これは当遺跡が漁期に複数集団が集結した季節的な集落であることに由来するのかもしれない。集団が分散する冬季の居住場所と見られる小規模集落（I類）では、異なる所有状況となることも予想される。

縄文時代後期の一括資料（石器を含む）が纏まって得られた点は大きな意味を持つ。当該時期の

土器編年は、広範囲の遺跡から標識となりうる土器をピックアップして組み立てられていたが、当遺跡の資料の出現で、一括資料に基づく編年が可能になった。本報告書でも、これらの一括資料を用いて編年案（第1節）を作成し、屈曲形有文深鉢の変遷を軸に後期前半を5つの小時期に細分した。また、縄帯文成立期を境に山陰東、中、西部の地域差が顕在化して、山陰として一括りにするのが難しくなり、むしろ四国の松ノ木式との類似性など南北のつながりが強く認識された（第1節）。サヌカイトの搬入（第2節）も考慮し、ヒトの移動が、中国山地を横断する河川に沿って行なわれたと仮定すれば、自然な結果といえる。石器の検討からは、両極技術の多用や、黒曜石の大角礫を搬入して交差剥離によって剥離する技術などの特徴が抽出され、「林原型石器製作技術構造」として認定するに至った。その技術構造の分布は土器型式の分布とも重なり、当該時期の山陰中部の地域性と考えられる（第2節）。

【縄文時代晚期】縄文時代晚期の遺構は土器埋設遺構3基と配石遺構1基が確認されており、これらの遺構は調査区の南に偏る傾向を見せる。住居などの生活痕跡は見られず、当該時期の土器もほとんど出土しないことから、居住城は調査区の外にあり、林原遺跡は墓域に特化していたとも見られ、後期の集落とは異なる様相を見せている。

【古墳時代後期】古墳時代後期の遺構は、堅穴住居が調査区南寄りで検出されている。土師器や須恵器の出土位置も調査区南に偏しており、生活域は南へ移動している。包含層からは土師器や須恵器が一定量出土しており（第5表）、遺構数の少なさから受ける印象に比して、集落の規模は比較的大きかったことが推測される。調査区外ではあるが林原遺跡の上方の丘陵斜面に林原古墳が存在しており、同古墳に近い位置で確認された集落として、両者の密接な関係が推測される。また、当遺跡対岸でも集落では家の脇Ⅱ遺跡（古墳時代後期）、古墳では時仏山横穴墓の存在が知られており、対岸に所在するこれらの遺跡との関係も問題となろう。

当遺跡の調査に併せて行なった自然科学分析の結果を付編に記した。石材産地の分析では、黒曜石が隱岐島久見、サヌカイトは金山東麓（香川県）の可能性が高いという結果を得た。放射性炭素年代測定では先行調査例と矛盾のない値が得られた。一方、S I 01床面から採取した土壌は浮遊選別を行ない（委託先は例言に記載）、得られた固形物の種実同定を行なったが、良好な種子が検出されず、縄文人の植物利用については十分解明できなかった。

以上が、林原遺跡の調査成果と、そこから派生する今後の課題である。

註

- (1) 山田康弘2002「中国地方の縄文時代集落」『島根考古学会誌』第19集、島根考古学会
- (2) 稲田陽介2007「山陰地方における縄文時代前期の石器製作技術構造」『島根考古学会誌』第24集、島根考古学会

付編 自然科学分析

第1節 北原本郷遺跡、林原遺跡出土の黒曜石、安山岩製遺物の原材産地分析

有限会社 遺物材料研究所

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圈を探ると吉目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行なっている^{①, ②, ③}。最近の黒曜石の伝播距離に関する研究では、伝播距離は数千キロメートルは一般的で、6千キロメートルを推測する学者もできている。正確に産地を判定すると言うことは、原理原則に従って同定を行うことである。原理原則は、同じ組成の黒曜石が異なった産地では生成されないという理論がないために、少なくとも遺跡から半径数千キロメートルの内にある石器の原材産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。「遺物原材とある産地の原石が一致したという「必要条件」を満たしても、他の産地の原石にも一致する可能性が残っているから、他の産地には一致しないという「十分条件」を満たして、一致した産地の原石が使用されていると言い切れる。また、十分条件を求めるこにより、一致しなかった産地との交流がなかったと結論でき、考古学に重要な資料が提供される。」

産地分析の方法

先ず原石採取であるが、本来、一つの産地から産出する全ての原石を採取し分析する必要があるが不可能である。そこで、産地から抽出した数十個の原石でも、産地全ての原石を分析して比較した結果と同じ結果が推測される方法として、理論的に証明されている方法で、マハラノビスの距離を求めて行う、ホテリングのT₂乗検定がある。ホテリングのT₂乗検定法の同定とクラスター判定法（同定ではなく分類）、元素散布図法（散布図範囲に入るか否かで判断）を比較すると、クラスター判定法は判定基準が曖昧である。クラスターを作る産地の組み合わせを変えることにより、クラスターが変動する。例えば、A原石製の遺物とA、B、C産地の原石でクラスターを作ったとき遺物はA原石とクラスターを作るが、A原石を抜いてD、E産地の原石を加えてクラスターを作ると、遺物がD産地とクラスターを作る。よって△産地が調査されていないと、遺物はD原石製遺物と判定される可能性があり結果の信頼性に疑問が生じる。またA原石製遺物と分かっていれば、E原石とクラスターを作らないように作為的にクラスターを操作することもできる。次に元素散布図法は肉眼で原石群元素散布の中に遺物の結果が入るか図示した方法で、各原石の含有元素の絶対定量値をそれぞれ求めて地球科学的に議論するには、地質学では最も適した方法であるが、産地分析からみると、クラスター法より、さらに後退した方法である。なぜなら何個の原石を分析すればその産地を正確に表現しているのか不明であり、分析する原石の数が少ないとA産地とB産地が区別できていたのに、原石数を増やすと、△産地、B産地の区別ができなくなる可能性があり（クラスター法でも同じ危険性がある）判定結果に疑問が残るからである。

産地分析の方法としては、火山学、堆積学など専門知識は必要なく、地質学の常識的な知識（高

校生) さえあれば出来るものがよい。また、実際の分析においては非破壊で遺物の形態の違いによる相対定量値の影響を評価しながら、同定を行なうことが必要であり、地球科学的なことは関係なく、如何に原理原則に従って正確な判定を行うかである。クラスター法、元素散布図法の欠点を解決し、前述のように誰でも簡単に測定できるよう考案された方法が、理論的に証明された判定法のホテリングのT₂乗検定法である。ある産地の原石組成と遺物組成が一致すれば、その産地の原石と決定できるという理論がないために、多数の産地の原石と遺物を比較し、必要条件と十分条件を満たす必要がある。考古学では、人工品の様式が一致すると云う結果が非常に重要な意味があり、見える様式としての形態、文様、また見えない様式として土器、青銅器、ガラスなどの人手が加わった調合素材がある。一致すると言うことは、古代人の思考が一致すると考えてもよく、相互関係を調査する重要な意味をもつ結果である。前述のような石器の様式による主観的な分類ではなく、自然の法則で決定した石材の元素組成を指標にした客観的な分類では、産地分析の結果の信頼性は何ヶ所の原材産地の原石と客観的に比較して得られたかにかかっており、比較した産地が少なければ、信頼性の低い結果と言える。黒曜石、安山岩などの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量元素には異同があると考えられるため、微量元素を中心に行なう、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物の元素組成を比較して、各平均値からの離れ具合(マハラノビスの距離)を求める。しかし、古代人が採取した原石産山地点と現代人が分析のために採取した原石産出地が異なる可能性は十分に考えられる。従って、分析した有限個の原石から無数にある産地全体の個数の平均値と分散を推測して判定を行うホテリングのT₂乗検定を行う。この検定を全ての産地について行い、ある遺物原材がA産地に10%の確率で必要条件がみたされること(この意味はA産地で10個原石を採取すると1個が遺物と同じ成分だと云うこと)は、実際に十分あり得ることであり、遺物はA産地原石と判定される。しかし、他の産地について、例えばB産地では0.01%の確率(一万個中に一個の組成の原石に相当)であるときは相当に低い値であり、遺跡にいる人が1万個も遺跡に持ち込んだとは考えにくい、従って、B産地ではないと言う十分条件を満足する。またC産地では百万個中に一個、D産地では……一個と各産地毎に十分条件を満足させ、客観的な検定結果から必要条件と十分条件をみたしたA産地の原石を使用した可能性が高いと同定する。即ち多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

今回分析した遺物は島根県大原郡木次町に位置する北原本郷遺跡出土の黒曜石製遺物1個と安山岩製遺物1個、また同県仁多郡奥出雲町三沢に位置する林原遺跡出土の黒曜石製遺物1個と安山岩製遺物2個の合計5個で、産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石、安山岩(サヌカイトなど) 原石の分析

黒曜石、サヌカイト両原石の自然面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X線分析装置によって元素分析を行なう。分析元素はAl、Si、K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの12元素をそれぞれ分析した。塊試料の形状による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの比量を産地を区別する指標としてそれぞ

れ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に分布する。調査を終えた原産地を図1に示す。この原石群と原石産地が不明の遺物で作った遺物群を加えると282個の原石群・遺物群になる。安山岩では、K/Ca、Ti/Ca、Mn/Sr、Fe/Sr、Rb/Sr、Y/Sr、Zr/Sr、Nb/Srの値を指標として用いる。サスカイトの原産地は、西日本に集中してみられ、石材として良質な原石の産地、および質は良くないが考古学者の間で使用されたのではないかと話題に上る産地、および玄武岩、ガラス質安山岩など、合わせて32ヶ所以上の調査を終えている。図2にサスカイトの原産地の地点を示す。これら産地の原石および原石産地不明の遺物を元素組成で分類すると156個の原石群に分類できる。

また、岩屋、中持地域原産地の堆積層から円環状で採取される原石の中に、金山・五色台地域産サスカイト原石の諸群にほとんど一致する元素組成を示す原石がある。これら岩屋産出のものを分類すると、全体の約2/3が金山・五色台地域の諸群に一致し、これらが金山・五色台地域から流れ着いたことがわかる。和泉・岸和田原産地からも全体の約1%であるが金山東群に一致する原石が採取される(表4)。仮に、遺物が岩屋、和泉・岸和田原産地などの原石で作られている場合には、産地分析の手続きは複雑になる。まずその遺跡の複数の遺物を分析し、それぞれの群に帰属される頻度分布を求め、確率論による期待値と比較して確認しなければならない。金山東群を作った原石は香川県坂出市に位置する金山東麓を中心とした広い地域から採取された。この金山東群と組成の類似する原石は岩屋、和泉・岸和田の原産地からそれぞれ5%、1%の割合で採取されることから、一遺跡から複数の遺物を分析し、それぞれの群に帰属される頻度分布をもとめて、岩屋、和泉・岸和田原産地の原石が使用されたかどうか判断しなければならない。

結果と考察

遺跡から出土した黒曜石製石器、石片は風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。黒曜石製の石器で、水和層の影響を考慮するとすれば、蛍光X線分析法の特性として軽い元素(原子番号の小さいもの)の分析ほど表面分析になるため、水和層の影響を受けやすいと考えられる。水和層の影響を回避するためCa/K、Ti/Kの両軽元素比量を除いて産地分析を行なった場合、また除かずして産地分析を行なった場合、いずれの場合にも同定される産地は同じである。他の元素比量についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはや、不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。また、安山岩製の遺物は、白っぽく表面が風化しているために、アルミナ粉末を風化面に吹き付け、新鮮面を出して分析している。

今回分析した北原本郷遺跡、林原遺跡出土黒曜石製造物の分析結果を表5-1に、安山岩製造物の分析結果を表5-2に示した。

石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて各原石群・遺物群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考える。表5-1の分析番号98557番の遺物ではRb/Zrの値は0.376である。そして、表5-1の久見群のRb/Zrの「平均値」±「標準偏差値」は、 0.386 ± 0.011 である。分析番号98557番の遺物と久見群の差を久見群の標準偏差値(σ)を基準にして考えると98557番遺物は久見群から 0.9σ 離れている。ところで久見群の原産地から100個の原石を探ってきて分析すると、平均値から 0.9σ のずれより大きいものが36個ある。すなわち

ち、分析番号98557番の遺物が、久見群の原石から作られていたと仮定しても、 0.9σ 以上離れる確率は36%であると言える。だから、久見群の平均値から 0.9σ しか離れていないときには、この遺物が久見群の原石から作られたものでないとは到底言い切れない。ところがこの遺物を中町第1群に比較すると、中町第1群のRb/Zrの「平均値」+「標準偏差値」は、 0.810 ± 0.087 であるので中町第1群の標準偏差値(σ)を基準にして考えると遺物は中町第1群から 4.99σ 離れている。これを確率の言葉で表現すると、中町第1群の産地の原石を探ってきて分析したとき、平均値から 4.99σ 以上離れている確率は、五十万分の一であると言える。このように、五十万個に一個しかないように原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、中町第1群産の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことと簡単にまとめて言うと、「分析番号98557番の遺物は久見群に36%の確率で帰属され、信頼限界の0.1%を満たしていることから久見群原石が使用されていると同定され、さらに中町第1群に五千分の-1%の低い確率で帰属され、信頼限界の0.1%に満たないことから中町第1群原石でないと判定される」。しかし、例え久見群と中町第1群の原石の元素組成が異なっていて遺物が一ヶ所の産地(久見群産地)と一致したからと言っても、分析している試料は原石でなく遺物であり、さらに分析誤差が大きくなる不定形(非破壊分析)であることから、他の産地に一致しないとは言いきれない。また、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は残る。すなわちある産地(久見群)に一致した条件を満たしてもその一致した産地の原石とだけ一致しているとは限らないために、帰属確率による判断を295個すべての原石群・遺物群について行ない、十分条件である低い確率(0.1%未満)で帰属された原石群・遺物群を消していくことにより、はじめて久見群産地の石材のみが使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯1つの値だけでなく、前述した8個の値を取り扱うのでそれぞれの値の間の相関を考慮しなければならない。例えばA原産地のA群で、Ca元素とSr元素との間に相関があり、Caの量を計ればSrの量は分析しなくとも分かるような場合を想定してみる。A群の石材で作られた遺物であれば、A群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Sr量も一致するはずである。もしSr量だけが少しずれている場合には、この試料はA群に属していないと言わなければならない。

このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行なうホテリングのT₂乗検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて、産地を同定する^(4, 5)。

産地の同定結果は1個の遺物に対して、黒曜石では295個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果について低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる。すなわち、久見群原石と判定された遺物について、台湾の台東山脈産原石、北朝鮮の会寧遺跡で使用された原石と同じ元素組成の原石とか、信州和田峠、霧ヶ峰産の原石の可能性を考える必要がない結果で、表6では高い確率で同定された産地のみの結果を記入した。原石群を作った原石試料は直径3cm以上であるが、小さな遺物試料は単位時間あたりの分析カウントは少くなり、含有量の少ない元素では、得られた遺物の測定値には大きな誤差範囲が含まれ、原石群の元素組成のバラツキの範囲を超えて大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行なったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみ

られる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確半値に替えて、マハラノビスの距離 χ^2 乗の値を記した。この遺物については、記入された χ^2 乗の値が原石群の中で最も小さな χ^2 乗値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の元素組成と似ているといえるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えては間違ないと判断されたものである。また、蛍光X線分析では、分析試料の風化による表面状態の変化（粉末の場合粒度の違い）、不定形では試料の置き方で誤差範囲を越えて分析値に影響が残り、分析値は変動し判定結果は一定しない。特に元素比組成の似た原石産地同士では区別が困難で、遺物の原石産地が原石・遺物群の複数の原石産地に同定されるとき、および、信頼限界の0.1%の判定境界に位置する場合は、分析場所を変えて4~12回分析し最も多くの回数同定された産地を判定の欄に記している。また、判定結果には推定確率が求められているために、先史時代の交流を推測するときに、低確率（1%以下）の遺物はあまり重要な考え方など、考古学者が推定確率をみて選択するために、誤った先史時代交流を推測する可能性がない。以上のことばは安山岩を含めた他の種類の石材の場合でも同様である。

今回分析した北原本郷遺跡、林原遺跡出土の黒曜石製造物の2個のホテリングのT2乗検定法で表1の原石群と比較した結果、久見原石が使用されていると判定された。また、十分条件で、久見原石と組成が比較的似ている北朝鮮の白頭山産原石、会寧城外遺物群の可能性が否定されたことから、隱岐との交流のみで北朝鮮との交流の可能性は否定された結果である。

安山岩製造物の原石は、坂出市金山地域では、金山東麓からのサスカイトで作られた金山東群と金山西麓からの金山西群があり、また金山の隣の城山地域では城山群がある。これら各群は比較的似ていて、従来のK/Ca, Ti/Ca, Mn/Sr, Fe/Sr, Rh/Sr, Y/Sr, Zr/Sr, Nb/Srの比の値を指標としてのホテリングのT2乗検定では、遺物の中には信頼限界の0.1%以上の確率で、金山東、金山西、城山の各群に同時に同定される場合があった。このため、新たな元素比の組み合わせのK/Si, Ca/K, Ti/K, Rh/Fe, Fe/Zr, Sr/Zr, Sr/Rb, Si/Feの比の値を指標としてホテリングのT2乗検定を行い、金山東群と金山西、城山群が明確に区別できるようにし、結果を新元素比による金山東・金山西・城山のホテリングのT2乗検定の欄に記した。この2段階ホテリングの判定により金山東麓の原石が使用された可能性がより明確に判定できるようになり、結果を判定の欄に記した。また、金山東群に一致する原石は、淡路島岩屋産地から採取原石の5%、和泉・岸和田産地からは1%の産出頻度で採取される。よって北原本郷遺跡から出土する金山東群と同定された1個は、淡路島岩屋産地から5%の確率で、また、和泉・岸和田産地からは1%の確率で採取された原石が北原本郷遺跡に伝搬する確率である。この1個の結果からでは岩屋産地、和泉・岸和田産地から採取された原石の可能性を払拭できない。5%、1%の確率は低いように思えるが、先史時代の人は、広い交易範囲を持っていて、直接または間接的に淡路島岩屋産地、和泉・岸和田産地地域の交流も推測されることから、自然科学の手法で金山東麓原石と判定するには最低でも5個程度の分析によって、金山東麓のサスカイトが伝播したと判定される必要がある。

林原遺跡では、岩屋産地、和泉・岸和田産地から採取される確率は、それぞれ、0.05(5%)および0.01(1%)を2回累乗した確率でそれぞれ、0.25%と0.01%で、岩屋産地、和泉・岸和田産地から採取された原石の可能性は低く、金山東麓のサスカイトが伝播したと判定された。遺物から交流を推測するとき、坂出市金山東麓との交流のみを考え、瀬戸内海を通り兵庫県、大阪府産地原石が岡山の遺跡に伝播した可能性は不明であるが、この岡山県を経由して北原本郷遺跡へ伝播した

可能性を考えなくてよい結果で、金山東麓との交流を推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

- (1) 菊科哲男・東村武信 (1975), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (II)。考古学と自然科学, 8:61-69
- (2) 菊科哲男・東村武信・鎌木義凸 (1977), (1978), 蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定 (III)。(IV)。考古学と自然科学, 10, 11:53-81,33-47
- (3) 菊科哲男・東村武信 (1983), 石器原材料の産地分析。考古学と自然科学, 16:59-89
- (4) 東村武信 (1976), 産地推定における統計的手法。考古学と自然科学, 9:77-90
- (5) 東村武信 (1980), 考古学と物理化学。学生社

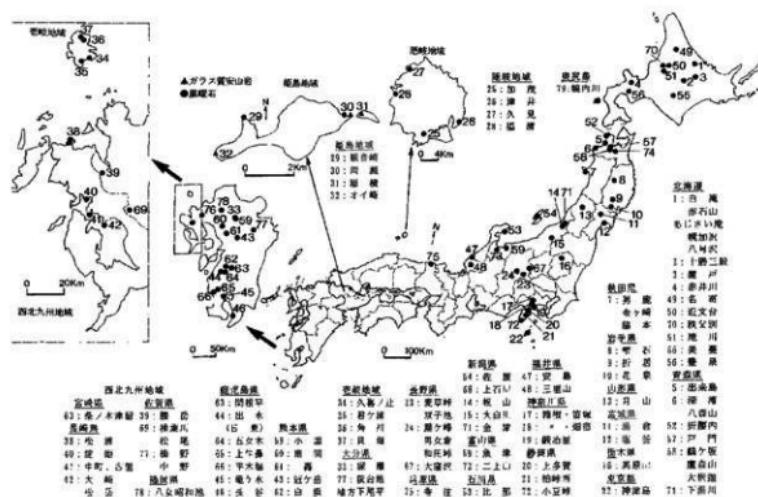


表5-1 北原本郷、林原遺跡出土黒曜石製造物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
98552	0.143	0.061	0.021	0.968	0.386	0.002	0.111	0.242	0.024	0.310
98557	0.145	0.060	0.021	0.968	0.376	0.007	0.107	0.235	0.024	0.310
JG-1	0.780	0.208	0.072	4.113	0.969	1.260	0.310	0.047	0.031	0.317

表5-2 北原本郷、林原遺跡出土安山岩製造物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	K/Ca	Ti/Ca	Mn/Sr	Fe/Sr	R	b/Sr	Y/Sr	Zr/Sr	Nb/Sr	Al/Ca
98553	0.456	0.229	0.081	4.488	0.294	0.091	1.174	0.026	0.025	0.184
98558	0.451	0.221	0.083	4.533	0.312	0.085	1.182	0.033	0.024	0.180
98559	0.452	0.223	0.084	4.544	0.303	0.086	1.208	0.021	0.024	0.182

JG-1 : 標準試料-Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192 (1974)

表6 北原本郷、林原遺跡出土黒曜石、安山岩製造物の原材産地分析結果

番号	遺跡名	分析番号	出土地点	ホテリングのT2乗検定(確率)	新元素比によるホテリングのT2乗検定(確率)	判定
1	北原本郷遺跡	98552	9区 Y22 1層 Pno. 2271	久見(38%)		久見
2	北原本郷遺跡	98553	8区 W36 2層	金山東(67%), 城山(1%)	金山東(29%), 城山(0.00001%)	金山東
6	林原遺跡	98557	土器窯つまり3	Pno. 4068 久見(99.8%), 加茂(0.2%)		久見
7	林原遺跡	98558	土器窯つまり3	金山東(95%), 城山(0.2%)	金山東(43%), 城山(0.00001%)	金山東
8	林原遺跡	98559	S101 Pno. 4671	金山東(96%)	金山東(82%)	金山東

新元素比によるホテリングのT2乗検定: K/Si, Ca/K, Ti/K, Rb/Fe, Fe/Zr, Sr/Zr, Sr/Tr, Si/Feの元素比により金山東、城山の各群の区別をホテリングのT2乗検定で行う。この検定で分離された遺物は金山東群にのみ特徴され区別が明確になった。しかし、表1に掲載している他の原石群について、この検定を行っていないために、他の原石・遺物群についても、従来のK/Ca, Ti/Ca, Mn/Sr, Fe/Sr, Rb/Sr, Y/Sr, Zr/Sr, Nb/Srの元素比によるホテリングのT2乗検定により判定をおこなった。両検定で、高確率で共通に一致した原石群は金山東群が必要条件を満たし、また、他の174個の原石・遺物群には信頼限界の0.1%に達しなかったことから、十分条件を満たしている。

注意: 近世産地分析を行う所が多くなりましたが、判定基準が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法(土器様式の基準も研究方法で異なるように)にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係(相互チェックなし)ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。

第2節 放射性炭素年代測定結果報告書 (AMS測定) 林原遺跡

(株) 加速器分析研究所

(1) 遺跡の位置

林原遺跡は、鳥取県仁多郡奥出雲町三沢1757-1 (35° 13' 05", 132° 59' 04") に位置する。斐伊川左岸に位置し、斐伊川に削られた丘陵先端に立地する。

(2) 測定の意義

土器満まり3・4、S I 01、S I 01-S K 1の時期を明らかにする。

(3) 測定対象試料

測定対象試料は、土器満まり3から出土した土器付着炭化物 (No. 7 : IAAA-62723)、土器満まり4から出土した土器付着炭化物 (No. 8 : IAAA-62724)、S I 01の焼土付近の埋土中から出土した土器付着炭化物 (No. 9 : IAAA-62725)、S I 01-S K 1底部から出土した土器付着炭化物 (No. 10 : IAAA-62726)、合計4点である。これらの遺構からは、縄文時代後期の土器が出土した。また、S I 01は三瓶太平山火山灰(約3600年前)に覆われている。

(4) 化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- 2) AAA (Acid Alkali Acid) 処理。酸処理、アルカリ処理、酸処理により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では1Nの塩酸(80°C)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では0.001~1Nの水酸化ナトリウム水溶液(80°C)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では1Nの塩酸(80°C)を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90°Cで乾燥する。
- 3) 試料を酸化銅1gと共に石英管に詰め、真空中で封じ切り、500°Cで30分、850°Cで2時間加熱する。
- 4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用して、真空ラインで二酸化炭素(CO₂)を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出(還元)し、グラファイトを作製する。
- 6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着し測定する。

(5) 測定方法

測定機器は、3 MVタンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9 SDH-2)を使用する。134個の試料が装填できる。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

また、加速器により¹⁴C/¹²Cの測定も同時に行う。

(6) 算出方法

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用した。
- 2) BP年代値は、過去において大気中の炭素14濃度が一定であったと仮定して測定された、1950年を基準年として遡る放射性炭素年代である。
- 3) 付記した誤差は、次のように算出した。
複数回の測定値について、 χ^2 検定を行い測定値が1つの母集団とみなせる場合には測定値の統計誤差から求めた値を用い、みなせない場合には標準誤差を用いる。
- 4) $\delta^{13}\text{C}$ の値は、通常は質量分析計を用いて測定するが、AMS測定の場合に同時に測定される $\delta^{13}\text{C}$ の値を用いることもある。
 $\delta^{13}\text{C}$ 補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載する。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰; パーミル)で表した。

$$\delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{A}_s - ^{14}\text{A}_R) / ^{14}\text{A}_R] \times 1000 \quad (1)$$

$$\delta^{13}\text{C} = [(^{13}\text{A}_s - ^{13}\text{A}_{\text{PDB}}) / ^{13}\text{A}_{\text{PDB}}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、¹⁴A_s: 試料炭素の¹⁴C濃度: (¹⁴C/¹²C)_s または (¹⁴C/¹²C)_s

¹⁴A_R: 標準現代炭素の¹⁴C濃度: (¹⁴C/¹²C)_R または (¹⁴C/¹²C)_R

$\delta^{13}\text{C}$ は、質量分析計を用いて試料炭素の¹³C濃度(¹³A_s = ¹³C/¹²C)を測定し、PDB(白堊紀のペレムナイト(矢石)類の化石)の値を基準として、それからのずれを計算した。但し、加速器により測定中に同時に¹³C/¹²Cを測定し、標準試料の測定値との比較から算出した $\delta^{13}\text{C}$ を用いることもある。この場合には表中に【加速器】と注記する。

また、 $\Delta^{14}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0$ (‰)であるとしたときの¹⁴C濃度(¹⁴A_s)に換算した上で計算した値である。(1)式の¹⁴C濃度を、 $\delta^{14}\text{C}$ の測定値をもとに次式のように換算する。

$$^{14}\text{A}_N = ^{14}\text{A}_s \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C}/1000))^2 \quad (^{14}\text{A}_sとして^{14}\text{C}/^{12}\text{C}を使用するとき)$$

または

$$= ^{14}\text{A}_s \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C}/1000)) \quad (^{14}\text{A}_sとして^{14}\text{C}/^{12}\text{C}を使用するとき)$$

$$\Delta^{14}\text{C} = [(^{14}\text{A}_N - ^{14}\text{A}_R) / ^{14}\text{A}_R] \times 1000 \quad (\text{‰})$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行った年代値は実際の年代との差が大きくなる。多くの場合、同位体補正をしない¹⁴Cに相当するBP年代値が比較的よくその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致する。

^{14}C 濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC (percent Modern Carbon) がよく使われており、 $\Delta^{14}\text{C}$ との関係は次のような。

$$\Delta^{14}\text{C} = (\text{pMC}/100 - 1) \times 1000 \quad (\%)$$

$$\text{pMC} = \Delta^{14}\text{C}/10 + 100 \quad (\%)$$

国際的な取り決めにより、この $\Delta^{14}\text{C}$ あるいはpMCにより、放射性炭素年代 (Conventional Radiocarbon Age ; yrBP) が次のように計算される。

$$T = -8033 \times \ln [(\Delta^{14}\text{C}/1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln (\text{pMC}/100)$$

5) ^{14}C 年代値と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。

6) 較正暦年代の計算では、IntCal04データベース (Reimer et al 2004) を用い、OxCalv3.10較正プログラム (Bronk Ramsey 1995 Bronk Ramsey 2001 Bronk Ramsey, van der Plicht and Weninger 2001) を使用した。

(7) 測定結果

測定された ^{14}C 年代は、土器溝より3から出土した土器付着炭化物 (No. 7 : IAAA-62723) が 3690 ± 40 yrBP、土器溝より4から出土した土器付着炭化物 (No. 8 : IAAA-62724) が 3720 ± 40 yrBP、S I 01の焼土付近の埋土中から出土した土器付着炭化物 (No. 9 : IAAA-62725) が 3770 ± 40 yrBP、S I 01-S K 1底部から出土した土器付着炭化物 (No. 10 : IAAA-62726) が 3750 ± 40 yrBPである。歴年較正年代 (1σ) は、No. 7が2140BC~2030BC (68.2%)、No. 8が2200BC~2170BC (9.6%)・2150BC~2110BC (17.6%)・2100BC~2030BC (41.0%)、No. 9が2280BC~2240BC (16.7%)・2230BC~2130BC (51.5%)、No. 10が2280BC~2250BC (4.9%)・2210BC~2130BC (50.5%)・2090BC~2050BC (12.9%)である。4点の測定年代は近似しており、縄文時代後期前葉の中の後半段階に相当する。共伴遺物の年代や層序とも整合的であることから、妥当な年代と考えられる。

参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. (1977) Discussion: Reporting of ^{14}C data. Radiocarbon, 19:355-363
- Bronk Ramsey C. (1995) Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, Radiocarbon, 37 (2) 425-430
- Bronk Ramsey C. (2001) Development of the Radiocarbon Program OxCal, Radiocarbon, 43 (2A) 355-363
- Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. (2001) "Wiggle Matching" radiocarbon dates, Radiocarbon, 43 (2A) 381-389
- Reimer, P.J. et al. (2004) IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP. Radiocarbon, 46, 1029-1058

IAA

IAA Code No.	試 料	BP 年代および炭素の同位体比
IAAA-62723 #1650-1	試料採取場所：島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡 試料形態：炭化物 試料名(番号)：No. 7	Libby Age(yrBP) : 3,690 ± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ 、(加速器) = -27.50 ± 0.55 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -368.5 ± 2.7 pMC(%) = 63.15 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -371.7 ± 2.6 pMC(%) = 62.83 ± 0.26 Age (yrBP) : 3,730 ± 30
	試料採取場所：島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡 試料形態：炭化物 試料名(番号)：No. 8	Libby Age(yrBP) : 3,720 ± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ 、(加速器) = -24.42 ± 0.55 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -370.4 ± 2.7 pMC(%) = 62.96 ± 0.27
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -369.6 ± 2.6 pMC(%) = 63.04 ± 0.26 Age (yrBP) : 3,710 ± 30
	試料採取場所：島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡 試料形態：炭化物 試料名(番号)：No. 9	Libby Age(yrBP) : 3,770 ± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ 、(加速器) = -23.32 ± 0.64 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -374.9 ± 2.8 pMC(%) = 62.51 ± 0.28
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -372.8 ± 2.7 pMC(%) = 62.72 ± 0.27 Age (yrBP) : 3,750 ± 40
IAAA-62725 #1650-3 代替 #1650-4	試料採取場所：島根県仁多郡奥出雲町三沢 1757-1 林原遺跡 試料形態：炭化物 試料名(番号)：No. 10	Libby Age(yrBP) : 3,750 ± 40 $\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ 、(加速器) = -32.36 ± 0.54 $\Delta^{14}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -373.2 ± 2.9 pMC(%) = 62.68 ± 0.29
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{13}\text{C}(\text{\textperthousand})$ = -382.6 ± 2.8 pMC(%) = 61.74 ± 0.28 Age (yrBP) : 3,870 ± 40

参考

IAAA-62725 に関しましては、代替試料を処理し測定した結果になります。

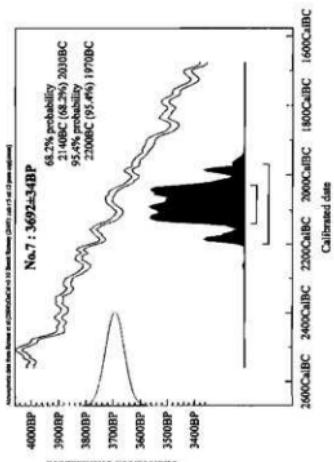
参考資料：曆年較正用年代

IAA

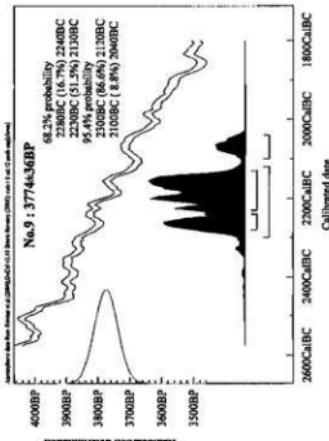
IAA Code No.	試料番号	Libby Age(yrBP)
IAAA-62723	No. 7	3692 ± 34
IAAA-62724	No. 8	3716 ± 34
IAAA-62725	No. 9	3774 ± 36
IAAA-62726	No. 10	3752 ± 37

ここに記載する Libby Age (年代値) と誤差は下1桁を丸めない値です。

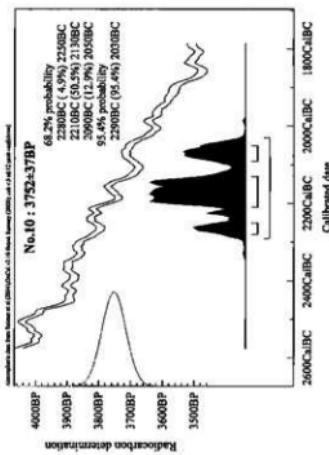
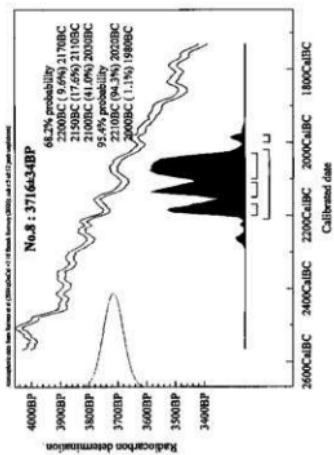
【参考値：樹年補正 Radio-carbon determination】



【参考値：樹年補正 Radio-carbon determination】



【参考値：樹年補正 Radio-carbon determination】



測定プログラム - OctCa v4.15

測定プログラム - OctCa v4.15

第3節 林原遺跡から出土した遺物に 付着した赤色顔料について

鳥根県埋蔵文化財調査センター 柴崎 瑞子

林原遺跡から出土した縄文土器のうち2点に赤色顔料が付着していることが肉眼観察にて確認された。土器をはじめ遺物に付着している赤色顔料の種類として水銀朱（硫化水銀；HgS）、ベンガラ（酸化第二鉄； Fe_2O_3 ）、鉛丹（四酸化三鉛； Pb_3O_4 ）が想定される^{*1}が、出土した土器の年代から水銀朱かベンガラが多用されていたと考えられる。これらの遺物の用途を知る手がかりとして赤色顔料の主成分の同定を行なった。

1. 試 料

林原遺跡出土の縄文土器2点を分析した。詳細は以下のとおりである。

挿図番号	種別	器種	赤色顔料の状態
第73図5	縄文土器	深鉢	内面に塗膜状に付着
第97図21	縄文土器	浅鉢	外面の文様の中に入り込むように残存

2. 分析方法

エネルギー分散型蛍光X線分析（XRF）による定性分析を行なった。

使用機器は奈良大学保存科学研究所が所有、管理しているEDAX社製エネルギー分散型微小部蛍光X線分析EAGLE II XXLである。分析条件は以下のとおりである。

X線管球；Cr（クロム） 走査範囲； $2\theta = 65^\circ$

測定空気；真空 測定時間；200秒

管電圧；25kV 管電流； $800 \mu A$

3. 結 果

分析結果を以下に示す。

挿図番号	結 果
第73図5	水銀朱（HgS）
第97図21	ベンガラ（ Fe_2O_3 ）

蛍光X線分析の結果、DT 1-5では水銀（Hg）硫黄（S）の検出ピークが高かったことにより、水銀朱が付着しているといえる。DT 6-21ではFe（鉄）の検出ピークが高く、鉄を多く含む顔料が付着していると考えられ、遺物への付着状態や顕微鏡による観察によってベンガラであると判断した。

4.まとめ

赤色顔料の使用について林原遺跡では水銀朱とベンガラが確認された。第73図5は土器内面に付着し、外面には赤色顔料の付着が確認されなかったことから水銀朱の保管や運搬、あるいは加工に使われたものであると考えられる。土器内面に水銀朱が残存している場合、粉状のものが胎土に入り込んだように残っていることが多いが、第73図5ではやや厚みのある塗膜のように水銀朱が残っており、容易に剥落しないことから膠や漆などの接着剤のような物質との加工^{*2}が推測される。第97図21は付着状態から装飾を目的としてベンガラが使われたと考えられる。

また、尾原ダム建設予定地内では過去の調査から多くの縄文土器や土製品に赤色顔料が付着していることが確認されている。したがって、この地域では赤色顔料が幅広く使用されていたと考えられる。

謝 辞

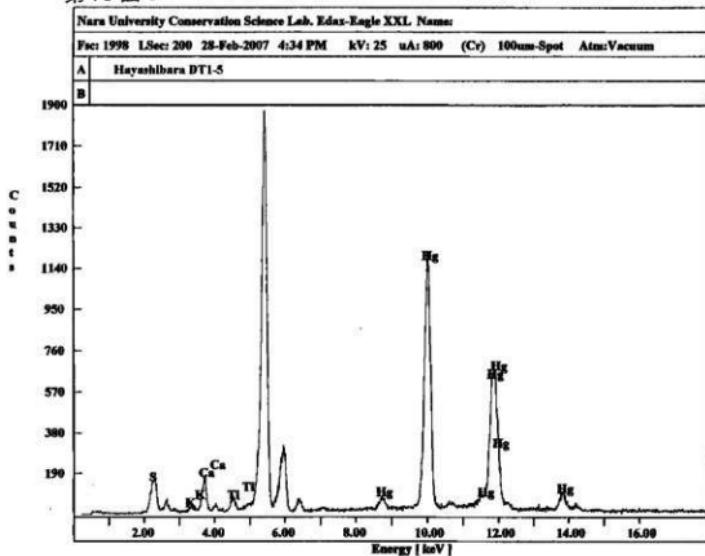
蛍光X線分析に際し、奈良大学保存科学研究室の西山要一教授には機器の使用にあたり格別のご配慮をいただきました。厚く御礼申し上げます。

*1 市毛黙 1998 『新版 朱の考古学』 雄山閣

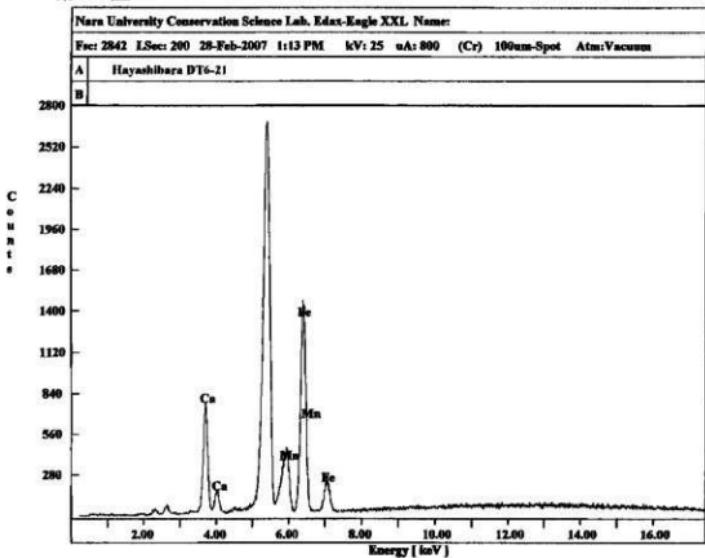
*2 大田区立郷土博物館 編 2001 『ものづくりの考古学—原始・古代の人々の知恵と工夫—』 東京美術

蛍光X線分析スペクトル

第73図5



第97図21



第2表 林原遺跡検出遺物記述表

新石器時代後期遺物

遺物名	部位	上部	下部	鉢形	底形	縁出高	底高	深さ	備考(時期)	縫合過程及び下部土状況調査									
										直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S101-SK1	1	4.62	3.88	4.01	3.92	199.43	199.32	0.11	縫合後期と中期										
S101-SK1	1	1.8	1.03	1.34	0.62	199.34	199.2	0.22	縫合後期と中期										
S101-SK2	1	1.48	0.69	0.52	0.29	199.35	199.21	0.28	縫合後期と中期										
S101-SK2	1	2.38	2	1.5	0.8	200.02	199.01	0.12	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S102-SK1	1a	12	12	12	12	0.5	200.26	199.12	0.23	縫合後期と中期									
S102-SK1	1b	1.2	0.8	0.5	0.3	200.27	199.23	0.23	縫合後期と中期										
S102-SK1	1c	1.2	0.8	0.5	0.3	200.28	199.24	0.24	縫合後期と中期										
S102-SK1	1d	0.78	0.65	0.62	0.55	200.29	199.25	0.15	縫合後期と中期										
S102-SK1	1e	0.8	0.54	0.44	0.39	199.48	199.3	0.16	縫合後期と中期										
S102-SK1	1f	0.42	0.21	0.21	0.16	199.5	199.3	0.16	縫合後期と中期										
S102-SK1	1g	0.42	0.21	0.21	0.16	199.5	199.3	0.16	縫合後期と中期										
S102-SK1	1h	0.82	0.5	0.36	0.2	198.75	198.6	0.13	縫合後期と中期										
S102-SK1	1i	1.62	0.62	0.36	0.2	198.76	198.45	0.26	縫合後期と中期										
S102-SK1	1j	1.55	0.5	0.35	0.25	198.77	198.6	0.07	縫合後期										
S102-SK1	1k	0.54	0.42	0.36	0.26	198.65	198.58	0.08	縫合後期と中期										
S102-SK1	1l	0.3	0.21	0.21	0.16	198.75	198.62	0.12	縫合後期と中期										
S102-SK1	1m	0.52	0.38	0.32	0.26	198.76	198.71	0.12	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S103-SK1	1a	0.73	0.61	0.58	0.46	198.65	198.54	0.09	縫合後期と中期										
S103-SK1	1b	0.25	0.16	0.16	0.11	198.66	198.51	0.18	縫合後期と中期										
S103-SK1	1c	0.94	0.52	0.42	0.26	199.4	199.21	0.12	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S104-SK1	1a	0.71	0.11	0.11	0.06	199.81	199.61	0.11	縫合後期と中期										
S104-SK1	1b	0.25	0.16	0.16	0.11	199.82	199.41	0.18	縫合後期と中期										
S104-SK1	1c	0.78	0.21	0.21	0.16	199.75	199.51	0.17	縫合後期と中期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S105-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S105-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S105-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S106-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S106-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S106-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S107-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S107-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S107-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S108-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S108-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S108-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S109-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S109-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S109-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S110-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S110-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S110-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S111-SK1	1a	0.74	0.4	0.74	0.21	199.97	199.8	0.16	縫合後期										
S111-SK1	1b	0.95	0.31	0.6	0.23	199.7	199.82	0.15	縫合後期										
S111-SK1	1c	1.92	0.72	1.09	0.8	199.1	199.6	0.15	縫合後期										
縫合後期																			
遺物名	部位	上部				底形				縫合過程及び下部土状況調査									
		直角	斜角	直角	斜角	縁出高	底面高	底さ	備考(時期)	直角	斜角	直角	斜角	底出高	底面高	底さ	平面形	調査(時期)	
S112-SK1	1a	0.7																	

第3表 林原遺跡出土土器・土製品観察表

地層番号	出土地点番号	種類	基準	時期・変遷	グリッド位置	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
10-1	33	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期	便土01	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部上面刮削 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2.5YR5/6) (5YR5/6)
10-2	33	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期	便土01	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部外面、内面に沈線 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(7.5YR2/8) (7.5YR2/8)
10-3	33	縄文土器	ボル形浅鉢	縄文文化成立期	便土01	Ia層	-	-	-	(外) ミガキ (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR5/2) (10YR5/2)
10-4	33	縄文土器	ボル形浅鉢	縄文文化成立期	便土01	Ia層	-	-	-	(外) ナデ (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR4/2) (10YR4/2)
10-5	33	縄文土器	深鉢	縄文Ⅱ・Ⅲ式 古一中段鉢	便土03	Ia層	-	-	-	(外) 圓弧文 (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	明黃褐色 (外) 明黃褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
11-1	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 夔耳状鉢	2m程度の石 灰、長石を含む	明赤褐色 (外) 明赤褐色	(5YR5/6) (5YR5/6)
11-2	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の横線と斜目 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
11-3	34	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部外面に弧文と斜目、單耳状溝文 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(7.5YR2/8) (7.5YR2/8)
11-4	34	縄文土器	屈強形文無深鉢	林原式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部上面に斜目 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	にぶい赤褐色 (外) 褐色	(2.5YR5/3) (2.5YR5/3)
11-5	34	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DTI-1	Ia層	21.6	-	-	(外) 口縁部外面に圓文、1条の横線、斜目、單耳状溝文、網狀壓痕、縄文 (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR6/2) (10YR5/2)
11-6	34	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部外面に弧文、1条の横線、單耳状溝文、網狀壓痕、縄文 (内) ナデ	3m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/8) (10YR6/6)
11-7	34	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部外面に突尖文、1条の横線、單耳状溝文 (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	明黃褐色 (内) 明黃褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
11-8	34	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻2式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部外面、腹面に単耳状溝文、網狀壓痕 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	明赤褐色 (外) 明赤褐色	(2.5YR5/6) (2.5YR5/6)
11-9	34	縄文土器	屈強形深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部外面、内面に沈線 (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
11-10	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の横線 (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR4/2) (10YR4/2)
11-11	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 突起部面部に斜目 (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR8/9) (10YR8/8)
11-12	34	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部上面に単耳状溝文、網狀壓痕 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR6/8) (7.5YR6/8)
11-13	34	縄文土器	直形鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 突起部面部に单耳状溝文 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR6/8) (7.5YR6/8)
11-14	34	縄文土器	横状把手	縄文文化成立期	DTI-1	Ia層	-	-	-	外央に1条の横線、单耳状溝文	1m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR8/6) (10YR8/6)
11-15	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縁部上面取り (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	明黃褐色 (外) 明黃褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
11-16	34	縄文土器	屈強形文無深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縫部肥厚 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	赤褐色 (外) 赤褐色	(5YR4/3) (7.5YR7/8)
11-17	34	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 口縫部肥厚 (内) ナデ	5m程度の石 灰、長石を含む	明黃褐色 (外) 明黃褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
11-18	34	縄文土器	屈強形文無深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	28.0	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR8/6) (10YR8/6)
11-19	34	縄文土器	屈強形文無深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	24.6	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	赤褐色 (外) 赤褐色	(5YR8/6) (5YR8/6)
11-20	34	縄文土器	屈強形文無深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	44.0	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR6/8) (7.5YR6/8)
11-21	34	縄文土器	屈強形文無深鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	29.0	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	5m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR8/6) (7.5YR8/6)
12-22	35	縄文土器	直形深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) ミガキ (内) ミガキ	2m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(7.5YR7/8) (7.5YR7/8)
12-23	35	縄文土器	屈曲形深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) ミガキ (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	明赤褐色 (外) 明赤褐色	(2.5YR5/6) (2.5YR5/6)
12-24	35	縄文土器	屈曲形深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) ミガキ (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR2/1) (7.5YR2/1)
12-25	35	縄文土器	バケツ形深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	33.6	-	-	(外) ミガキ (内) ミガキ	2m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(5YR6/8) (5YR6/8)
12-26	35	縄文土器	屈強形文無深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) ナデ (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR8/6) (7.5YR8/6)
12-27	35	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文文化成立期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) 小口縫状突起 (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR6/8) (7.5YR6/8)
12-28	35	縄文土器	屈曲形鉢	縄文文化成立期 崎ヶ鼻1式	DTI-1	Ia層	28.4	-	-	(外) 口縫部肥厚 (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR7/6) (7.5YR7/6)
12-29	35	縄文土器	ボル形深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	-	-	(外) ミガキ (内) ミガキ	1m程度の石 灰、長石を含む	にぶい赤褐色 (外) にぶい赤褐色	(7.5YR7/4) (7.5YR7/4)
12-30	35	縄文土器	屈強形文無深鉢	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	9.2	(外) ナデ (内) ミガキ	2m程度の石 灰、長石を含む	黄褐色 (外) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)	
12-31	35	縄文土器	底部	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	6.0	(外) ナデ (内) ナデ	2m程度の石 灰、長石を含む	青褐色 (外) 青褐色	(7.5YR7/8) (7.5YR7/8)	
12-32	35	縄文土器	底部	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	7.7	(外) ナデ (内) ナデ	1m程度の石 灰、長石を含む	青褐色 (外) 青褐色	(7.5YR6/6) (7.5YR6/6)	
12-33	35	縄文土器	底部	墓地式一縄帶文 文成期	DTI-1	Ia層	-	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	3m程度の石 灰、長石を含む	褐色 (外) 褐色	(7.5YR7/6) (7.5YR7/6)	

博団 番号	回収 番号	種 別	時 期	型 式	グリッ ド-遺構	層位	口径 (cm)	高さ (cm)	底面 (cm)	文 標・調 研	地 土	色 調	備 考
12-34	35	縄文土器	注口土器	墓地式～ 嶺ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黒褐色	(2. SYR6/6)
12-35	35	縄文土器	土製円盤	墓地式～ 嶺ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黒褐色 (内) 黑褐色	(SYR3/1) (SYR3/1)
12-36	35	縄文土器	有孔土製円盤	墓地式～ 嶺ヶ鼻式	DT1-1	1a層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黑褐色	(10YR6/6) (7. SYR7/6)
15-1	36	縄文土器	深鉢	底面式古陶器 (追造物)	—	1a層	—	—	—	(外) 口縁部斜面	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (7. SYR7/6)
19-1	37	縄文土器	縦曲形深鉢	嶺ヶ鼻式2	G 9	1a層	—	—	—	(外) 口縁部外側に複合圖案文 ナチ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 建色	(2. SYR6/6) (7. SYR6/6)
19-2	37	縄文土器	縦曲形深鉢	椎原山式 古後期	G 7	1a層	—	—	—	(外) 口縁部内面に1条の沈線、單 線脚、嶺ヶ鼻式 (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 暗褐色	(10YR6/1) (10YR6/1)
19-3	37	縄文土器	縦曲形深鉢	嶺ヶ鼻式2 流行形	G 7	1a層	—	—	—	(外) 口縁部内面に渦巻文、幾何文? ナチ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
19-4	37	縄文土器	注口土器	縦文時代	C11	1a層	—	—	—	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6)
19-5	37	土師器	甕	古墳時代後期	E10	1a層	20.4	—	—	(外) 口縁部ナデ、網目ハケメ 口縁部ナシメ、網目ケズリ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
19-6	36	土師器	甕	古墳時代後期	F10	1a層	24.6	—	—	(外) 口縁部ナデ、網目ハケメ 口縁部ナシメ、網目ケズリ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 建色	(SYR6/6) (SYR6/6)
19-7	37	土師器	甕	古墳時代後期	F10	1a層	17.2	20.6	—	(外) 口縁部ナデ、網目ハケメ 口縁部ナシメ、網目ケズリ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
19-8	37	土師器	甕	古墳時代後期	D12	1a層	26.8	—	—	(外) 口縁部ナデ、網目ハケメ 口縁部ナシメ、網目ケズリ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 建色	(7. SYR7/6) (7. SYR7/6)
19-9	37	土師器	甕	古墳時代後期	E10	1a層	—	—	—	(外) 口縁部ナデ、網目ハケメ 口縁部ナシメ、網目ケズリ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
19-10	37	土師器	甕・把手	古墳時代後期	E10	1a層	—	—	—	(外) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6)
19-11	37	偶應器	短腹壺	古墳時代 統一朝期?	I 5	1a層	8.8	—	—	(外) 口縁ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR1/1) (7. SYR1/1)
19-12	37	偶應器	坪壺	大切7～8段?	H 6	1a層	19.7	5.8	9	(外) 口縁ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR1/1) (7. SYR1/1)
19-13	37	偶應器	坪壺	大谷6期	F10	1a層	10.4	4.0	—	(外) 口縁ナデ、底面ハケメ 口縁ナデ、底面ケズリ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(3. SYR1/1) (3. SYR1/1)
19-14	37	偶應器	坪壺	大谷6期	F11	1a層	6.2	3.5	7.6	(外) 口縁ナデ 口縁ナシ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR1/1) (7. SYR1/1)
25-1	38	縄文土器	深鉢	中期末	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 沈線上に互角突刺 ナチ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 建色	(7. SYR7/6) (7. SYR7/6)
25-2	38	縄文土器	有文深鉢	墓地式復行7	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 6条以上の平行複文線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
25-3	38	縄文土器	縦曲形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 縦曲面上に1条の沈線と刻 線の間に複文線	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 建色	(7. SYR7/6)
25-4	38	縄文土器	縦曲形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 縦曲面上に複位の弦縫様、 口縁部に沈線部突起 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/2)
25-5	38	縄文土器	縦曲形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 縦曲面上に刻目 ナチ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色	(10YR4/4) (10YR4/4)
25-6	38	縄文土器	縦曲形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	34	—	—	(外) 口縁部に1条の沈線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/3) (10YR5/3)
25-7	38	縄文土器	底面形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	24.8	—	—	(外) 縦曲面上に1条の沈線と刻 線R.純R.純R.純R.純R.純R. ノギ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 黄褐色	(SYR7/8)
25-8	38	縄文土器	底面形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	28.4	—	—	(外) 大型環状突起。縦曲面上に 1条の沈線と刻線R.純R.純R. ノギ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 黄褐色	全体が黒化 している
26-9	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 留伏突起上に刻目、口縁部上 面に2条の沈線	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
26-10	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈線 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
26-11	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	21.2	—	—	(外) 口縁部上面に2条の沈線と刻線 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/4) (10YR7/4)
26-12	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	23.2	—	—	(外) 小型環状突起。口縁部上面に刻目 ナチ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 建色 (内) 明黃褐色	(7. SYR6/6) (2. SYR6/6)
26-13	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 小型の直状突起。口縁部上面に 1条の沈線と刻目 ナチ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 建色	(7. SYR6/6) (SYR7/6)
26-14	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 ナチ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(2. SYR6/4)
26-15	39	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目。縦部に刻突 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 明褐色	(2. SYR5/8) (2. SYR5/8)
26-16	38	縄文土器	底面形深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 小型環状突起。口縁部上面に 浅く幅の広い沈線 ナチ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色	(2. SYT7/4)
26-17	39	縄文土器	底面形有文深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 ナチ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色	(2. SYR5/8) (2. SYR5/8)
26-18	39	縄文土器	底面形有文深鉢	縦文成立期	DT1-2	1b層	—	—	—	(外) 口縁部上面に刻目 ナチ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 明褐色	(10YR6/6) (7. SYR5/8)

博認 番号	因版 番号	種 別	器 種	時 代・型 式	グリッ ド・通 用	層位 (cm)	口 径 (cm)	深 度 (cm)	直 径 (cm)	文 様・調 整	地 土	色 調	備 考
26-19	39	縄文土器	扁曲形鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	23.2	-	-	(外) 口縁部上面に削目 ナメ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明褐色	(10YR8/6) (7, SYR5/8)
26-20	40	縄文土器	扁曲形鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	17.6	10.0	-	(外) 口縁部やや外反させ縫部に 削目、底部に底足 ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2, SYR5/8) (2, SYR5/8)
26-21	40	縄文土器	弦彌形有文深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	18	17.6	-	(外) 口縁部上面に削目 ナメ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR7/8) (2, SYR7/8)
26-22	39	縄文土器	弦彌形有文深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	31.6	-	-	(外) 口縁部上面に削目 ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
26-23	39	縄文土器	弦彌形有文深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 双眼突起。口縁部端に削目 ナメ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 明褐色	(2, SYR6/8) (2, SYR5/8)
26-24	39	縄文土器	屈曲形鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部やや外反させ縫部に削目 ナメ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (7, SYR6/8)
26-25	39	縄文土器	扁曲形鉢	林原式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部外周に1条の沈継、底 部間に底足孔 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 棕色 (内) 明褐色	(2, SYR6/8) (2, SYR5/8)
26-26	39	縄文土器	扁曲形鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 狹縫状。口縁部上面に沈継 による凹面區 ナメ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR7/2) (10YR8/8)
26-27	39	縄文土器	扁曲形鉢	布式新段腰	DT1-2	1b層	29.6	-	-	(外) 口縁部外面に2条の沈継と單頭 高文。底足部は肥厚した鉗脚 人字形底足。底部に底足孔 ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 淡白色	(10YR8/3) (10YR8/2)
26-28	39	縄文土器	扁曲形鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部外周に施設の短沈継 横張沈継、ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
27-29	39	縄文土器	扁曲形深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に削目を施した僅 な底足 ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2, SYR5/8) (2, SYR5/8)
27-30	39	縄文土器	扁曲形深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	36.4	-	-	(外) 滅失形。口縁部上面に1条の 沈継、削目から底部に渾圓文。 沈継の末端は削突 ナメ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR4/8) (2, SYR6/8)
27-31	39	縄文土器	屈曲形深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に削目。横張沈継 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR8/6) (10YR8/6)
27-32	39	縄文土器	弦彌形有文深鉢	縄文帯成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 小型複座突起。口縁部端面取り 付ナメ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 明黄褐色	(2, SYR6/8) (10YR7/8)
27-33	39	縄文土器	弦彌形有文深鉢	崎ヶ鼻2式?	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈継と单頭 孔高文。底足部は全底基盤R.純 削目 ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 棕色	(SYR3/4) (2, SYR6/8)
27-34	39	縄文土器	扁曲形深鉢	縄文帯成立期 ?	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部上部を横張沈継で区画。 斜面部は斜行底足 ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/5) (10YR5/6)
27-35	39	縄文土器	扁曲形深鉢	縄文帯成立期 ~崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部上部を横張沈継で区画。 斜面部は斜行底足を施した後 で斜走の塊状底足 ナメ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR7/6)
27-36	39	縄文土器	弦彌形有文深鉢	縄文帯成立期 ~崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部上部をRIR純文を施した後。 大部の底足 ナメ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR8/8) (10YR7/8)
27-37	40	縄文土器	バケツ形深鉢?	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部に横張純文を施した後。 沈継と底足に強引な強いミ ガキで埋り溝している ナメ	1mm程度の 長石を含む	(外) 淡黄褐色 (内) 淡黄褐色	(10YR6/5) (10YR4/2)
27-38	40	縄文土器	バケツ形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈継と单頭 孔高文。底足部消滅純文 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(10YR3/2) (10YR3/2)
27-39	40	縄文土器	バケツ形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈継と单 頭孔高文。底足部消滅純文 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(10YR3/2) (10YR3/2)
27-40	40	縄文土器	バケツ形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部上面に1条の沈継と单 頭孔高文。底足部消滅純文 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(10YR2/2) (10YR6/6)
28-41	40	縄文土器	バケツ形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に沈継と削目。斜 面部消滅純文 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR4/3) (10YR4/3)
28-42	40	縄文土器	扁曲形鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部に1条の沈継。底足 部に複数の底足 ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
28-43	40	縄文土器	バケツ形深鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部消滅純文。斜面部 消滅 純文 ミガキ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR3/3) (10YR3/3)
28-44	40	縄文土器	ポール形深鉢	縄文帯成立期 ~崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部上面に單面RIR純文 ミガキ?	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
28-45	40	縄文土器	三折形鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部上面に单頭RIR純文 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(10YR2/2) (10YR2/2)
28-46	40	縄文土器	三折形鉢	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 斜面部消滅純文。1条の沈継と 单頭孔高文を施す ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
28-47	41	縄文土器	馬曲形鉢	墓地式	DT1-2	1b層	35.6	-	-	(外) 口縁部の横張純文から馬曲部 にかけて底足消滅で連続。底 足部に2条の沈継の間に削目 ミガキ	1mm程度の 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/3) (10YR7/3)

採集 番号	回収 番号	種 別	種 類	時期・型式	グリッ ド・遺傳	層位	口径 (cm)	基高 (cm)	堆積 (cm)	文 種・調 査	地 土	色 調	備 考
28-48	41	縄文土器	屈曲形遺跡	墓地式	DT1-2	1b層	32.4	-	-	(外) 大型環状遺跡。口縁部上面に 1条の沈線。 (内) ミガニ	1m程度の 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR7/2) (内) にぶい黄褐色 (10YR7/2)	
28-49	41	縄文土器	屈曲形遺跡	縄帯文成立期 一嶺ヶ鼻式	DT1-2	1b層	31.2	-	-	(外) 鋼鉄器類に刻目 (内) ミガニ	3m程度の 石を含む	(外) 楕円 (内) 黄褐色 (10YR4/4) (外) 黄褐色 (10YR4/6)	
28-50	41	縄文土器	屈曲形遺跡	縄帯文成立期 一嶺ヶ鼻式	DT1-2	1b層	35.2	-	-	(外) 鋼鉄器類に刻目 1条の沈線と刻目 (内) ミガニ	1m程度の石 長石を含む	(外) 黄褐色 (2.5Y5/4) (内) 黄褐色 (2.5Y5/4)	
28-51	41	縄文土器	屈曲形遺跡	縄帯文成立期 一嶺ヶ鼻式	DT1-2	1b層	26.6	-	-	(外) 鋼鉄器類に刻目 ミガニ?	1m程度の石 長石を含む	(外) 明黄褐色 (2.5Y7/6) (内) 明黄褐色 (2.5Y7/6)	内部が黒化 している
28-52	41	縄文土器	ボール形遺跡	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縁部に1条の沈線と刻 印跡。底部は肥溝構造による 区画文。	1m程度の 長石を含む	(外) 黑褐色 (2.5Y3/1) (内) 黑灰色 (10YR4/1)	底毛式に類似
29-53	41	縄文土器	ボール形遺跡	墓地式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縫部に1条の沈線と刻 印跡。 (内) ミガニ	1m程度の石 長石を含む	(外) 基礎地 (10YR2/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
29-54	41	縄文土器	ボール形遺跡	縄帯文成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縫部上面に1条の沈線 (内) ナデ	1m程度の 長石を含む	(外) 深黄褐色 (10YR5/2) (内) 深黄褐色 (10YR5/2)	疊の可能性
29-55	41	縄文土器	ボール形遺跡	縄帯文成立期	DT1-2	1b層	23.6	-	-	(外) 製紋文 (内) ミガニ	1m程度の 長石を含む	(外) 深黄褐色 (10YR4/2) (内) 明黄褐色 (10YR6/6)	
29-56	41	縄文土器	ボール形遺跡	縄帯文成立期	DT1-2	1b層	32.1	12.5	-	(外) 口縫部には沈線内刻定が見ら れる。断面は円形沿用文と四 角形沿用文が混在おり、刻 印跡も見られる。 (内) ボール形遺跡、鋼鉄ミガニ	1m程度の石 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR4/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR4/3)	
29-57	42	縄文土器	屈曲形遺跡	縄帯文成立期	DT1-2	1b層	26.8	-	-	(外) 鋼鉄器外縁に肥厚をさせ、2条の沈線 (内) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (SYR8/6) (内) 椎色 (SYR8/6)	
29-58	42	縄文土器	屈曲形	縄帯文成立期 一嶺ヶ鼻式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 鋼鉄器外縁に肥厚をさせ、2条の沈線 (内) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (SYR7/6) (内) 椎色 (SYR7/6)	
29-59	42	縄文土器	屈曲形	崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	17.5	-	-	(外) 口縫部沈線。断面は円形沿用文と四 角形沿用文。 (内) ミガニ	1m程度の石 長石を含む	(外) 明褐色 (2.5Y6/6) (内) 椎色 (SYR6/6)	
29-60	42	縄文土器	屈曲形	崎ヶ鼻式	DT1-2	1b層	13.4	-	-	(外) 口縫部外面に草葉RIL、縄文 帆船RIL全周文 (内) ミガニ	1m程度の 長石を含む	(外) 黑褐色 (2.5YR2/2) (内) 黑褐色 (2.5YR2/2)	
29-61	42	縄文土器	壹形	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 縄部に1条の入組文。 底部に3本1 単位の入組文 (内) ミガニ	2m程度の石 長石を含む	(外) 黄褐色 (2.5YR7/6) (内) 椎色 (SYR6/6)	
29-62	42	縄文土器	壹形鉢	縄帯文成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縫部上面に1条の沈線と单脚 帆船文 (内) ミガニ	2m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR4/1) (内) 椎色 (2.5YR4/1)	直角形有支 深鉢の可能性
29-63	42	縄文土器	壹形鉢	墓地式?	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 縄部2カ所。断面は肥厚帯に よって変形し、单脚帆船文を 見だす。耳状の突起がつく ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR4/1) (内) 明褐色 (2.5YR6/6)	瓦耳型
29-64	42	縄文土器	壹形鉢	墓地式～崎 ヶ鼻式	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 縄部に肥厚をさせ、沈線による巻巻文 ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR2/2) (内) 椎色 (2.5YR2/2)	
29-65	42	縄文土器	壹形鉢?	墓地式～崎 ヶ鼻式	DT1-2	1b層	-	6	6	(外) 2対の渦巻文 ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 明褐色 (2.5YR4/6) (内) 明褐色 (2.5YR4/6)	
29-66	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	32.4	-	-	(外) 口縫部上面面取り。ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR4/6) (内) 椎色 (2.5YR4/6)	
29-67	42	縄文土器	屈曲形深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	24.6	-	-	(外) 口縫部肥厚層。 ミガニ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR7/6) (内) 椎色 (2.5YR7/6)	
29-68	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	30.2	-	-	(外) 口縫部上面面取り。傾方向の条痕	1m程度の石 長石を含む	(外) 反灰褐色 (2.5YR4/2) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
29-69	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	30.0	-	-	(外) 口縫部上面面取り。ナデ	2m程度の石 長石を含む	(外) 黄褐色 (2.5YR7/6) (内) 黄褐色 (2.5YR7/6)	
30-70	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	26.0	-	-	(外) 口縫部上面面取り。ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 黄褐色 (2.5YR7/6) (内) 黄褐色 (2.5YR7/6)	
30-71	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) 口縫部上面面取り。ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 黑褐色 (2.5YR2/1) (内) 黑褐色 (2.5YR2/1)	
30-72	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	17.6	-	-	(外) 口縫部上面面取り。ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 反灰褐色 (2.5YR4/2) (内) にぶい黄褐色 (10YR5/3)	
30-73	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	38.0	-	-	(外) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 明褐色 (2.5YR7/6) (内) 明褐色 (2.5YR7/6)	
30-74	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	36.0	-	-	(外) 口縫部上面面取り。ナデ	2m程度の石 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR5/4) (内) 良好	
30-75	42	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	-	-	-	(外) ナデ	4m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR6/6) (内) 椎色 (2.5YR6/6)	
30-76	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	24.8	-	-	(外) ナデ	1m程度の 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR6/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR7/3)	
31-77	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	27.0	-	-	(外) ナデ	3m程度の石 長石を含む	(外) 黄褐色 (2.5YR7/6) (内) 黄褐色 (2.5YR7/6)	
31-78	44	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	27.0	-	-	(外) ナデ	2m程度の石 長石を含む	(外) 反灰褐色 (2.5YR7/2) (内) 浅黄色 (2.5Y7/4)	
31-79	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	17.0	-	-	(外) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 椎色 (2.5YR5/8) (内) 淡褐色 (2.5Y5/8)	
31-80	45	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	21.0	-	-	(外) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 黑褐色 (2.5YR6/8) (内) 淡褐色 (2.5YR6/8)	
31-81	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	33.8	-	-	(外) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (10YR6/3) (内) にぶい黄褐色 (10YR6/3)	
31-82	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	26.4	-	-	(外) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 明褐色 (10YR6/6) (内) 明褐色 (10YR6/6)	
31-83	43	縄文土器	砲弾形無文深鉢	墓地式～縄 帶文成立期	DT1-2	1b層	34.8	-	-	(外) ナデ	1m程度の石 長石を含む	(外) 明褐色 (10YR5/6) (内) 明褐色 (2.5YR5/6)	

調査 番号	固有 番号	種別	岩種	時期・式 別	グリッ ド測定	層位	口径 (cm)	断面 (cm)	高さ (cm)	幅 (cm)	文様・特徴	地土	色調	備考
31-04	43	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	36.0	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 灰色 (内) 明赤褐色	(2, SYR5/4) (2, SYR5/8)
31-05	44	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	27.2	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR7/6) (2, SYR7/6)
32-06	45	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	13.4	14.8	7	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にじみ褐色 (内) にじみ黄褐色	(2, SYR5/4) (2, SYR7/4)
32-07	43	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	17.2	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
32-08	45	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	15.7	22.5	8	(外) (内)	ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(2, SYR5/6) (2, SYR7/6)
32-09	46	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	44.0	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 灰色 (内) 棕色	(10YR7/8) (SYR6/8)
32-10	45	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	44.0	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 棕色	(2, SYR5/1) (2, SYR5/8)
32-11	46	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	24.0	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 棕色	(2, SYR4/2) (2, SYR5/8)
32-12	46	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	32.0	29.8	8	(外) (内)	ナデ ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR7/8) (2, SYR7/8)
32-13	46	縞文土器	施錆形無文深鉢	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	ナデ ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR8/8) (2, SYR8/8)
33-04	46	縞文土器	バケツ形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	13.6	5.2	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、石英を含む	(外) 橙色 (内) 棕色	(7, SYR7/6) (7, SYR7/6)
33-05	46	縞文土器	田形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
33-06	46	縞文土器	田形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	30.0	4.3	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 深褐色	(SYR4/2) (SYR4/2)
33-07	46	縞文土器	田形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	31.0	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 深褐色	(SYR4/2) (SYR4/2)
33-08	46	縞文土器	田形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	40.8	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/6) (10YR5/6)
33-09	46	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/6) (2, SYR7/6)
33-10	46	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式	DTI-2	1b層	25.3	7.3	8.4	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 深褐色	(2, SYR5/5) (2, SYR5/5)
33-11	46	縞文土器	田形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	29.4	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 深褐色	(2, SYR5/4) (2, SYR5/4)
33-12	46	縞文土器	曲面形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	38.0	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
33-13	46	縞文土器	曲面形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	25.7	4.7	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 深褐色	(2, SYR5/8) (2, SYR5/8)
33-14	46	縞文土器	曲面形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	19.2	4.5	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 赤色 (内) 赤色	(10YR5/8) (10YR5/8)
33-15	46	縞文土器	曲面形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	2条の横溝浅縫。ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 深褐色	(SYR4/2) (SYR4/2)
33-16	47	縞文土器	曲面形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
33-17	47	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
33-18	47	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	-	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 灰褐色 (内) 灰褐色	(2, SYR4/2) (2, SYR4/2)
33-19	47	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	28.4	16.2	-	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR4/2) (2, SYR7/8)
33-20	47	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	21.0	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
33-21	47	縞文土器	ボール形浅鉢	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	9.0	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
33-22	47	縞文土器	圓筒形	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	19.6	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR5/8) (2, SYR5/8)
33-23	47	縞文土器	圓筒形	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	28.0	11.8	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR5/8) (2, SYR5/8)
33-24	47	縞文土器	圓筒形	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	23.8	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-115	47	縞文土器	盤形	墓地式～ 縞等文成立期	DTI-2	1b層	9.6	-	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR5/1) (2, SYR5/1)
34-116	44	縞文土器	バケツ形浅鉢	墓地式	DTI-2	1b層	25.4	9.3	-	(外) (内)	ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 二じ色彩	(2, SYR7/4) (2, SYR7/4)
34-117	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	9.0	-	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-118	45	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	9.0	-	(外) (内)	ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-119	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	4.4	(外) (内)	ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-120	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	3.2	(外) (内)	ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 赤褐色 (内) 赤褐色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-121	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	9.0	(外) (内)	ナデ ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2, SYR7/8) (2, SYR7/8)
34-122	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	8.1	(外) (内)	ナデ ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-123	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	9.2	(外) (内)	ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2, SYR6/8) (2, SYR6/8)
34-124	47	縞文土器	底部	墓地式～ 輪ヶ鼻式	DTI-2	1b層	-	-	9.0	(外) (内)	ナデ ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)

総固 番号	回版 番号	種別	器種	時期・型式	グリフ D・追遺	横幅 (cm)	口径 (cm)	高さ (cm)	文様・調査	胎土	色調	備考
34-125	47	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	8.8	(内) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) にふる黄褐色	(10YR8/6) (10YR7/4)
34-126	47	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	8.5	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
34-127	47	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	8.5	(内) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 赤色 (内) 赤色	(10RE6/2) (10RE5/2)
34-128	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	8.5	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR6/0) (7,5YR6/0)
34-129	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	9.2	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	外因が風化 している
34-130	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	7.6	(内) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(7,5YR5/1) (7,5YR5/1)
34-131	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	9.0	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR6/0) (7,5YR6/0)
34-132	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	10.0	(内) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
34-133	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	6.6	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
34-134	48	陶文土器	底部	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2,5YR5/0) (2,5YR5/0)
34-135	48	土製品	有孔土製円盤	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR6/0) (7,5YR6/0)
34-136	48	土製品	有孔土製円盤	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	-	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にふる褐色 (内) にふる褐色	(7,5YR5/0) (7,5YR5/0)
34-137	48	土製品	耳栓	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	-	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	高器の可能性
34-138	33	土製品	土偶	墓地式～ 崎ヶ鼻式	DT1-2 Ib層	-	-	-	(内) 中央に正中輪。胸部表現		堆色	(5YR6/0)
37-1	49	陶文土器	屈曲形深鉢	林原式～ 崎ヶ鼻式	SK07 Ib層	-	-	-	(内) 単面模印、纖文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 海色 (内) 棕褐色	(7,5YR4/0) (7,5YR4/0)
37-2	49	陶文土器	ボール形浅鉢	林原式～ 崎ヶ鼻式	SK07 Ib層	34.0	-	-	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR6/0) (7,5YR6/0)
39-1	50	陶文土器	深鉢	里木三・田式 古～中段腰	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部上面刻目。橫方向の 貝飾部分の後述文 (内) 貝飾部分	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 棕褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
39-2	50	陶文土器	深鉢	中原?	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 沈文 (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR4/0) (7,5YR4/0)
39-3	50	陶文土器	深鉢	船元式?	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 単面模印、纖文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
39-4	50	陶文土器	縦彈形有文深鉢	崎ヶ鼻2式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部上面に1条の沈鉢。單面 纏繩文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にふる褐色 (内) 淡黃褐色	(10YR6/4) (10YR6/4)
39-5	50	陶文土器	縦曲形深鉢	崎ヶ鼻1式	DT2 Ib層	22.0	-	-	(内) 縦縫部外面に鉛文状と華釧乳 縫文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黃褐色 (内) 明黃褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
39-6	50	陶文土器	縦曲形深鉢	崎ヶ鼻1式	DT2 Ib層	26.8	-	-	(内) 縦縫部外面に円文、單面OL纖文	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(5YR6/0) (5YR6/0)
39-7	50	陶文土器	縦曲形深鉢	崎ヶ鼻2式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部上面に刻目。外面に3 条の長い沈鉢による山形文 (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
39-8	50	陶文土器	縦曲形深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 斜面部底部に刻目 (内) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 明黃褐色	(7,5YR7/6) (7,5YR7/6)
39-9	50	陶文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式?	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部上面單面纖文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
39-10	50	陶文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 単面模印によるJ字文 (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
39-11	50	陶文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻2式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部上面に渦巻状突起、複 合纏繩文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR7/0) (7,5YR7/0)
39-12	50	陶文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部上面に單面OL纖文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黃褐色 (内) 淡黃褐色	(7,5YR5/2) (7,5YR5/2)
39-13	50	陶文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) 縦縫部外面に單面OL纖文 (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 桂褐褐色 (内) 桂褐褐色	(7,5YR4/1) (7,5YR4/1)
39-14	50	陶文土器	屈曲形深鉢?	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
39-15	50	陶文土器	縦彈形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR3/0) (7,5YR3/0)
39-16	50	陶文土器	縦彈形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 墓褐色 (内) 明黃褐色	(10YR3/2) (10YR3/2)
39-17	50	陶文土器	縦彈形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黃褐色 (内) 明黃褐色	(10YR6/0) (10YR6/0)
39-18	50	陶文土器	縦彈形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) にふる褐色	(7,5YR5/0) (7,5YR5/0)
39-19	50	陶文土器	縦彈形無文深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 赤褐色 (内) 赤褐色	(2,5YR4/0) (2,5YR4/0)
39-20	50	陶文土器	把手?	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	明黃褐色	(10YR6/6)
39-21	50	陶文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にふる黃褐色 (内) にふる黃褐色	(10YR5/3) (10YR5/3)
39-22	50	陶文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明赤褐色	(2,5YR4/0) (2,5YR4/0)
39-23	50	陶文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕褐色 (内) 棕褐色	(7,5YR6/6) (7,5YR6/6)
39-24	50	陶文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ鼻式	DT2 Ib層	-	-	-	(内) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黃褐色 (内) 明黃褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)

探査 番号	回収 番号	種 別	種 様	時期・式型	グリッ ド・遺物	層位	口径 (cm)	厚さ (cm)	底面 (cm)	文 様・調 研	地 土	色 調	備 考
39-25	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT 2	1b層	-	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(IGYR8/5) (IGYR8/3)	
39-26	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT 2	1b層	-	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぼい黄褐色 (内) にぼい黄褐色	(IGYR8/4) (IGYR8/4)	
39-27	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT 2	1b層	-	11.2	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぼい黄褐色 (内) にぼい黄褐色	(IGYR8/4) (IGYR8/4)	
39-28	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT 2	1b層	-	5.7	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(IGYR8/5) (IGYR8/5)	
39-29	50	縄文土器	底部	崎ヶ鼻式	DT 2	1b層	-	5.2	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(IGYR8/6) (IGYR8/6)	
39-30	33	土製品	土偶	崎ヶ鼻式	DT 2	1b層	-	-	(外) 中央に正中線	(外) 明褐色	(SYR5/8)	2.5×3.2× 1.8cm	
41-1	51	縄文土器	深鉢	船元式	C11	1b層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄色 (内) 黄色	(SYR5/6) (SYR2/1)	
41-2	51	縄文土器	船形彌加文深鉢	基本形+崎ヶ 鼻式	D11	1b層	26.0	-	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 緑色 (内) 緑色	(SYR6/8) (SYR7/6)	
41-3	33	土製品	土偶	基本形+崎ヶ 鼻式	E10	1b層	-	-	(外) 鋸齒、輪郭、面部、足部に2本 の横線がある。中央に正中線	(外) 緑色	(SYR6/8)	3.4×4.2× 1.0cm	
44-1	61	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	SK08	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ? 遺傳している	1mm程度の石 英を含む	(外) 赤色 (内) 明褐色	(IGR8/8) (IGR8/6)	
44-2	51	縄文土器	底部		SK08	1c層	-	7.6	(外) ナデ	2mm程度の石 英を含む	(外) 反射色 (内) 反射色	(IGR8/2) (IGR8/2)	
46-1	61	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 中期段	SK10	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ	1mm程度の石 英を含む	(外) 緑色 (内) 緑色	(SYR6/6) (SYR6/6)	
46-2	51	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	SK10	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ	5mm程度の石 英を含む	(外) 緑色 (内) 緑色	(SYR7/6) (SYR7/6)	
49-1	61	縄文土器	屈曲形深鉢	墓地式	P226	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ミガキ	1mm程度の石 英を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(IGR2/3) (IGR2/3)	
52-1	62	縄文土器	深鉢	北白川下層 I式	DT1-3	1c層	-	-	(外) 白線部上層を削り込み、2条の垂 れ縫合がある。底部には逆C字風斜溝 (内) ナデ	1mm程度の石 英を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR3/4)	高密度が別 個体の可認性
52-2	52	縄文土器	深鉢	北白川下層 I式	DT1-3	1c層	-	-	(外) C字斜溝文 (内) ミガキ	1mm程度の石 英を含む	(外) 黄色 (内) 黄色	(SYR4/6) (SYR4/6)	
52-3	52	縄文土器	深鉢	前段?	DT1-3	1c層	-	-	(外) 2枚貝垂痕 (内) ナデ	1mm程度の石 英を含む	(外) 黄色 (内) 黄色	(SYR4/6) (SYR4/6)	北白川下層 に伴うなう 縄文土器
52-4	52	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	DT1-3	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ	1mm程度の石 英を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR3/2) (SYR3/4)	
52-5	52	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 新段階	DT1-3	1c層	-	-	(外) 網縫間に6条の波状紋。斜溝 (内) ナデ	1mm程度の石 英を含む	(外) 緑色 (内) 明褐色	(SYR6/6)	
52-6	52	縄文土器	ホール形浅鉢	後期前段	DT1-3	1c層	-	-	(外) 網縫部外層を厚く削る。斜溝はミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR8/6) (SYR8/6)	
52-7	52	縄文土器	窓形有文深鉢	後期前段	DT1-3	1c層	-	-	(外) 網縫部外層に削り凹む。斜溝ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英を含む	(外) 浅褐色 (内) 浅褐色	(SYR8/2) (SYR8/2)	
52-8	52	縄文土器	底部		DT1-3	1c層	-	-	(外) 網縫部窓文 (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄色 (内) 黄色	(SYR6/8) (SYR6/8)	
54-1	53	縄文土器	深鉢	轟式	C11	1c層	-	-	(外) 4条の垂縫 (内) ナデ	3mm程度の石 英を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(SYR5/8) (SYR5/8)	
54-2	53	縄文土器	深鉢	北白川下層 I式?	E11	1c層	-	-	(外) 壁面に2条の斜溝 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(SYR6/6) (SYR6/6)	
54-3	53	縄文土器	深鉢	船元式	G11	1c層	-	-	(外) 9条の次縫と単縫的、純文 (内) ナデ	2mm程度の石 英を含む	(外) 黄褐色 (内) にぼい黃褐色	(SYR6/1) (SYR6/2)	
54-4	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	C11	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ	2mm程度の石 英を含む	(外) 黄褐色 (内) 明褐色	(SYR5/6) (SYR5/6)	
54-5	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古段階	C11	1c層	-	-	(外) 波状文 (内) ナデ	3mm程度の石 英を含む	(外) 黄褐色 (内) 明褐色	(SYR5/6) (SYR5/6)	
54-6	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	C11	1c層	-	-	(外) 雷文 (内) ナデ	1mm程度の石 英を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR7/6) (SYR7/6)	
54-7	53	土製品	耳挖?	前期~墓地式	D12	1c層	-	-	憑書き文		黄褐色	(SYR7/8)	
54-8	33	土製品	土偶	前期~墓地式	E10	1c層	-	-	(外) 正中線 (内) 脊部付近に斜削痕?	1mm程度の石 英を含む	椎色	(SYR7/6)	3.3×3.5× 1.4cm
57-1	53	縄文土器	深鉢	船元式	SK14	1層	-	-	(外) 単節丸窓文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 波状褐色 (内) 乳白色	(IGR8/4) (IGR7/5)	
57-2	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	SK14	1層	-	-	(外) 窓文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(IGR7/6)	
57-3	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	SK14	1層	-	-	(外) 窓文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR5/8) (SYR5/8)	
57-4	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 古~中期段	SK14	1層	-	-	(外) 窓文 (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(IGR7/6) (IGR7/6)	
57-5	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 新段階	SK14	1層	-	-	(外) 網縫部上層斜削、前頭斜削、 脇部角張 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(IGR6/6)	
57-6	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 新段階	SK14	1層	-	-	(外) 神引文、象眼 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 波状褐色 (内) にぼい黃褐色	(IGR8/4) (IGR7/2)	
57-7	53	縄文土器	深鉢	星木Ⅱ・Ⅲ式 新段階	SK14	1層	-	-	(外) 鳥文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR5/8) (SYR5/8)	複数底が明 顯する
57-8	53	縄文土器	底部	星木Ⅱ・Ⅲ式 新段階	SK14	1層	-	-	(外) 鳥文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(SYR7/6) (SYR5/4)	7と同一團 體?
57-9	53	縄文土器	深鉢	中附?	SK14	1層	25.4	-	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 褐色 (内) 褐色	(SYR5/2) (SYR5/2)	複合底が明 顯する

詳細 番号	因版 番号	種 別	種 類	時期・型式	グリット-遺構	層位	口径 (cm)	厚さ (cm)	底径 (cm)	文 様・調 査	地 土	色 調	備 考	
57-10	53	縄文土器	深鉢	中周?	SK14	1層	-	-	-	(外) 雜帶 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2.5YR5/8) (2.5YR5/8)	
57-11	53	縄文土器	深鉢	基本Ⅱ・Ⅴ式	SK14	1層	-	-	-	(外) 遺文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 棕色	(10YR7/6) (10YR4/4)	
57-12	53	縄文土器	深鉢	中周?	SK14	1層	-	-	-	(外) 遺文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黒褐色 (内) 明赤褐色	(10YR3/2) (10YR6/6)	
57-13	53	縄文土器	底盤	中周?	SK14	1層	-	-	-	(外) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 褐灰色 (内) 棕色	(5YR5/1) (5YR7/6)	
59-1	54	縄文土器	切削形有文深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈線。網 目状底部に網文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 明赤褐色	(10YR2/1) (10YR6/8)	
59-2	54	縄文土器	切削形有文深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈線。崎 ヶ島2式ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)	
59-3	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に横巻文。外縁に 張巻文+亞面文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)	
59-4	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部外縁に変形横巻文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深赤褐色 (内) 深赤褐色	(10YR8/4) (10YR8/4)	
59-5	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部側面に2条の沈線と網 目状底部に網文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 深赤褐色	(10YR7/3) (10YR8/4)	
59-6	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈線。外 面に山形文、網目に2条の下沈線。口縁部上面から網部にかけて全縁部網文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 橙色	(7.5YR6/5) (7.5YR6/8)	
59-7	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に1条の沈線。外縁 に山形文、網目+亞面文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明赤褐色	(5YR3/1) (5YR5/8)	
59-8	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 口縁部外縁に網文	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7.5YR5/6) (7.5YR6/6)	
59-9	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 網部屈筋部に斜溝	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7.5YR6/6) (7.5YR6/6)	
59-10	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	34.0	-	-	(外) 網部屈筋部に鉤凸	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 橙色	(7.5YR5/2) (7.5YR7/6)	
59-11	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	21.0	14.1	-	(外) 口縁部上面に網文+頸部屈筋 (内) 山形文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(5YR3/2) (10YR7/6)	全体的に風化している
59-12	54	縄文土器	屈曲形無文深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)	
59-13	54	縄文土器	屈曲形無文深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深赤褐色 (内) 深赤褐色	(10YR8/4) (10YR8/4)	
59-14	54	縄文土器	屈曲形無文深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深赤褐色 (内) 深赤褐色	(10YR8/4) (10YR8/4)	
59-15	54	縄文土器	屈曲形無文深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	8.0	-	(外) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7.5YR5/6) (7.5YR5/8)	
59-16	54	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(5YR2/2) (10YR7/6)	
59-17	54	縄文土器	ボール形深鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)	
59-18	54	縄文土器	ボール形附鉢	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR8/6)	
59-19	54	縄文土器	底盤	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	8.0	-	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7.5YR6/6) (10YR7/6)	
59-20	54	縄文土器	底盤	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	8.0	-	(外) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7.5YR6/6) (7.5YR6/6)	
59-21	54	縄文土器	底盤	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	8.0	-	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 橙色	(10YR7/6) (7.5YR6/6)	
59-22	54	縄文土器	底盤	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	9.5	-	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 深赤褐色 (内) 深赤褐色	(10YR8/4) (10YR8/4)	
59-23	54	土製品	土器	崎ヶ島2式	SI01	1層	-	-	-	(外) 中央に中線。腹部に沈線?	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色	(7.5YR6/6) 5.5×4.5× 1.8cm	
61-1	55	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	17.9	14.0	-	(外) 口縁部上面に2条の沈線、網 目状底部に網文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい褐色 (内) にぶい褐色	(7.5YR5/3)	
61-2	56	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	-	-	-	(外) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明赤褐色	(10YR7/6)	
61-3	56	縄文土器	屈曲形有文深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	22.8	-	-	(外) 全周単屈筋+網文	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(10YR4/6) (10YR4/6)	
61-4	56	縄文土器	屈曲形有文深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	-	-	-	(外) 口縁部外縁に褐色文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 赤褐色 (内) にぶい褐色	(5YR4/6) (10YR5/4)	
61-5	56	縄文土器	ボール形深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に単屈筋+網文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 橙色	(5YR4/6) (5YR7/6)	
61-6	56	縄文土器	ボール形深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	-	-	-	(外) 網部内面に単屈筋+網文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(5YR2/1) (5YR2/1)	
61-7	56	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	-	-	-	(外) 網部屈筋部に1条の沈線と開 口	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7.5YR7/6) (7.5YR6/6)	
61-8	56	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に単屈筋+網文	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7.5YR7/6) (7.5YR6/6)	
61-9	56	縄文土器	屈曲形無文深鉢	崎ヶ島1式	SI01-SK1	1層	32.0	-	-	(外) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明赤褐色	(7.5YR5/1) (7.5YR6/6)	

桿回 番号	面版 番号	種別	基種	時期・型式	グリフ ド・遺物	等位	口径 (cm)	高さ (cm)	底径 (cm)	文様・調整			地土	色調	備考
										内	外	内			
61-10	55	縄文土器	磨彫形鉢	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	30.0	10.7	-	(外) ナデ (内) ナチ	1mm程の石 系、良石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)		
61-11	56	縄文土器	磨彫形鉢	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	17.0	11.0	4.8	(外) ミヤキ (内) ミヤキ	1mm程の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR2/2) (10YR6/6)		
61-12	56	縄文土器	ボーラ形浅鉢	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	30.0	10.7	-	(外) ミヤキ (内) ミヤキ	2mm程の石 系、良石を含む	(外) 棕色 (内) 褐褐色	(7 SYR7/6) (7 SYR1/3)		
61-13	56	縄文土器	底部	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	-	-	10.0	(外) ナヂ (内) ナヂ	5mm程の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明黄褐色	(7 SYR7/8) (10YR7/6)		
61-14	56	縄文土器	底部	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	-	-	10.0	(外) ナヂ (内) ナヂ	5mm程の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR6/6) (10YR2/2)		
61-15	56	縄文土器	底部	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	-	-	8.0	(外) ナヂ (内) ナヂ	2mm程の石 系、良石を含む	(外) 棕色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR7/4)		
61-16	56	縄文土器	底部	崎ヶ島1式	SK101- SK1	1層	-	-	11.0	(外) ナヂ (内) ナヂ	5mm程の石 系、良石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 反黄褐色	(10YR7/6) (10YR4/2)		
63-1	56	縄文土器	ボーラ形浅鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) 全縄文面 ミヤキ	2mm程の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
63-2	56	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) 口縁部外側に2条の立縁、單 縄文、单縄文	1mm程の石 系、良石を含む	(外) 紅赤褐色 (内) 黑褐色	(SYR2/2)		
63-3	56	縄文土器	ボーラ形浅鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) 全縄文面 ミヤキ	1mm程の石 系、良石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 黑褐色	(SYR5/6) (SYR1/1)		
63-4	57	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	6.7	14.4	5.8	(外) 口縁部上面に入組文、窮屈漢 文、单縄文	1mm程の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)		
63-5	56	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) ナヂ (内) ナヂ	2mm程の石 系、良石を含む	(外) 赤褐色 (内) 黄褐色	(SYR6/6) (7 SYR7/6)		
63-6	56	縄文土器	屈彌形無底深鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) ナヂ (内) ナヂ	3mm程の石 系、良石を含む	(外) 褐色 (内) 黄褐色	(7 SYR6/8) (7 SYR7/8)		
63-7	56	縄文土器	屈彌形無底深鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) ナヂ (内) ナヂ	2mm程の石 系、良石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(7 SYR5/6) (7 SYR5/6)		
63-8	56	縄文土器	ボーラ形浅鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) ミヤキ (内) ミヤキ	1mm程の石 系、良石を含む	(外) “こぶし”形褐色 (内) “こぶし”形褐色	(10YR5/2) (10YR5/4)		
63-9	56	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	10.6	-	-	(外) ミヤキ (内) ミヤキ	1mm程の石 系、良石を含む	(外) 褐色 (内) 褐色	(SYR6/8) (SYR6/8)		
63-10	56	縄文土器	底部	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	9.5	(外) ナヂ (内) ナヂ	5mm程の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) “こぶし”形褐色	(10YR6/8) (7 SYR5/4)		
63-11	56	縄文土器	底部	崎ヶ島2式	配石透 構4	1層	-	-	10.0	(外) ナヂ (内) ナヂ	2mm程の石 系、良石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR6/6) (10YR7/6)		
64-1	57	縄文土器	逆彌形無底深鉢	崎ヶ島1～2式	SK15	1層	22.6	-	-	(外) ナヂ (内) ナヂ	2mm度の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
64-2	57	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ島1～2式	SK15	1層	-	-	-	(外) 口縁部外面に単縦RL縄文 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
64-3	57	縄文土器	壺形鉢	崎ヶ島1～2式	SK15	1層	12.4	-	-	(外) 口縁部外面に単縦RL縄文 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 赤褐色 (内) 黄褐色	(SYR6/6) (10YR5/6)		
65-1	57	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ島2式	SK16	1層	-	-	-	(外) ミヤキ (内) 口縁部外面に単縦RL縄文	3mm度の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) “こぶし”形褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
66-1	57	縄文土器	屈曲形縫合鉢	縫合成立型～崎ヶ島式	SK17	1層	30.0	-	-	(外) 突起縫合部に刻目 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 赤褐色 (内) 浅黃褐色	(SYR6/6) (10YR6/4)		
70-1	58	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) 口縁部外面に2条の立縁、入 組文、单縄文	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(SYR5/6) (SYR5/6)		
70-2	58	縄文土器	屈曲形鉢	崎ヶ島1式	配石透 構4	1層	-	-	-	(外) 口縁部外面に単縦RL縄文 ミヤキ	3mm度の石 系、良石を含む	(外) “こぶし”形褐色 (内) “こぶし”形褐色	(10YR7/6) (10YR7/4)		
70-3	58	縄文土器	ボーラ形浅鉢	崎ヶ島1式	配石透 構6	1層	-	-	-	(外) 全縄文面 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/6)		
70-4	58	縄文土器	屈彌形無底深鉢	崎ヶ島1式	配石透 構6	1層	-	-	-	(外) ナヂ (内) ナヂ	3mm度の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/6)		
70-5	58	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	配石透 構6	1層	-	-	-	(外) ミヤキ (内) ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) “こぶし”形褐色 (内) “こぶし”形褐色	(10YR6/4) (10YR6/4)		
73-1	58	縄文土器	深鉢	中層	DT3	1層	-	-	-	(外) 鉢底の沈縫、刻文 ミヤキ	2mm度の石 系、良石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(2 SYR7/6) (2 SYR7/6)		
73-2	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 口縁部外面に1条の沈縫、刻目 ミヤキ	3mm度の石 系、良石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)		
73-3	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 口縁部外面に1条の沈縫、刻目、 单縋、单縋RL縄文	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 褐色 (内) 褐色	(7 SYR6/4)		
73-4	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	23.0	-	-	(外) 口縁部外面に縦縫の沈縫、 1条の沈縫、刻目 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
73-5	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 鉢底突起部に刻目 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)		
73-6	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 鉢底の波状部に入組文、刻目、 1条の沈縫 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 褐色 (内) 褐色	(7 SYR6/4)		
73-7	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	23.4	-	-	(外) 口縁部外面に透認文、上層に 1条の沈縫、刻目 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(SYR8/8) (10YR6/6)		
73-8	58	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 壁突起部、口縁部上面に刻目 ミヤキ	6mm度の石 系、良石を含む	(外) “こぶし”形褐色 (内) “こぶし”形褐色	(10YR5/3) (10YR5/3)		
73-9	58	縄文土器	屈彌形有文深鉢	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 口縁部上面に刻目 ミヤキ	1mm度の石 系、良石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)		

地図 番号	昭和 年号	種別	基 種	時刻・型式	グリッ‑ F-直線	層位	口径 (cm)	器皿 (cm)	底径 (cm)	文 様・調査			地 土	色 調	備 考
										基	蓋	蓋基			
73-10	58	縞文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT 3	1層	22.0	-	-	(外) 口縁部上間に1条の沈線、單 眼乳頭縫文 (内) ナデ	4mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/4)		
73-11	58	縞文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部上間に2条の沈線、單 眼乳頭縫文 (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/6)		
73-12	58	縞文土器	屈曲形有文深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 頂部に単眼乳頭縫文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR7/6) (10YR7/5)		
73-13	58	縞文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部上間に1条の沈線、單 眼乳頭縫文 (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 長石を含む	(10YR6/4) (10YR6/6)		
73-14	58	縞文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部上間に1条の沈線 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/6)		
73-15	58	縞文土器	屈曲形深鉢?	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 頂部に単眼乳頭縫文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR6/6) (10YR6/8)		
73-16	58	縞文土器	屈曲形深鉢?	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 頂部に単眼乳頭縫文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/1) (10YR5/3)		
73-17	58	縞文土器	直形浅鉢?	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部上間に突起、外側に1 条の沈線 (内) 内面に1条の沈線、ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR6/6) (10YR6/8)		
73-18	58	縞文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 頂部屈曲部に斜目 ミガラ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR6/1) (10YR6/1)		
73-19	58	縞文土器	直形形浅鉢	林原式	DT 3	1層	26.4	7.1	-	(外) 頂部屈曲部に斜目 ミガラ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
73-20	58	縞文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 頂部屈曲部に斜目 ミガラ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/4)		
73-21	58	縞文土器	屈曲形浅鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 頂部屈曲部に斜目 ミガラ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/4)		
73-22	58	縞文土器	屈曲形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部外間に單眼乳頭縫文 ミガラ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)		
73-23	58	縞文土器	屈曲形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部外間に單眼乳頭縫文 ミガラ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR7/6) (10YR7/6)		
73-24	58	縞文土器	屈曲形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部外間に單眼乳頭縫文 ミガラ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR6/2) (10YR7/8)		
73-25	58	縞文土器	屈曲形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 口縁部外間に單眼乳頭縫文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/4)	屈曲形有文 深鉢の可能性	
73-26	58	縞文土器	直形鉢	林原式	DT 3	1層	12.4	-	-	(外) 4本1位の沈線 ミガラ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(10YR2/1) (10YR2/1)		
73-27	58	縞文土器	直形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 4本1位の沈線 ミガラ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7.5YR6/2) (7.5YR6/2)		
73-28	58	縞文土器	直形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) 3本1位の沈線 ミガラ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(7.5YR2/2) (7.5YR2/2)	色色顔料が 付着	
73-29	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	39.0	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(7.5YR5/2) (7.5YR5/2)		
73-30	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/4) (10YR5/6)		
73-31	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/4) (10YR5/6)		
74-32	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	29.2	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/4)		
74-33	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	26.0	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR6/6) (10YR6/6)		
74-34	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR6/2) (10YR7/6)		
74-35	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) にぶい黄褐色	(10YR6/2) (10YR7/2)		
74-36	59	縞文土器	施漆形無文深鉢	林原式	DT 3	1層	25.0	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)		
74-37	59	縞文土器	屈曲形鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナガリ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR5/6) (10YR7/6)	椎合痕が明 瞭に残る	
74-38	59	縞文土器	ボルタル形深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナガリ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(10YR2/1) (10YR2/1)		
74-39	59	縞文土器	皿形深鉢	林原式	DT 3	1層	-	-	-	(外) ナガリ (内) ナガリ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/8) (10YR6/8)		
74-40	59	縞文土器	ボルタル形深鉢	林原式	DT 3	1層	24.5	7.1	-	(外) ナデ (内) ナデ	4mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR5/6) (10YR5/6)		
74-41	59	縞文土器	折丘形深鉢	林原式	DT 3	1層	29.2	7.1	-	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR6/3) (10YR6/3)		
74-42	59	縞文土器	直形鉢	林原式	DT 3	1層	15.8	7.3	-	(外) ナガリ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/4)		
74-43	59	縞文土器	底盤	林原式	DT 3	1層	-	-	7.0	(外) ナガリ (内) ナガリ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(10YR4/1) (10YR4/1)		
74-44	59	縞文土器	底盤	林原式	DT 3	1層	-	-	5.6	(外) ナデ (内) ナガリ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄色 (内) 明黄色	(10YR5/5) (10YR4/1)		
74-45	59	縞文土器	底盤	林原式	DT 3	1層	-	-	7.2	(外) ナデ (内) ナガリ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7.5YR5/5) (7.5YR5/5)		
74-46	59	縞文土器	底盤	林原式	DT 3	1層	-	-	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)		
74-47	59	縞文土器	底盤	林原式	DT 3	1層	-	-	8.0	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10YR7/4) (10YR7/4)		
74-48	59	縞文土器	底盤	林原式	DT 3	1層	-	-	9.4	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR2/1)		

探査 番号	探査 番号	種別	形種	時期・式型	グリッ ド・遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	文様・調査	胎土	色調	備考	
74-49	59	縄文土器	底部	林原式	DT3	1層	-	-	10.0	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 緑色 (内) 明黄褐色	(7. SYR6/8) (2. SYT7/6)	
74-50	33	土製品	土偶	林原式	DT3	1層	-	-	-	(外) 頭部に3本の沈線、胸部表現、 中央に正面中横	(外) 細部上部に刻目	1mm程度の石 英、長石を含む	緑色	(7. SYR6/6)
78-1	60	縄文土器	弦彌形有文深鉢a	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR7/8) (7. SYT7/8)	
78-2	60	縄文土器	弦彌形有文深鉢a	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	口縁部上部に刻目	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(SYR5/8) (SYT5/8)
78-3	60	縄文土器	晶彌形深鉢	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	口縁部上部に1条の沈線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR6/8) (7. SYT6/8)
78-4	60	縄文土器	弦彌形有文深鉢a	晩期中東?	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナデ	口縁部上部に刻目	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明黄褐色	(SYR7/8) (SYT7/8)
78-5	60	縄文土器	晶彌形深鉢	墓地式	DT4	1層	26.8	-	-	(外) 口縁部上部に刻目 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR7/8) (7. SYT7/8)	
78-6	60	縄文土器	晶彌形深鉢	縄文成立期	DT4	1層	31.2	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 緑色 (内) 緑色	(7. SYR6/8) (7. SYT6/8)	
78-7	60	縄文土器	晶彌形深鉢	縄文成立期	DT4	1層	28.4	7.5	-	(外) ナデ (内) ナガニ	頭部底面部に1条の沈線、刻目 等	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(7. SYR4/7) (10YR7/8)
78-8	60	縄文土器	晶彌形深鉢	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	頭部底面部に刻目	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-9	60	縄文土器	晶彌形深鉢	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	頭部底面部による區画文 等	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 反対褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-10	60	縄文土器	水ール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部外側に2条の沈線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 反対褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-11	60	縄文土器	水ール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	辺縫部内側深	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 反対褐色	(2. SYR5/8) (2. SYT5/8)
78-12	60	縄文土器	水ール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナガニ	3条の横走沈線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-13	60	縄文土器	水ール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナガニ	2条の横走沈線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/8) (10YR4/8)
78-14	60	縄文土器	彌形	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	円文を施した突起が付く	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-15	60	縄文土器	ボール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナガニ	邊縫部内側深	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 反対褐色	(2. SYR5/8) (2. SYT5/8)
78-16	60	縄文土器	ボール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナガニ	縄文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(11. 16と同 一固体?)
78-17	60	縄文土器	底部	縄文成立期	DT4	1層	-	10.0	-	(外) ナデ (内) ナガニ	節部丸縁文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 黄褐色	(2. SYR5/8) (2. SYT5/8)
78-18	61	縄文土器	晶彌形	縄文成立期	DT4	1層	29.0	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部下端部にわずかに刻目	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-19	61	縄文土器	旋彌形無文深鉢	縄文成立期	DT4	1層	30.8	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	ナデ	6mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR6/3) (SYR6/8)
78-20	61	縄文土器	旋彌形無文深鉢	縄文成立期	DT4	1層	43.0	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
78-21	61	縄文土器	底部	縄文成立期	DT4	1層	15.4	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
79-22	61	縄文土器	旋彌形無文深鉢	縄文成立期	DT4	1層	36.0	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
79-23	61	縄文土器	旋彌形無文深鉢	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
79-24	61	縄文土器	田形	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナガニ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(2. SYR5/8) (2. SYT5/8)	
79-25	61	縄文土器	ボール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	26.0	5.7	-	(外) ナガニ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 浅褐色 (内) 浅褐色	(2. SYR4/8) (2. SYT4/8)	
79-26	61	縄文土器	ボール形遺跡	縄文成立期	DT4	1層	27.0	7.0	-	(外) ナガニ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR6/8) (10YR6/8)	
79-27	61	縄文土器	底部	縄文成立期	DT4	1層	15.0	12.8	3.9	(外) ナガニ (内) ナガニ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(10YR5/8) (10YR5/8)	
79-28	61	縄文土器	晶彌形	縄文成立期	DT4	1層	14.4	-	-	(外) ナガニ (内) ナガニ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2. SYR6/8) (2. SYT6/8)	
79-29	61	縄文土器	圓角形	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナガニ (内) ナガニ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)	
79-30	61	縄文土器	底部	縄文成立期	DT4	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)	
84-1	62	縄文土器	旋彌形有文深鉢a 基1式	縄文成立期	DT5	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部上部に交叉刻目	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2. SYR7/8) (2. SYT7/8)
84-2	62	縄文土器	旋彌形有文深鉢a 基2式	縄文成立期	DT5	1層	-	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部上部に刻目	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(10YR5/4) (10YR5/4)
84-3	62	縄文土器	晶彌形深鉢	林原式	DT5	1層	24.8	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部上部に1条の沈線、斜 線、垂直に次線	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
84-4	62	縄文土器	晶彌形深鉢	林原式	DT5	1層	31.4	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部外側に2条の沈線、刻 目、第Ⅱ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(10YR7/4) (10YR7/4)
84-5	62	縄文土器	晶彌形深鉢	崎ヶ島1式	DT5	1層	21.0	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部外側に明黄褐色文。區画文 等	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
84-6	62	縄文土器	晶彌形深鉢	崎ヶ島1式	DT5	1層	21.0	-	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部外側に円文、区画文、 斜線孔丸文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 反対褐色	(10YR7/4) (10YR7/4)
84-7	62	縄文土器	晶彌形深鉢	崎ヶ島1式	DT5	1層	17.2	14.0	-	(外) ナデ (内) ナガニ	口縫部外側に円文、区画文、 斜線孔丸文	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)

埠固 番号	回収 番号	種別	管 種	時期・型式	グリッ ド-追跡	場所	口径 (cm)	高さ (cm)	底高 (cm)	文 様・調 整	地 土	色 調	備考
84-8	62	調文土器	圓曲形深鉢	崎ヶ島 1 式	DT5	1層	24.8	-	-	(外) 口縁部外面に山形文、奉題UR縞文 ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 褐色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/8)
84-9	62	調文土器	圓曲形深鉢	崎ヶ島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縁部外面に山形文、奉題UR縞文 ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 褐色	(10YR6/6) (10YR6/8)
84-10	62	調文土器	圓曲形深鉢	崎ヶ島 1 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部外面に入組文、斜突文、 斜突文 (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/6)
84-11	62	調文土器	圓曲形深鉢	崎ヶ島 1 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部外面に山形文、斜突文、 斜突文 (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/6)
84-12	62	調文土器	圓曲形深鉢	崎ヶ島 1 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部外面に山形文、斜突文、 斜突文 (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 褐色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/8)
84-13	62	調文土器	圓曲形深鉢	崎ヶ島 1 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部外面に山形文、斜突文、 斜突文 (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/8)
84-14	62	調文土器	泡彌形有文深鉢	島根式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 奥部UR文、深巻文 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/4)
84-15	61	調文土器	圓曲形深鉢	島根式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	9.6	-	(外) 奥部UR縞文 ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/8)
84-16	62	調文土器	圓曲形深鉢	島根式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 奥部UR縞文 ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/1) (10YR7/2)
84-17	62	調文土器	深鉢	深周中腹	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部上面に刻目 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/6)
84-18	62	調文土器	深鉢	深周中腹	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部上面に刻目 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/6) (10YR6/6)
84-19	62	調文土器	圓曲形深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 奥部UR縞文 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR4/6) (10YR4/6)
84-20	62	調文土器	圓曲形深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 奥部UR縞文 ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR8/5) (SYR8/5)
84-21	62	調文土器	圓曲形深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	37.4	-	-	(外) 奥部表面に刻目 ナデ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR8/6) (10YR6/6)
84-22	62	調文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 京頭突起、ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/6)
84-23	62	調文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 陶器文によるJ字文 ナデ ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
84-24	62	調文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	28.2	-	-	(外) 口縫部外側に2条の波線、草 原式、深V、強部に波線 ナデ ミガキ	4mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR6/6)
84-25	62	調文土器	圓曲形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部外面に單脚UR縞文 ナデ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR8/6) (SYR8/6)
84-26	62	調文土器	圓曲形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 口縫部上面に單脚UR縞文、網 目刻目？ ナデ ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
84-27	62	調文土器	圓曲形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	14.8	11.3	-	(外) 網目刻目に單脚UR縞文 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
84-28	62	調文土器	圓曲形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 单脚UR縞文 ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR8/6) (10YR8/6)
84-29	62	調文土器	壺形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	9.2	-	-	(外) 单脚UR縞文 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR8/4) (10YR8/6)
84-30	62	調文土器	壺形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 瓶口部に单脚UR縞文 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR8/4) (10YR8/6)
84-31	62	調文土器	壺形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 瓶口 ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(2. SYR6/6) (2. SYR6/6)
85-32	63	調文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) 京頭突起、ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(2. SYR6/3) (2. SYR6/6)
85-33	63	調文土器	圓曲形深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) ナデ ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(1. SYR6/1) (1. SYR6/6)
85-34	63	調文土器	扁曲形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	22.6	-	-	(外) ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR5/8) (SYR5/8)
85-35	63	調文土器	電探形鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-36	63	調文土器	電探形無文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	13.6	8.6	-	(外) ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR5/6) (SYR5/6)
85-37	63	調文土器	圓曲形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	21.6	8.4	-	(外) ナデ ナデ ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-38	63	調文土器	電探形無文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	11.2	-	-	(外) ナデ ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR8/6) (SYR8/6)
85-39	63	調文土器	西側形御文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	30.8	-	-	(外) ナデ ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-40	63	調文土器	西側形御文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	25.0	-	-	(外) ナデ ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR5/4) (10YR5/6)
85-41	63	調文土器	西側形御文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	26.8	-	-	(外) ナデ ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-42	63	調文土器	西側形御文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	18.0	-	-	(外) ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-43	64	調文土器	電探形無文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	34.0	-	-	(外) ナデ ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-44	63	調文土器	電探形無文深鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) ナデ ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
85-45	63	調文土器	盖形	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	-	-	-	(外) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR6/6) (SYR6/6)
85-46	64	調文土器	ボール形浅鉢	林原式～崎ヶ 島 2 式	DT5	1層	30.0	8.0	-	(外) ミガキ ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	褐色 (内) 黄褐色	(SYR7/6) (SYR7/6)

押擣 番号	伝記 番号	種別	基 標	時期・型式	グリッ F-遺構	部位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	文 様・調 整	地 土	色 調	備考
85-47	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	29.0	6.5	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(SYR6/8) (SYR6/8)
85-48	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7. SYR7/6) (7. SYR7/6)
85-49	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ミガキ ミガキ	2mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙黄褐色 (内) 橙黄褐色	(SYR7/6) (SYR7/6)
85-50	63	縄文土器	屈曲形鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(2. SYR4/8) (2. SYR4/8)
85-51	63	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(2. SYR4/8) (2. SYR4/8)
85-52	63	縄文土器	屈曲形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R2/2) (19R2/2)
85-53	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	36.0	5.5	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙黄褐色 (内) 橙黄褐色	(19R1/8) (19R1/8)
85-54	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙黄褐色 (内) 橙黄褐色	(19R1/8) (19R1/8)
85-55	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	26.0	-	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(SYR6/8) (SYR6/8)
85-56	63	縄文土器	ボルタル形浅鉢	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(SYR6/8) (SYR6/8)
85-57	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	8.4	-	(内) ナデ ナデ	5mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R7/6) (7. SYR7/6)
85-58	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	10.2	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R6/8) (19R6/8)
85-59	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	13.4	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR6/8) (SYR6/8)
85-60	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	10.4	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R7/6) (19R7/6)
85-61	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	7.7	-	(内) ミガキ ミガキ	4mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7. SYR6/8) (7. SYR6/8)
85-62	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	8.0	-	(内) ミガキ ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR6/8) (19R6/4)
85-63	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	-	-	(内) 喜連川縄文 (内) ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R2/1) (19R2/1)
85-64	63	縄文土器	底部	林原式～崎ヶ 島式	DT5	1層	-	7.0	-	(内) ナデ ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R7/4) (19R7/4)
89-1	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁上に刻目 (内) ナデ	2mm程度の石 異、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(SYR8/5) (SYR8/5)
89-2	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁上に3条の沈線、斜窓 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/4)
89-3	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁外縫に2条の沈線、斜窓 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR7/6) (7. SYR7/6)
89-4	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	28.4	-	-	(外) 縦隔壁外縫に2条の沈線、斜 窓、刻目、刻窓、縄織文 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(SYR8/5) (SYR8/5)
89-5	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	14.6	12.4	-	(外) 縦隔壁外縫に縦窓の透沈線、1 条の豊後透沈線、前斜窓 (内) ナデ	3mm程度の石 異、長石を含む	(外) に赤い黄褐色 (内) 明赤褐色	(19R6/3) (19R7/6)
89-6	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	22.0	-	-	(外) 縦隔壁外縫に1条の沈線、斜窓 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR7/8) (7. SYR7/8)
89-7	66	縄文土器	屈曲形深鉢	縄帯文成立期	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁外縫に1条の沈線、斜窓、刻窓 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR7/8) (7. SYR7/8)
89-8	66	縄文土器	透曲形深鉢	縄帯文成立期	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁上に沈線、縦部に横 窓を有する横窓 (内) ナデ	2mm程度の石 異、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR8/6) (7. SYR8/6)
89-9	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁上に横窓、1条の沈線 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(19R7/6) (19R7/6)
89-10	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁外縫に喜連川縄文 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(19R6/4) (19R6/4)
89-11	66	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 喜連川縄文 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙褐色 (内) 橙褐色	(7. SYR6/8) (7. SYR6/8)
89-12	66	縄文土器	屈曲形深鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 縦隔壁外縫に縦窓 (内) ミガキ	0mm程度の石 異、長石を含む	(外) 開白色 (内) 開白色	(19R4/4) (19R4/4)
89-13	66	縄文土器	屈曲形深鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 喜連川縄文外縫に1条の沈線、前斜 窓 (内) ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(19R7/6) (19R7/6)
89-14	66	縄文土器	ボルタル形浅鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	33.4	-	-	(外) ミガキ (内) 縦隔壁外縫に單筋透織文	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(19R7/6) (19R7/6)
89-15	66	縄文土器	ボルタル形浅鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	26.5	7.4	-	(外) 双窓突起、単筋透織文 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/6)
89-16	66	縄文土器	ボルタル形浅鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 喜連川縄文の底透織文 (内) ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(19R7/6) (19R7/6)
89-17	67	縄文土器	ボルタル形浅鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	32.2	14.1	-	(外) 縦隔壁上部に入筋、喜連川縄文 (内) ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(19R6/6) (19R6/6)
89-18	66	縄文土器	屈曲形鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	17.2	-	-	(外) 縦隔壁外縫に喜連川縄文、網 底透織文 (内) ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 反対場色 (内) 新黄褐色	(19R5/2) (19R7/6)
89-19	66	縄文土器	屈曲形鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	32.1	-	-	(外) 縦隔壁外縫に喜連川縄文 (内) ミガキ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 梅灰色 (内) 梅灰色	(19R5/1) (19R7/6)
89-20	66	縄文土器	壺形鉢	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	-	-	-	(外) 喜連川縄文 (内) ナデ	1mm程度の石 異、長石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(SYR5/8) (SYR5/8)
89-21	66	縄文土器	底盤	縄帯文成立期 ～林原式	DT6	1層	-	-	7.0	(外) 喜連川縄文 (内) ナデ	2mm程度の石 異、長石を含む	(外) 橙色 (内) 橙色	(7. SYR6/6) (7. SYR6/6)

探査番号	四段番号	種別	種類	時期・式様	グリッド選択	層位	幅員 (cm)	高さ (cm)	文様・調査	地土	色調	備考	
90-22	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 塗褐色 (内) 黄褐色	(7.5)R7/(6) (10)R8/(6)	
90-23	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 橙褐色	(10)R2/(4) (7.5)R6/(6)	
90-24	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 塗褐色 (内) 明褐色	(10)R4/(4) (10)R6/(6)	
90-25	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	27.0	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 橙褐色	(10)R4/(4) (10)R6/(6)	
90-26	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	36.4	—	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 橙褐色	(10)R4/(4) (10)R6/(6)	
90-27	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 塗褐色 (内) 明褐色	(10)R4/(4) (10)R6/(6)	
90-28	67	縄文土器	踏形形深鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	38.4	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-29	68	縄文土器	皿形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R6/(6) (10)R7/(6)	
90-30	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 橙褐色	(5)R6/(6) (7.5)R6/(6)	
90-31	68	縄文土器	皿形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-32	68	縄文土器	皿形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-33	68	縄文土器	皿形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R6/(6) (10)R6/(6)	
90-34	67	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	26.4	10.5	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 塗褐色 (内) 橙褐色	(7.5)R6/(6) (10)R6/(6)
90-35	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	34.0	6.2	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)
90-36	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-37	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	29.0	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-38	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R6/(6) (10)R6/(6)	
90-39	68	縄文土器	ボール形浅鉢	縄文文化成立期～終末式	DT 6	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 塗褐色 (内) 橙褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-40	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	9.8	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R6/(6) (10)R6/(6)	
90-41	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	8.8	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R6/(6) (10)R6/(6)	
90-42	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	7.0	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-43	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	7.5	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-44	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	7.6	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R6/(6) (10)R6/(6)	
90-45	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	11	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
90-46	68	縄文土器	底部	縄文文化中期～終末期	DT 6	1層	—	7.4	(外) ナデ (内) ナデ	4mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
93-1	69	縄文土器	皿形深鉢	崎ヶ島1式	粘土68	1層	—	—	(外) 口縁部外側に入文鏡、單節RL鏡文 (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
96-1	68	縄文土器	皿形深鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) 口縁部外側に入文鏡、1条の沈綴、單節RL鏡文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 明褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
96-2	68	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) ミガキ (内) 口縁部内面に單節RL鏡文	4mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
96-3	68	縄文土器	踏形形深鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	4mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
96-4	68	縄文土器	皿形深鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7.5)R7/(6) (7.5)R7/(6)	
96-5	68	縄文土器	ボール形浅鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にぶい黄褐色 (内) にぶい黄褐色	(10)R7/(6) (10)R7/(6)	
96-6	68	縄文土器	皿形深鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 黄褐色	(5)R4/(6) (5)R4/(6)	
96-7	69	縄文土器	皿形鉢	崎ヶ島1式	粘石透09	1層	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(5)R4/(6) (5)R4/(6)	
97-1	70	縄文土器	底部	墨木ノ・田式 古一半段階	DT 7	1層	—	—	(外) 説文文、説余文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄色 (内) 淡黄色	(2.5)T7/(4) (2.5)T7/(4)	
97-2	70	縄文土器	底部	墨木ノ・田式 古一半段階	DT 7	1層	—	—	(外) 説文文 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡黄色 (内) 淡黄色	(2.5)T6/(4) (2.5)T6/(4)	
97-3	70	縄文土器	皿形深鉢	縄文文化成立期	DT 7	1層	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈綴、單節RL鏡文 (内) ミガキ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10)R8/(6) (10)R8/(6)	
97-4	70	縄文土器	皿形深鉢	縄文文化成立期	DT 7	1層	—	—	(外) 口縁部上面に2条の沈綴 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 暗褐色	(10)R6/(6) (10)R7/(6)	
97-5	70	縄文土器	皿形深鉢	縄文文化成立期	DT 7	1層	—	—	(外) 口縁部上面に1条の沈綴 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 柔褐色 (内) 柔褐色	(5)R8/(6) (5)R8/(6)	
97-6	70	縄文土器	皿形深鉢	林原式	DT 7	1層	—	—	(外) 口縁部上面に底部の複数縫、1条の沈綴、開口 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 暗褐色	(5)R6/(6) (5)R6/(6)	
97-7	70	縄文土器	指揮形文深鉢	林原式	DT 7	1層	—	—	(外) 口縁部間に1条の沈綴 (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 暗褐色 (内) 暗褐色	(7.5)R6/(6) (7.5)R6/(6)	

探査番号	固盛番号	種別	基種	時期・型式	グリッド位置	層位	口径(cm)	標高(cm)	経度(cm)	文様・調査			粘土	色調	備考
										(P)	(M)	(N)			
97-8	70	縄文土器	縦擗形有文深鉢	林原式	DT7	1層	-	-	-	(P)	横筋に羽状模様	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR6/8)
97-9	70	縄文土器	縦擗形有文深鉢	林原式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部に斜面	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR7/8)
97-10	71	縄文土器	屈曲形深鉢	林原式	DT7	1層	23.0	-	-	(P)	口縁部外側に複数の折れ線、斜 面、直線模様、斜面等部斜鉢	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR7/8)
97-11	70	縄文土器	屈曲形深鉢	崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部外側に1条の波状線、斜 面、直線模様、斜面等部斜鉢	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	淡黄褐色	(10YR6/4)
97-12	70	縄文土器	屈曲形深鉢	平底式?	DT7	1層	-	-	-	(P)	無文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR5/8)
97-13	70	縄文土器	屈曲形深鉢	平底式?	DT7	1層	-	-	-	(P)	無文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR5/8)
97-14	70	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	無文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/4)
97-15	70	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	無文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
97-16	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	多の波状、单筋R、横文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR4/8)
97-17	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	波状	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR5/8)
97-18	71	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	縫合の波状文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	淡黄褐色	(10YR6/4)
97-19	70	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部上面に双頭突起、1条 の横筋	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR5/8)
97-20	70	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部外面に渦巻文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/4)
97-21	70	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部外面に1条の渦巻文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/4)
97-22	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	31.8	-	-	(P)	口縁部外面に沈縫、单筋R、横文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR5/8)
97-23	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	縫合の波状部に刮削	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR5/8)
97-24	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	縫合の波状部に刮削	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR7/8)
97-25	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	30.4	-	-	(P)	縫合の波状部に刮削	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(7, SYR6/8)
97-26	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	縫合の波状部を肥厚させ刮削	3mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
97-27	70	縄文土器	屈曲形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	縫合の波状部に刮削	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
98-28	71-72	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	46.4	-	-	(P)	ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR7/8)
98-29	72	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部内面に円文、单筋R、横文	3mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR6/8)
98-30	72	縄文土器	ボーラ形浅鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/8)
98-31	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部外面に单筋R、横文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR5/8)
98-32	72	縄文土器	菱形鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	口縁部外面に1条の波状、单 筋R、横文	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR2/2)
98-33	72	縄文土器	菱形鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	渦巻状の突起	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/8)
98-34	72	縄文土器	菱形鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR6/8)
98-35	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	36.2	-	-	(P)	ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
98-36	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	39.2	-	-	(P)	ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
98-37	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	17.8	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/8)
98-38	72	縄文土器	屈曲形深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	34.0	-	-	(P)	ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/4)
98-39	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR7/8)
98-40	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	29.2	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
98-41	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/8)
98-42	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	33.6	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR7/8)
98-43	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	26.8	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR6/8)
98-44	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	28.0	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/8)
98-45	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	ベタ	5mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(10YR6/8)
98-46	72	縄文土器	屈曲形無文深鉢	縫合式成立期 ~崎ヶ島1式	DT7	1層	-	-	-	(P)	ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(P)	褐色	(SYR7/8)

標因 番号	認定 番号	種名	基種	時期・型式	グリッ ド遺傳	隔離	口徑 (cm)	基高 (cm)	底径 (cm)	文 格・調 査	給土	色調	備考	
99-47	72	鷹文土器	очаровательный	縦彫形無文深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(1098/6)	
99-48	73	鷹文土器	очаровательный	очаровательный	DT7	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1097/6)	
99-49	73	鷹文土器	очаровательный	縦彫形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1098/3)	
99-50	73	鷹文土器	очаровательный	縦彫形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1097/4)	
99-51	73	鷹文土器	очаровательный	縦彫形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	15.5	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1098/6)	
99-52	73	鷹文土器	очаровательный	縦彫形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	14.2	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1095/6)	
99-53	74	鷹文土器	очаровательный	縦彫形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	14.4	9.3	4.8	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(1098/5)	
99-54	73	鷹文土器	очаровательный	ボール形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 反対褐色	(1098/2)	
99-55	73	鷹文土器	очаровательный	ボール形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1098/5)	
99-56	73	鷹文土器	очаровательный	ボール形深鉢 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1098/4)	
99-57	74	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	9.2	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 反対褐色	(2 SYR4/6)	
99-58	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	7.4	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1097/6)	
99-59	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	9.6	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1098/6)	
99-60	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	9.6	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1097/3)	
99-61	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	8.4	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(2 SYR4/6)	
99-62	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	8.9	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(1097/6)	
99-63	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	8.0	(外) ミガキ (内) ナデ	4mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1098/3)	
99-64	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	8.4	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 明黄褐色	(1097/6)	
99-65	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	9.7	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1097/6)	
99-66	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	9.2	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(1098/6)	
99-67	73	鷹文土器	底形	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	10.4	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(1098/6)	
99-68	33	土製品	土偶	縦彫形立柱 ~縦ヶ島式	DT7	1層	—	—	—	(外) 中央に正中軸、下腹部に刻痕	黄褐色	(7. SYR7/6)	5.2×8.8× 1.4cm	
102-1	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	(外) 口部斜面上に 1条の沈透縫 底面に 2条の沈透縫	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 暗褐色	(7. SYR6/5)		
102-2	76	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	(外) 口部斜面に沈透縫	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 前褐色 (内) 暗褐色	(1098/3)		
102-3	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	35.2	—	(外) ナデ (内) 山形文	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1098/8)		
102-4	76	鷹文土器	очаровательный	ボール形深鉢	DT8	1層	32.0	13.0	—	(外) 口部斜面上に複合断面文、全 周部斜面に横断面文、全 周部斜面に縦断面文	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 前褐色 (内) 暗褐色	(SYR6/8)	
102-5	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	17.2	5.3	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1097/6)	
102-6	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 黒褐色	(1098/6)	
102-7	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黄褐色	(1095/2)	
102-8	75	鷹文土器	ボール形深鉢	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(SYR6/8)	
102-9	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR7/8)	
102-10	76	鷹文土器	очаровательный	壺形鉢	DT8	1層	8.5	—	—	(外) 口部斜面に把手、底部に車輪孔、 湯巻き文	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) 暗褐色	(1098/4)	
102-11	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	23.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1098/4)	
102-12	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	37.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 前褐色 (内) 明黄褐色	(7. SYR7/8)	
102-13	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1097/6)	
103-14	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	41.4	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	4mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 暗褐色	(7. SYR7/8)	
103-15	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	9.3	4.1	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 黑褐色 (内) 黑褐色	(1093/1)	
103-16	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1098/6)	
103-17	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 灰、長石を含む	(外) にぶい 黄褐色 (内) にぶい 黄褐色	(1098/4)	
103-18	75	鷹文土器	очаровательный	横ヶ島式	DT8	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ナデ	1mm程度の石 灰、長石を含む	(外) 反対褐色 (内) 黄褐色	(1098/2)	

排 序 番 号	図版 番 号	種 別	器 種	時期・式	グリッ ド遺構	層位	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	文 格・調 整	附 土	色 調	備 考
103-19	75	縄文土器	ポール形浅鉢	崎ヶ鼻2式	DT8	1層	-	-	-	(外)ナデ (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(SYR8/8) (SYR8/8)
103-20	75	縄文土器	ポール形浅鉢	崎ヶ鼻2式	DT8	1層	-	-	-	(外)ナデ (内)ナデ	2m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(SYR8/8) (SYR8/8)
103-21	75	縄文土器	ポール形浅鉢	崎ヶ鼻2式	DT8	1層	-	-	-	(外)ナデ (内)ナデ	2m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(7,SYR8/4) (7,SYR8/6)
103-22	75	縄文土器	ポール形浅鉢	崎ヶ鼻2式	DT8	1層	-	-	-	(外)ナデ (内)ナデ	2m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(7,SYR8/6) (7,SYR8/8)
103-23	75	縄文土器	ポール形浅鉢	崎ヶ鼻2式	DT8	1層	-	-	8.0	(外)ミガキ (内)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
106-1	76	縄文土器	深鉢形無文深鉢	事代式～ 林原式	土器選 設置場2	1層	32.5	38.7	-	(外)ナデ (内)ナデ	3m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(7,SYR8/8) (7,SYR8/6)
106-2	77	縄文土器	深鉢	原田古段階	土器選 設置場3	1層	37.8	41.5	底尖	(外)ナデ (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)黄褐色 (内)黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
109-1	77	縄文土器	深鉢	原田古段階	土器選 設置場4	1層	42.0	40.0	底尖	(外)ナデ (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)黄褐色 (内)黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
110-1	77	縄文土器	深鉢	晚期中重?	配石遺 跡10	1層	15.0	12.3	-	(外)口縁部上面に剥目。朱度 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(2,SYR8/8) (SYR8/2)
111-1	77	縄文土器	深鉢	吉海式並行	SR03	1層	-	-	-	(外)口縁部前面に剥目。朱度 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)黄褐色 (内)黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
111-2	77	縄文土器	周形形浅鉢	後期前重	SR03	1層	-	-	-	(外)ナデ (内)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
111-3	77	共生土器	甕	V-2様式	SR03	1層	12.6	-	-	(外)口縁部外側にV字の剥離線 (内)カタリ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (内)褐色	(10YR7/4) (SYR8/6)
112-1	77	土師器	壺	古墳時代後期	S102	1層	-	-	6.1	(外)ハケメ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色	(10YR7/6)
116-1	78	縄文土器	深鉢	裏模式	不明	1層	-	-	-	(外)無地し縄文 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (内)にぶい黄褐色	(10YR8/4) (10YR8/3)
116-2	78	縄文土器	深鉢	西川津式	D14	1層	-	-	-	(外)腹面上に剥目 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)明赤褐色	(10YR8/4) (10YR8/6)
116-3	78	縄文土器	深鉢	北白川下唇 1b式	D13	1層	-	-	-	(外)コロキングによる逆C字形剥離 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)高褐色 (内)明赤褐色	(10YR3/2) (10YR3/4)
116-4	78	縄文土器	周形形深鉢	経研文成立期	A14	1層	-	-	-	(外)口縁部上面に1条の浅縁。剥目 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(2,SYR8/8) (2,SYR8/6)
116-5	78	縄文土器	周形形深鉢	経研文成立期	F11	1層	-	-	-	(外)直縁突起。口縁部上面に7条 の浅縁。基盤部横縫 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(7,SYR8/8) (7,SYR8/8)
116-6	78	縄文土器	周形形深鉢	崎ヶ鼻2式	F14	1層	-	-	-	(外)口縁部外側面に2条の浅縁。強 烈な基盤部横縫 (内)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)黄褐色 (内)黄褐色	(10YR8/6) (10YR8/6)
116-7	78	縄文土器	周形形深鉢	林原式	G14	1層	-	-	-	(外)口縁部外側面に剥離線。剥目 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)淡黃褐色 (内)淡黃褐色	(10YR8/4) (10YR8/4)
116-8	78	縄文土器	周形形深鉢	崎ヶ鼻2式	A13	1層	-	-	-	(外)口縁部上面に1条の浅縁 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (内)にぶい黄褐色	(10YR5/4) (10YR5/4)
116-9	78	縄文土器	周形形深鉢	崎ヶ鼻2式	D12	1層	-	-	-	(外)口縁部外側面に単筋乳頭 (内)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)にぶい黄褐色	(10YR8/4) (10YR5/4)
116-10	78	縄文土器	深鉢	木原式一 崎ヶ鼻式	B14	1層	-	-	-	(外)絞模文 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)にぶい黄褐色 (内)にぶい黄褐色	(10YR5/4) (10YR6/4)
116-11	78	縄文土器	周形形深鉢	木原式一 崎ヶ鼻式	A13	1層	-	-	-	(外)絞模文 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(SYR8/8) (SYR8/8)
116-12	78	縄文土器	周形形深鉢	林原式一 崎ヶ鼻式	D11	1層	-	-	-	(外)単筋乳頭 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(10YR8/6) (10YR7/6)
116-13	78	縄文土器	周形形深鉢	林原式一 崎ヶ鼻式	D11	1層	-	-	-	(外)單筋乳頭 (内)ナデ	2m程度の石 英、長石を含む	(外)高褐色 (内)高褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
116-14	78	縄文土器	周形形深鉢	林原式一 崎ヶ鼻式	A13	1層	-	-	-	(外)單筋乳頭 (内)ナデ	4m程度の石 英、長石を含む	(外)黄褐色 (内)黄褐色	(10YR7/8) (10YR7/8)
116-15	78	縄文土器	深鉢	稚山式 新規形	F14	1層	-	-	-	(外)口縁部外側面に2条の浅縁。剥 目。内縁部横縫 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)淡黃褐色 (内)淡黃褐色	(10YR8/4) (10YR8/4)
116-16	78	縄文土器	深鉢	宮尾式	B15	1層	-	-	-	(外)口縁部外側面に6条の剥離 目。剥目。絞模文 (内)口縁部内側に1条の浅縁	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(10YR8/6) (10YR4/2)
116-17	78	縄文土器	深鉢	前池式	B15	1層	-	-	-	(外)口縁部上面に剥目。剥目。内縁 部横縫 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)黄褐色 (内)黄褐色	(10YR8/6) (10YR4/2)
116-18	78	縄文土器	深鉢	晚期中重?	A14	1層	-	-	-	(外)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)明赤褐色	(7,SYR8/8) (10YR7/6)
116-19	78	縄文土器	深鉢	前池式	F13	1層	-	-	-	(外)口縁部上面に剥目。剥目。内縁 部横縫 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)明赤褐色	(7,SYR8/8) (10YR7/6)
116-20	78	縄文土器	深鉢	晚期中重?	G10	1層	-	-	-	(外)ナデ (内)口縁部内側に剥目	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(10YR8/6) (10YR7/6)
116-21	78	縄文土器	周形形深鉢	経研文成立期 一崎ヶ鼻式	E11	1層	-	-	-	(外)口縁部内側に剥目。剥目。内縁 部横縫 (内)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)明赤褐色	(10YR5/8) (10YR6/8)
116-22	78	縄文土器	有文洼口縫	崎ヶ鼻2式	A13	1層	-	-	-	(外)ナデ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(SYR8/6) (SYR8/6)
116-23	78	縄文土器	ポール形深鉢	林原式一 崎ヶ鼻式	A13	1層	-	-	-	(外)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(7,SYR8/6) (7,SYR8/6)
116-24	78	縄文土器	ポール形深鉢	林原式一 崎ヶ鼻式	A14	1層	-	-	-	(外)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(7,SYR8/6) (7,SYR8/6)
116-25	78	縄文土器	周形形深鉢	経研文成立期 一崎ヶ鼻式	A13	1層	-	-	-	(外)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)褐色 (内)褐色	(7,SYR8/6) (7,SYR8/6)
116-26	78	縄文土器	周形形深鉢	経研文成立期 一崎ヶ鼻式	A13	1層	-	-	-	(外)ミガキ	1m程度の石 英、長石を含む	(外)明赤褐色 (内)明赤褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)

標本 番号	固有 番号	種別	属種	時期・型式	グリッ P・遺構	層位	口径 (cm)	源高 (cm)	底高 (cm)	文様・調整	胎土	色調	備考
116-27	78	縄文土器	圓曲形浅鉢	縄文成立期 ～昭文・異式	A14	1層	—	—	—	(外) 縄部壓曲時に削留 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 鑿削褐色 (内) 朝雲褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
116-28	78	縄文土器	圓曲形浅鉢	縄文成立期 ～昭文・異式	B12	1層	—	—	—	(外) 縄部壓曲時に削留 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR8/8) (7. SYR8/8)
116-29	78	縄文土器	圓曲形浅鉢	縄文成立期 ～昭文・異式	A14	1層	—	—	—	(外) 縄部壓曲時に削留 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR8/8) (7. SYR8/8)
116-30	78	縄文土器	圓曲形浅鉢	縄文成立期 ～昭文・異式	A13	1層	—	—	—	(外) 縄部壓曲時に削留 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR8/8) (SYR8/8)
116-31	78	縄文土器	浅鉢		B15	1層	—	—	—	(外) 口縁部外側に1条の浅縫 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
116-32	78	縄文土器	盃形鉢	渡辺山式 新段階	B15	1層	—	—	—	(外) 剥離時に削留、剥離成 ミガキ、口縁部に浅縫、削留 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR3/1) (10YR3/1)
116-33	78	縄文土器	深鉢		B15	1層	—	—	—	(外) 剥離時に削留、剥離成 ミガキ、口縁部に浅縫、削留 ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
117-34	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		トレン チ5	1層	20.0	26.0	—	(外) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 反褐色	(7. SYR7/8) (7. SYR7/8)
117-35	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		C13	1層	30.0	—	—	(外) ナデ	4mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR7/8) (7. SYR7/8)
117-36	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 棕色	(SYR5/8) (7. SYR7/8)
117-37	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 黄褐色	(7. SYR6/6) (10YR6/6)
117-38	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	40.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡褐色 (内) 棕色	(SYR7/6) (SYR6/8)
117-39	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	29.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 棕色	(SYR7/6) (10YR7/6)
117-40	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		B12	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 反褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/2) (10YR6/2)
117-41	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	5mm程度の石 英、長石を含む	(外) にこい黄褐色 (内) にこい黄褐色	(SYR6/4) (10YR7/2)
117-42	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
117-43	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) にこい黄褐色	(SYR6/6) (10YR7/3)
118-44	79	縄文土器	砲弾形無文深鉢		F13	1層	38.0	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
118-45	80	縄文土器	ボーラ形浅鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR6/8) (7. SYR6/8)
118-46	80	縄文土器	圓曲形鉢		E12	1層	15.4	10.7	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にこい黄褐色 (内) にこい黄褐色	(10YR6/4) (10YR6/4)
118-47	80	縄文土器	圓曲形浅鉢		B12	1層	38.0	7.2	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
118-48	80	縄文土器	圓曲形深鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR7/6) (7. SYR6/8)
118-49	80	縄文土器	圓曲形深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(10YR4/40) (10YR4/40)
118-50	80	縄文土器	圓曲形深鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	3mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
118-51	80	縄文土器	圓曲形深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) にこい黄褐色 (内) にこい黄褐色	(10YR7/4) (10YR7/4)
118-52	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		A14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(SYR6/8) (SYR6/8)
118-53	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		A13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 淡褐色	(SYR6/6) (10YR7/4)
118-54	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		B14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 淡褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
118-55	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		B12	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR7/8) (7. SYR7/8)
118-56	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		G14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(7. SYR7/8) (7. SYR7/8)
118-57	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		B14	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(10YR6/4) (10YR6/4)
118-58	80	縄文土器	ボーラ形深鉢		B15	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	2mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
118-59	80	縄文土器	圓曲形鉢		B15	1層	14.0	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(2. SYR4/8) (2. SYR4/8)
118-60	80	縄文土器	注口土器		E11	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR6/8) (7. SYR6/8)
118-61	80	縄文土器	匙形		A12	1層	—	8.4	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(10YR7/6) (10YR7/6)
118-62	80	土製品	不明土製品		F11	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
118-63	80	土製品	有孔土製円盤		B13	1層	—	—	—	(外) ミガキ (内) ミガキ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
118-64	80	土製品	有孔土製円盤		B15	1層	—	—	—	(外) ナデ (内) ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 棕色 (内) 棕色	(7. SYR6/8) (7. SYR6/8)
119-65	80	弦文土器	壺		G13	1層	—	—	—	(外) ノロ部外側に削突 ナデ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR6/2) (10YR6/2)
119-66	80	弦文土器	壺	中層	A14	1層	—	—	—	(外) 刻文。タテハケ (内) ヨコナカ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)
119-67	80	弦文土器	壺	中層	B14	1層	17.8	—	—	(外) ヨコナカ (内) ヨコナカ	1mm程度の石 英、長石を含む	(外) 黄褐色 (内) 黄褐色	(10YR7/6) (10YR7/6)

標本番号	固有番号	種別	群種	時期・型式	グリット-遺構	層位	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	文様・調査	出土	色調	備考
119-68	80	弥生土器	盤	V-2様式	B15	1層	17.0	-	-	(外) 口縁部外側に6条の縦凹線、 ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1)YR7/6 (1)YR7/6
119-69	80	弥生土器	盤	V-2様式	B15	1層	17.0	-	-	(外) 口縁部外側に4条の縦凹線、 顯著な削痕、 ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1)YR7/6 (1)YR7/6
119-70	80	弥生土器	盤	V-4様式	C15	1層	12.0	-	-	(外) ヨコナギ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 貴褐色 (内) 貴褐色	(1)YR8/8 (1)YR8/8
119-71	80	土師器	盤	古式土師器	B15	1層	17.0	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 貴褐色 (内) 貴褐色	(1)YR8/6 (1)YR8/6
119-72	80	土師器	盤	古式土師器	A14	1層	25.0	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 貴褐色 (内) 緑色	(7) SYR6/8 (7) SYR6/8
119-73	80	土師器	盤	古式土師器	B14	1層	20.4	-	-	(外) 口縁ヨコナヂ、肩部ヨコハケ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2) SYR5/8 (2) SYR5/8
119-74	80	土師器	盤	古式土師器	B14	1層	20.4	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明赤褐色 (内) 明赤褐色	(2) SYR5/8 (2) SYR5/8
119-75	80	土師器	鼓形腰帯	古式土師器	A13	1層	15.7	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1)YR7/6 (1)YR7/6
119-76	80	土師器	鼓形腰帯	古式土師器	A14	1層	13.5	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1)YR7/6 (1)YR7/6
119-77	80	土師器	高环	古墳時代後期 一輪式	A14	1層	-	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 緑 (内) 緑	(SYR7/8) (SYR7/8)
119-78	81	土師器	高环	古式土師器	A14	1層	-	12.0	-	(外) タテハケ (内) ケズリ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1)YR7/6 (1)YR7/6
119-79	81	土師器	盤	古墳時代後期 一輪式	G12	1層	22.0	23.0	-	(外) タテハケ (内) ケズリ	3mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 貴褐色 (内) 明黄褐色	(7) SYR7/8 (7) SYR7/8
119-80	81	土師器	盤	古墳時代後期 一輪式	G12	1層	19.0	-	-	(外) タテハケ (内) ケズリ	3mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 貴褐色 (内) 貴褐色	(2) SYR5/8 (2) SYR5/8
119-81	81	土師器	盤	古墳時代後期 一輪式	G12	1層	-	-	-	(外) ヨコナヂ (内) ケズリ	2mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 明黄褐色	(1)YR7/6 (1)YR7/6
119-82	81	土師器	盤	古墳時代後期 一輪式	B13	1層	19.0	-	-	(外) ヨコナヂ、多方向のハケメ (内) ケズリ	3mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明褐色 (内) 明褐色	(7) SYR5/8 (7) SYR5/8
119-83	81	土師器	盤?	古墳時代後期 一輪式	トレン チ1	1層	18.5	15.5	高周	(外) ハケメ (内) ハケメ	2mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 緑 (内) 緑	(7) SYR6/8 (7) SYR6/8
119-84	81	土師器	盤	古墳時代後期 一輪式	A15	1層	30.2	-	-	(外) タテハケ (内) ナヂ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 明黄褐色 (内) 緑	(1)YR7/6 (7) SYR7/6
119-85	81	土師器	盤	古墳時代後期 一輪式	G12	1層	16.0	-	10.0	(外) タテハケ (内) ナヂ	2mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 緑 (内) 緑	(7) SYR6/8 (7) SYR6/8
119-86	82	須恵器	坪壠	大谷6期	G10	1層	13.0	3.7	-	(外) 宝達ツマミ、回転ヘラケズリ 凸輪ナヂ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 淡色 (内) 淡色	(7) SY5/1 (7) SY5/1
119-87	82	須恵器	坪壠	大谷6期	トレン チ1	1層	12.2	2.6	-	(外) 宝達矢絞、回転ヘラケズリ 凸輪ナヂ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 淡色 (内) 淡色	(7) SY5/1 (7) SY5/1
119-88	82	須恵器	盤	大谷6期?	G12	1層	-	6.6	-	(外) 回転ヘラケズリ、回転ナヂ 凸輪ナヂ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 淡色 (内) 淡色	(7) SY5/1 (7) SY5/1
119-89	82	須恵器	高环	大谷6期	F13	1層	16.2	9.5	5.2	(外) 回転ナヂ 凸輪ナヂ	1mm程度の石 英、赤石を含む	(外) 淡色 (内) 淡色	(7) SY5/1 (7) SY5/1

第4表 林原遺跡出土石器観察表

種別 番号	因版 番号	管理 番号	グリッド 位置	層位	器種	計測値 (cm · g)			石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量	
	717		焼土-01	Ia層	石鏡	23.0	19.7	9.1	5500.0	花崗岩 片面に磨痕
13-1	35		DTI-1	Ia層	石鏡	(1.8)	1.9	0.4	0.7	黒曜石 凹基式。側縁にかえし。先端部欠損
13-2	35		DTI-1	Ia層	石鏡	1.6	1.3	0.3	0.2	サスカイト 凹基式
13-3	35		DTI-1	Ia層	石鏡	1.3	1.1	0.2	0.2	サスカイト 平基式
13-4	35		DTI-1	Ia層	石鏡	2.2	(0.7)	0.3	0.5	サスカイト 凹基式。基部欠損
13-5	35		DTI-1	Ia層	石鏡	2.9	1.0	0.5	2.1	黒曜石 3面に急斜度押圧剥離によって難部を作出
13-6	35		DTI-1	Ia層	石鏡	2.4	1.2	0.3	1.0	サスカイト 折断面より急斜度押圧剥離
13-7	35		DTI-1	Ia層	楔形石器	2.8	2.3	2.0	6.2	黒曜石 上端の平坦面より加筆。下端につぶれ。両側剥離面、実測因石面右側縁に二次加工
13-8	35		DTI-1	Ia層	楔形石器	2.4	2.0	1.0	5.7	サスカイト 上端の平坦面より加筆。下端につぶれ
13-9	35		DTI-1	Ia層	U F	2.1	2.6	0.6	3.3	水晶 両側縁を折断調整。刃部に難筆な使用痕
13-10	35		DTI-1	Ia層	ノッチ	3.0	1.8	0.7	3.3	黒曜石 左側縁に急斜度押圧剥離で抉りを作出。右側縁には緩斜度押圧で刃部調整
13-11	35		DTI-1	Ia層	サイドスクレイパー	10.7	14.4	3.6	551.8	凝灰岩 大型の剥片を素材とし、端部に押圧剥離で刃部調整
13-12	35		DTI-1	Ia層	磨製石斧	7.9	4.7	1.4	82.3	堆積性片岩 刃部を丁寧に研磨。敲打痕が残る
13-13	35		DTI-1	Ia層	打製石斧	10.0	4.7	1.8	99.2	サスカイト 刃部に磨耗痕。側縁に敲打痕
13-14	35		DTI-1	Ia層	打製石斧	13.9	6.4	1.3	143.3	泥灰岩 剥片を素材として折断調整後、側縁を直筆打撃
13-15	35		DTI-1	Ia層	打製石斧	14.0	8.2	2.2	353.4	泥灰岩 扁平な縁を素材として側縁を直筆打撃
13-16	35		DTI-1	Ia層	石錐	5.8	4.4	1.7	69.5	泥灰岩 打欠石錐
13-17	35		DTI-1	Ia層	石錐	7.6	3.4	3.5	79.3	武鉄岩 打欠石錐
13-18	35		DTI-1	Ia層	磨石・叩石錐	12.0	9.5	4.5	715.2	花崗岩 画面に磨痕
14	DTI-1	Ia層		石鏡	2.1	1.2	0.4	0.9	サスカイト 平基式	
13	DTI-1	Ia層		石鏡	1.6	1.2	0.3	0.5	サスカイト 平基式	
17	DTI-1	Ia層		石鏡	1.5	1.3	0.3	0.3	サスカイト 凹基式	
12	DTI-1	Ia層		石鏡	(1.3)	1.2	0.2	0.3	サスカイト 平基式。先端部欠損	
20	DTI-1	Ia層		石鏡	(1.8)	1.5	0.4	0.8	サスカイト 平基式。先端部欠損	
15	DTI-1	Ia層		石鏡	2.7	(1.1)	0.4	0.6	サスカイト 凹基式。基部の一部を欠損	
5	DTI-1	Ia層		石錐	3.2	1.7	0.8	3.9	黒曜石 折断調整後、緩斜度押圧剥離で難部を作出	
2	DTI-1	Ia層		石鏡	2.1	2.1	0.5	2.6	サスカイト 楔形石器の削片を素材とし、緩斜度押圧剥離で調整	
11	DTI-1	Ia層		楔形石器	2.2	1.9	0.9	3.1	黒曜石 上下両端につぶれ	
10	DTI-1	Ia層		楔形石器	2.8	1.3	0.7	3.5	安山岩 上下両端につぶれ	
1	DTI-1	Ia層	サイドスクレイパー		2.8	4.7	1.1	11.9	安山岩 押圧剥離? によって刃部調整	
4	DTI-1	Ia層	ノッチ		2.7	2.2	0.5	3.0	安山岩 急斜度な押圧剥離で抉りを作出	
2	DTI-1	Ia層	R F		1.4	2.0	0.4	1.0	黒曜石 石錐の未製品?	
3	DTI-1	Ia層	U F		2.1	1.6	0.3	0.8	黒曜石 剥片端部に微細剥離痕	
239	DTI-1	Ia層	打製石斧		(6.5)	5.0	1.3	39.7	泥灰岩 基部のみ残存。折断整形が行なわれている	
238	DTI-1	Ia層	打製石斧		8.0	6.4	1.8	139.7	泥灰岩 扁平な円錐形を分割して素材としている。側縁は直筆打撃で、刃部は平行全面を研磨している	
236	DTI-1	Ia層	磨製石斧		(7.1)	3.7	2.6	102.5	堆積性片岩 刃部欠損。ほぼ全面を研磨している	
237	DTI-1	Ia層	磨製石斧		(6.4)	4.6	1.8	87.9	安山岩 基部と刃部を欠損。側縁に敲打痕が残る	
235	DTI-1	Ia層	磨石・叩石錐		12.6	(7.8)	2.9	485.2	花崗岩 半分欠損。片面に磨痕	
20-1	37	CII	Ia層	石鏡	1.8	1.6	0.5	1.1	黒曜石 平基式	
20-2	37	EII	Ia層	石鏡	2.0	1.8	0.2	1.1	サスカイト 平基式。素材面を多く残す	
20-3	37	EII	Ia層	楔形石器	2.0	1.3	0.8	2.1	黒曜石 平坦剥離面より加筆。下端部はつぶれ	
20-4	37	EII	Ia層	抉入石器	3.8	2.0	0.4	3.3	サスカイト 平基式。側面面を多く残す	
20-5	38	FII	Ia層	磨製石斧	14.6	5.7	2.2	248.1	玄武岩 扁平な縁をそのまま使用。側縁に敲打痕	
20-6	38	FII	Ia層	磨製石斧	(7.2)	4.3	2.6	137.7	玄武岩 基部欠損。全面を研磨	
20-7	38	17	Ia層	磨製石斧	(7.2)	5.5	2.5	166.1	泥質片岩 刃部欠損。全面を研磨	
20-8	38	F12	Ia層	石錐	8.1	5.3	2.6	180.6	閃綠岩 打欠石錐	
20-9	38	EII	Ia層	石錐	6.2	5.1	2.0	100.7	閃綠岩 打欠石錐	
20-10	38	E12	Ia層	石錐	6.6	3.4	1.7	56.6	玄武岩 切目石錐	
20-11	38	G7	Ia層	印石	11.1	7.4	3.8	345.5	凝灰岩 片面に3個1単位の凹み。側縁にも凹みが見られる	
48	E10	Ia層	石鏡		2.0	1.5	0.3	1.0	サスカイト 未製品?	
49	F9	Ia層	石鏡		1.7	1.4	0.3	0.5	サスカイト 平基式	
83	トレント5	Ia層	石鏡		2.0	1.4	0.4	1.2	サスカイト 平基式	
43	G10	Ia層	石鏡		1.4	1.1	0.2	0.7	サスカイト 平基式	
44	E11	Ia層	石鏡		2.7	1.7	0.4	1.0	サスカイト 凹基式	

機器番号	回数番号	整理番号	グリップ・連・機	部位	器種	計測値(cm・g)			石材	備考	
						長さ	幅	厚さ	重量		
47	E11	1a層	石鎚	1.8	0.9	0.3	0.4	サスカイト	回基式		
8	F10	1a層	楔形石器	2.9	2.0	0.5	3.1	サスカイト	上下両側縁につぶれ		
29	F11	1a層	楔形石器	1.6	3.4	0.4	2.4	サスカイト	上下両側縁につぶれ		
30	F11	1a層	楔形石器	1.9	1.5	0.4	1.2	サスカイト	上下両側縁につぶれ		
8	C11	1a層	RF	2.3	1.8	0.5	2.4	サスカイト	楔形石器の断片の可能性		
9	E11	1a層	RF	1.8	1.6	0.5	1.5	サスカイト	楔形石器の断片の可能性		
7	E11	1a層	RF	1.1	1.8	0.3	0.6	サスカイト	石鎚の未製品?		
9	F11	1a層	UF	1.8	1.5	0.3	0.5	黒曜石	剥片の外側縁に微細剝離痕		
8	F9	1a層	UF	5.2	2.6	0.6	14.6	玉髓 メノウ	板長剝片の外側縁に微細剝離痕		
7	F12	1a層	石核	2.2	2.3	1.1	7.8	黒曜石	頻繁に打面を転移しながら小型板長剝片を剥離。同様技術が使われた可能性。種類推測はサイコロ状		
9	D10	1a層	石核	2.2	1.1	0.7	2.1	黒曜石	剥離面に凹凸や打点を留しながら小型板長剝片を剥離。残核形状は柱状。同様技術の可能性		
10	H8	1a層	石核	(3.0)	4.0	0.8	14.1	サスカイト	大半が欠損。挿入石器の可能性		
424	G10	1a層	石核素材	2.9	3.1	1.7	32.3	サスカイト	分断痕		
47	E10	1a層	打削石斧	(6.1)	5.9	1.8	99.7	流紋岩	基部を欠損。剥片を素材とし、垂直打撃で整形。刃部に磨耗痕		
48	H7	1a層	打削石斧	(7.4)	6.7	0.7	72.0	流紋岩	基部を欠損。剥片を素材とし、垂直打撃で整形		
44	G11	1a層	磨石・叩石頭	10.0	7.9	2.4	351.8	閃緑岩	片面に磨痕		
45	E10	1a層	磨石・叩石頭	13.4	11.7	4.8	1099.1	花崗岩	片面に磨痕?		
46	不明	1a層	凹石	9.6	8.2	3.9	506.6	閃緑岩	片面に磨痕?		
43	F10	1a層	石皿	24.8	18.7	7.0	5000.0	花崗岩	両面に傷痕		
719	F10	1a層	砥石	6.3	3.8	2.3	66.3	頁岩	全面に磨痕		
35-1	48	DT1-2	1b層	石鎚	1.5	1.4	0.4	0.7	サスカイト	回基式、先端部リダクション	
35-2	48	DT1-2	1b層	石鎚	2.0	1.4	0.6	1.3	黒曜石	未製品? 断面が見られる	
35-3	48	DT1-2	1b層	石鎚	2.7	(1.5)	0.4	0.9	黒曜石	回基式の握持跡線。基部欠損	
35-4	48	DT1-2	1b層	石鎚	2.5	(1.0)	0.3	0.6	サスカイト	回基式の握持跡線。基部欠損	
35-5	48	DT1-2	1b層	石鎚	1.9	(1.0)	0.2	0.3	サスカイト	回基式の握持跡線。基部欠損	
35-6	48	DT1-2	1b層	石鎚	3.3	2.0	0.4	1.9	サスカイト	細かな握持跡線。基部を折断	
35-7	48	DT1-2	1b層	楔形石器	1.8	2.0	0.4	1.3	黒曜石	上下両端につぶれ	
35-8	48	DT1-2	1b層	楔形石器	2.3	2.1	0.8	3.7	黒曜石	上下両端につぶれ	
35-9	48	DT1-2	1b層	楔形石器	2.9	2.1	1.2	5.7	サスカイト	上端の平面部より加算。下端部はつぶれ	
35-10	48	DT1-2	1b層	楔形石器	2.1	4.0	0.4	5.3	サスカイト	上下両端につぶれ	
35-11	48	DT1-2	1b層	块入石器	2.1	(2.7)	0.8	8.3	サスカイト	半分欠損。刃部を含め全面が磨耗	
35-12	48	DT1-2	1b層	ノッチ	1.8	1.3	0.3	0.5	黒曜石	右側縁に急斜度の押圧剝離があり作出。縫部には側面剝離痕	
35-13	48	DT1-2	1b層	UF	1.9	1.7	0.5	1.2	黒曜石	両側縁に微細剝離痕。打面部は折断	
35-14	48	DT1-2	1b層	鉤針型石器	3.6	3.8	0.6	4.8	サスカイト	急斜度の押圧剝離で誤認。基部は双刃に整形	
35-15	49	DT1-2	1b層	磨削石斧	(7.1)	5.0	2.6	159.4	堆積性片岩	基部欠損。全面研磨	
35-16	49	DT1-2	1b層	磨削石斧	(11.8)	4.4	3.4	264.3	堆積性片岩	刃部欠損。研磨は不明確。敲打痕が残る	
35-17	49	DT1-2	1b層	石鎚	6.2	3.6	1.9	69.5	水晶	打丸石鎚	
35-18	49	DT1-2	1b層	石鎚	6.3	5.0	1.3	72.44	閃緑岩	打丸石鎚	
35-19	49	DT1-2	1b層	磨石・叩石頭	13.6	11.4	7.8	1805.2	閃緑岩	片面に磨痕	
35-20	49	DT1-2	1b層	石皿	30.2	23.8	7.7	8.3	凝灰岩	側縁を鋸歯状調整。片面に凹み	
3	DT1-2	1b層	石核	1.5	1.4	0.5	14.6	黒曜石	打面を繰り返し小型剥片を剥離。残核形状はサイコロ状		
26	DT1-2	1b層	石鎚	(1.4)	(0.6)	0.3	0.2	黒曜石	回基式、基部のみ		
34	DT1-2	1b層	石核	1.7	1.3	0.3	0.5	黒曜石	平底式。剥片の面辺のみを急斜度押圧剝離で整形		
22	DT1-2	1b層	石鎚	2.3	1.6	0.8	1.6	黒曜石	未製品。側縁を折断		
30	DT1-2	1b層	石鎚	(1.9)	(1.0)	0.4	0.5	サスカイト	回基式、先端部、基部欠損		
23	DT1-2	1b層	石鎚	(1.7)	(1.0)	0.3	0.4	サスカイト	回基式。先端部、基部欠損		
27	DT1-2	1b層	石鎚	2.0	1.7	0.3	0.6	サスカイト	平底式		
21	DT1-2	1b層	石鎚	1.7	1.7	0.3	0.8	サスカイト	未製品。側縁を折断		
31	DT1-2	1b層	石鎚	2.2	1.5	0.3	0.9	サスカイト	未製品。楔形石器の剥片を素材としている		
24	DT1-2	1b層	石鎚	1.8	1.5	0.4	1.7	サスカイト	未製品。側縁を折断		
8	DT1-2	1b層	石鎚	1.3	0.8	0.2	2.2	黒曜石	麻痺症の押圧剝離で調整。縫部折断		
7	DT1-2	1b層	石鎚	(1.5)	1	0.2	0.5	黒曜石	縫部欠損。全面を織斜度押圧剝離で全面を加工		
18	DT1-2	1b層	楔形石器	1.7	1.7	0.6	2.0	黒曜石	上端の平坦面より加算。下端部につぶれ。左側縁に押圧剝離による調整		
12	DT1-2	1b層	楔形石器	1.8	1.1	0.6	1.5	サスカイト	上下両端につぶれ		
13	DT1-2	1b層	楔形石器	1.4	1.3	0.5	0.8	サスカイト	上下両端につぶれ		

排 因 番 号	因版 番号	整理 番号	グリッド・ 横道	層位	岩 種	計測値(cm・g)			石 材	備 考	
						長さ	幅	厚さ			
14	DTI-2	1b層	楔形石器	1.4	2.2	0.4	1.3	サスカイト	上下両端につぶれ		
17	DTI-2	1b層	楔形石器	1.7	1.7	0.5	1.6	サスカイト	上下両端につぶれ		
16	DTI-2	1b層	楔形石器	1.6	2.2	0.3	1.7	サスカイト	上下両端につぶれ		
20	DTI-2	1b層	楔形石器	2.6	2.7	1.0	7.1	サスカイト	上下両端につぶれ		
15	DTI-2	1b層	楔形石器	3.1	2.3	0.8	6.0	サスカイト	上下両端につぶれ		
4	DTI-2	1b層	サイドスクレイパー	2.6	1.4	0.9	3.3	水熱	プランテイング状の急斜度調査		
10	DTI-2	1b層	R F	2.5	1.6	0.2	1.2	サスカイト	側縁に押圧刺離。刃器の可能性		
3	DTI-2	1b層	R F	1.0	1.7	0.2	0.5	サスカイト	両種技法?によって楔形。楔形石器の可能性		
4	DTI-2	1b層	R F	3.4	3.7	0.3	10.3	サスカイト	片刃の3辺を切削し、残りの1辺に押圧刺離。刃部の可能性		
5	DTI-2	1b層	R F	1.4	3.4	0.6	2.7	安山岩	剥片の端部にわずかに押圧刺離が見られる		
5	DTI-2	1b層	U F	3.3	1.7	0.8	6.1	黒曜石	楔形石器の剥片端部に幾級刺離痕		
10	DTI-2	1b層	U F	1.8	1.3	0.5	0.9	黒曜石	楔形石器の両端左側縁に幾級刺離痕		
345	DTI-2	1b層	磨石・叩石器	10.8	8.1	7.1	847.8	流紋岩	全面に瘤状		
346	DTI-2	1b層	石皿	26.9	14.5	4.0	1462.7	凝灰岩	側縁を交互剥離で調整。片面に瘤状		
347	DTI-2	1b層	石皿	27.2	25.6	6.7	8500.0	凝灰岩	片面に瘤状		
38-1	49	石錐混まり1	1b層	石錐	6.2	5.3	1.7	91.7	流紋岩	打欠石錐	
38-2	49	石錐混まり1	1b層	石錐	7.7	4.5	2.1	116.5	閃緑岩	打欠石錐	
38-3	49	石錐混まり1	1b層	石錐	3.6	3.4	1.6	36.3	閃緑岩	打欠石錐	
40-1	51	DT 2	1b層	石錐	9.2	6.1	1.9	180.3	閃緑岩	打欠石錐	
40-2	51	DT 2	1b層	石錐	8.2	6.7	2.2	180.2	閃緑岩	打欠石錐	
40-3	51	DT 2	1b層	石錐	6.8	4.3	1.6	80.6	閃緑岩	打欠石錐	
42-1	51	C 11	1b層	石錐	8.5	4.5	1.7	102.3	真岩	打欠石錐	
42-2	51	C 11	1b層	石錐	6.6	5.9	2.1	106.3	流紋岩	打欠石錐	
42-3	51	E 10	1b層	石錐	5.2	4.4	1.2	44.7	流紋岩	打欠石錐	
12	C 11	1b層	石錐	3.9	1.2	0.8	3.5	黒曜石	急斜度押圧刺離で鈍部を作出		
32	C 11	1b層	楔形石器	3.7	1.9	1.1	6.1	黒曜石	上下両端につぶれ		
14	C 11	1b層	サイドスクレイパー	1.9	2.5	0.5	3.2	黒曜石	左側縁に緩斜度な押圧刺離で刃部を調整		
715	SK13	1c層	磨石・叩石器	14.2	9.0	6.6	1031.7	閃特岩	片面に瘤状?		
716	SK13	1c層	磨石・叩石器	13.4	10.7	7.3	1425.0	凝灰岩	片面に瘤状。被熱の痕跡		
49	E 11	1b層	石皿	18.1	12.5	6.5	2500.0	花崗岩	片面に凹み		
53-1	52	DTI-3	1c層	石錐	1.7	(1.3)	0.3	0.4	黒曜石	凹基式。基本欠損	
53-2	52	DTI-3	1c層	抉入石器	2.2	4.7	0.4	6.5	サスカイト	両側縁に押圧刺離によって抉りを作出。刃部は繊かな押圧刺離で調整	
53-3	52	DTI-3	1c層	抉入石器	5.5	7.4	1.0	42.0	サスカイト	両側縁に繊かな押圧刺離で調整	
55-1	53	D 10	1c層	磨製石斧	(8.6)	4.5	2.4	138.2	玄武岩	刃部欠損。全面研磨	
55-2	53	C 12	1c層	石錐	6.2	4.8	1.4	68.5	凝灰岩	打欠石錐	
55-3	53	G 11	1c層	石錐	5.6	4.2	1.6	55.8	凝灰岩	打欠石錐	
55-4	53	E 10	1c層	石錐	4.6	4.2	1.6	52.6	凝灰岩	打欠石錐	
91	D 11	1c層	石皿	23.3	28.0	8.3	5500.0	花崗岩	片面に凹み		
15	P 245	1層	石錐	3.2	2.8	2.3	18.7	黒曜石	直接打擊で打面を転移しながら剝離。複数形態はサイコロ状		
57-14	54	SK14	1層	石錐	7.5	5.8	2.6	184.6	閃緑岩	打欠石錐	
57-15	54	SK14	1層	石錐	5.2	4.1	1.4	52.7	凝灰岩	打欠石錐	
57-16	54	SK14	1層	石錐	4.8	4.7	1.2	36.4	凝灰岩	打欠石錐	
60-1	55	S101	1層	石錐	1.8	1.2	0.3	0.6	サスカイト	凹基式	
60-2	55	S101	1層	石錐	1.9	1.2	0.4	0.7	黒曜石	凹基式	
60-3	55	S101	1層	石錐	0.9	1.2	0.3	0.4	サスカイト	急斜度押圧刺離で鈍部を作出	
60-4	55	S101	1層	抉入石錐	3.4	3.7	0.6	9.8	サスカイト	両側縁に押圧刺離によって抉りを作出。刃部は繊かな押圧刺離で調整。磨耗痕が見られる	
60-5	55	S101	1層	楔形石器	1.9	2.0	0.9	2.1	黒曜石	上下左右につぶれ。上端の平坦面より加算した後、打面転移して左側縁より加算	
60-6	55	S101	1層	石錐	9.1	5.6	2.7	199.8	閃特岩	打欠石錐	
60-7	55	S101	1層	石錐	5.0	4.8	1.3	46.5	流紋岩	打欠石錐	
60-8	55	S101	1層	石錐	5.8	4.6	1.8	69.9	流紋岩	打欠石錐	
60-9	55	S101	1層	石錐	9.0	7.4	2.2	218.1	流紋岩	打欠石錐	
75	S101	1層	石錐	2.3	1.4	0.4	1.0	サスカイト	平基式		
79	S101	1層	石錐	1.1	1.4	0.2	0.3	サスカイト	凹基式		
76	S101	1層	石錐	1.5	(0.6)	0.2	0.1	サスカイト	凹基式の難読縁。側縁文様		
22	S101	1層	R F	1.5	1.3	0.5	0.8	黒曜石	側縁に数枚の押圧刺離		

掲回 番号	国版 番号	監理 番号	グリッド 座標 横・縦	層位	器種	計測値(cm・g)			石材	備考
						長さ	幅	厚さ		
	18	S101	1層	UF		1.5	2.8	0.5	2.3	黒曜石 鉄錐に奥側剥離底?
	20	S101	1層	UF		1.7	2.6	1.0	2.5	黒曜石 剥片の右側縁に鉄錐剥離底
	19	S101	1層	UF		4.4	4.6	0.4	6.4	サスカイト 鉄錐に奥側剥離底
	672	S101	1層	磨製石斧	(5.7)	3.3	3.2	60.4	塩基性片岩 基部のみ残存。研磨	
	493	S101	1層	磨石・叩石類	12.1	9.7	5.7	97.6	閃綠岩 片面に磨痕	
61-17	55	S101-SK1	1層	鉄針型石器	1.5	2.4	0.6	1.2	黒曜石 折断後、急斜度の押圧剥離で整列。尖端部に横状剥離	
61-18	55	S101-SK1	1層	石錐	8.9	6.8	1.4	156.9	流紋岩 打欠石錐	
	62	S101-SK1	1層	複形石器	1.8	2.8	1.0	5.1	黒曜石 上下両端につぶれ	
	61	S101-SK1	1層	複形石器	2.6	1.4	0.7	2.6	水晶 上下両端につぶれ	
	10	S101-SK1	1層	抉入石器	4.3 (3.0)	0.6	15.1	サスカイト 平舟式。欠損部の折断面にリダクションと思われる押圧剥離		
	673	S101-SK2	1層	磨製石斧	(6.7)	4.1	2.9	117.3	塩基性片岩 基部のみ残存。研磨	
63-12	57	配石遺構04	1層	石錐	4.2	2.8	0.5	5.3	サスカイト 両側面と端部に急斜度押圧剥離で抉りを作出。両側縁の抉りには鏡面な研磨底。鋸部に摩滅	
63-13	57	配石遺構04	1層	石錐	7.5	4.8	1.9	105.2	凝灰岩 打欠石錐	
	710	焼土5	1層	磨石・叩石類	11.4	10.5	4.2	695.3	花崗岩 両面に磨痕。鉄錐の痕跡	
	84	SK15	1層	石錐	1.0	1.1	0.2	0.2	黒曜石 凹基式。欠損後リダクション	
65-2	57	SK16	1層	石錐	5.3	1.6	1.1	10.1	黒曜石 剥片の左側縁に急斜度押圧剥離を3面に施して立体的な鋸部を作出	
	678	SK16	1層	磨石・叩石類	12.1	11.8	6.0	1005.8	花崗岩 片面に磨痕	
68-1	57	SK18	1層	石核	5.5	7.6	2.6	123.7	黒曜石 直接打撃による交互剥離石核。残核形状はチョッピングツール状。2と接合	
68-2	57	SK18	1層	石核	9.3	7.8	3.0	175.6	黒曜石 直接打撃による衷心剥離石核。残核形状は錐状。1と接合	
	64	SK12	1層	複形石器	2.1	1.6	0.7	1.7	黒曜石 上下両端につぶれ	
69-1	58	配石遺構05	1層	鉄針型石器	2.0	2.7	0.6	2.0	黒曜石 折断後、急斜度の押圧剥離で整列。研磨底が見られる	
70-6	58	配石遺構06	1層	石錐	2.2	1.5	0.5	1.1	黒曜石 鉄錐と皮圧剥離と急斜度押圧剥離で鋸部を作出。基部を折断	
	19	配石遺構06	1層	石錐	2.2	1.4	0.5	1.4	玉髓・メノウ 急斜度押圧剥離によって鋸部を作出。基部折断	
75-1	60	DT3	1層	石錐	1.5	1.0	0.2	0.2	サスカイト 凹基式、基部欠損?	
75-2	60	DT3	1層	石錐	2.4	1.4	0.6	1.8	黒曜石 突基式? ブランディング調整	
75-3	60	DT3	1層	石錐	2.6	1.5	0.8	2.6	サスカイト 未製品	
75-4	60	DT3	1層	石錐	1.8	1.4	0.4	0.9	サスカイト 急斜度押圧剥離によって鋸部を作出	
75-5	60	DT3	1層	複形石器	2.7	1.6	0.8	3.0	黒曜石 上下両端につぶれ	
75-6	60	DT3	1層	複形石器	3.9	2.3	1.9	18.9	黒曜石 上端につぶれ、下端は欠損。?と接合	
75-7	60	DT3	1層	剥片	2.5	0.9	0.2	0.5	黒曜石 両極端部によって割離。錐状打撃面。6と接合	
75-8	60	DT3	1層	サイドスクレイパー	4.0	0.7	0.4	1.3	サスカイト 押圧剥離による交互剥離で刃部を調整。側縁折断	
75-9	60	DT3	1層	石錐	9.6	5.8	2.0	144.8	流紋岩 打欠石錐	
75-10	60	DT3	1層	石錐	5.7	4.5	1.6	58.5	流紋岩 打欠石錐	
75-11	60	DT3	1層	石錐	7.9	6.1	1.7	127.6	閃綠岩 打欠石錐	
1	DT3	1層	石錐	3.3	2.2	0.3	2.2	サスカイト 未製品		
5	DT3	1層	石錐	1.8	1.3	0.4	0.7	サスカイト 凹基式		
2	DT3	1層	複形石器	2.5	1.4	0.6	1.6	黒曜石 上下両端につぶれ		
40	DT3	1層	複形石器	2.4	1.6	1.2	4.0	黒曜石 上下両端につぶれ		
2	DT3	1層	サイドスクレイパー	3.1	2.4	0.4	4.2	サスカイト 3次刃折断。繊維な磨耗		
498	DT3	1層	不明石製品	6.5	4.2	1.6	22.3	真岩 両端に抉りを持つ。石錐の可能性		
80-1	61	DT4	1層	複形石器	2.8	1.8	0.6	3.4	サスカイト 上端の平坦面より加壓。下端は欠損	
80-2	61	DT4	1層	磨製石斧	(7.4)	4.4	2.1	135.8	塩基性片岩 基部欠損。全面研磨	
80-3	61	DT4	1層	石錐	8.0	5.7	2.4	139.9	凝灰岩 打欠石錐	
80-4	61	DT4	1層	石錐	7.3	5.9	2.0	125.3	流紋岩 打欠石錐	
1	DT4	1層	石核	2.2	1.7	0.8	2.1	黒曜石 直角打撃で剥離。残核形状はサイコロ状。複形石器の可能性		
6	DT4	1層	石錐	(1.0)	1.8	0.3	0.4	サスカイト 平基式。先端部欠損		
83-1	61	石錐満まり2	1層	石錐	8.3	6.3	1.2	108.7	凝灰岩 打欠石錐	
83-2	61	石錐満まり2	1層	石錐	6.4	3.5	1.2	40.7	流紋岩 打欠石錐	
87-1	64	DT5	1層	石錐	1.8	1.3	0.3	0.6	黒曜石 凹基式	
87-2	64	DT5	1層	石錐	3.9	0.9	0.8	2.5	黒曜石 複形石器の削片を素材として急斜度押圧剥離で調整	
87-3	64	DT5	1層	石錐	3.7	1.9	0.4	2.5	サスカイト 鉄錐に押圧剥離で鋸部を作出。基部折断	
87-4	64	DT5	1層	複形石器	1.7	1.5	0.8	2.2	黒曜石 上下両端につぶれ	
87-5	64	DT5	1層	複形石器	1.8	1.9	0.5	1.4	サスカイト 上下両端につぶれ	
87-6	64	DT5	1層	UF	2.7	1.5	0.7	3.4	黒曜石 長い剥片の右側縁に微細剥離底	
87-7	65	DT5	1層	サイドスクレイパー	7.8	9.4	2.3	207.9	安山岩 押圧剥離? によって刃部を調整	

探査番号	回数	整理番号	グリッド番号	層位	器種	計測値(cm・g)			石材	備考
						長さ	幅	厚さ		
87-6	65	DT5	1層	石核	9.9	11.0	3.4	487.0	凝灰岩	直接打撃による交又割離石核。残存形状はチョッピングトゥルル状
87-9	65	DT5	1層	磨耗石片	9.6	4.6	2.5	167.0	玄武岩	刃部の一部を欠損。全面研磨
87-10	65	DT5	1層	石錐	8.4	6.5	2.0	174.6	凝灰岩	打欠石錐
87-11	65	DT5	1層	石錐	6.8	5.9	1.6	102.6	真岩	打欠石錐
87-12	65	DT5	1層	石錐	10.3	4.4	1.8	127.5	流紋岩	打欠石錐
87-13	65	DT5	1層	磨石・叩石錐	7.0	3.5	2.6	88.7	閃緑岩	敲打痕が残る
87-14	65	DT5	1層	磨石・叩石錐	10.4	9.3	4.3	632.0	流紋岩	画面に磨痕
87-15	65	DT5	1層	磨石・叩石錐	9.8	8.8	4.7	646.9	閃緑岩	画面に磨痕
87-16	65	DT5	1層	石皿	23.0	27.8	7.2	670.0	凝灰岩	片面に磨痕
	2	DT5	1層	石核	2.8	4.2	0.6	7.5	サヌカイト	更捲打撃によって求め的に削離。残存形状は盤状
	9	DT5	1層	石錐	1.9	2.0	0.4	1.6	サヌカイト	未製品? 破かれた器の可能性
	7	DT5	1層	石錐	(1.2)	1.3	0.2	0.4	サヌカイト	平基式? 先端部欠損
	8	DT5	1層	石錐	2.0	(1.4)	0.3	1.3	サヌカイト	未製品。折曲面が残る
	5	DT5	1層	楔形石錐	2.5	1.3	0.4	1.5	黑曜石	上端の平坦面より加算。下端部つぶれ
	34	DT5	1層	楔形石器	1.8	1.8	1.0	2.5	黑曜石	つぶれが黒曜石ではない。石核の可能性
	2	DT5	1層	UF	1.1	0.7	0.2	0.1	黑曜石	小型剣先の右側縁に微細割離底
	558	DT5	1層	磨石・叩石錐	10.9	8.4	5.3	714.5	花崗岩	片面に磨痕
	559	DT5	1層	磨石・叩石錐	11.4	9.2	5.6	728.1	花崗岩	画面に磨痕。被熱の痕跡
	557	DT5	1層	磨石・叩石錐	9.0	6.1	2.3	260.4	流紋岩	側面に敲打痕?
	560	DT5	1層	石皿	24.4	16.0	5.3	4000.0	閃緑岩	半分欠損。片面に磨痕
	561	DT5	1層	石皿	13.1	11.1	4.2	997.4	閃緑岩	大半が欠損。画面に磨痕
91-1	69	DT6	1層	石核	1.6	2.7	1.1	5.6	黑曜石	打面転移しながら直接打撃によって削離。残存形状はサイコロ状
91-2	69	DT6	1層	石錐	1.6	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	平基式
91-3	69	DT6	1層	石錐	2.0	1.2	0.3	0.5	黑曜石	突起式?
91-4	69	DT6	1層	鉄型石器	2.0	2.8	0.9	3.8	黒曜石	折断後、急斜度な押圧剝離で調整
91-5	69	DT6	1層	楔形石器	1.9	1.3	0.4	1.0	黒曜石	上下両端につぶれ
91-6	69	DT6	1層	抉入石器	3.2	4.7	0.6	12.3	サヌカイト	両側縁に急斜度な押圧剝離で抉りを作出。刃部はゆるく湾曲しておりリダクションの可能性
91-7	69	DT6	1層	抉入石器	2.1	3.2	0.4	2.8	サヌカイト	両側縁に急斜度な押圧剝離で抉りを作出。刃部には使用によるものと思われる微細割離痕
91-8	69	DT6	1層	磨耗石片	(12.0)	4.9	2.9	263.6	玄武岩	万葉久絆。全面に敲打痕が残る
91-9	69	DT6	1層	磨耗石片	(11.0)	3.8	2.4	184.6	墨壘性片岩	刃部欠損。敲打痕が残る
91-10	69	DT6	1層	石錐	8.0	5.7	1.7	128.5	流紋岩	打欠石錐
	4	DT6	1層	石核	2.2	2.0	0.8	2.8	水晶	楔形石器の削片の可塑性。残存形状は柱状
	54	DT6	1層	石錐	(1.2)	(0.8)	0.2	0.2	黒曜石	先端部のみ
	36	DT6	1層	石錐	2.5	1.8	0.3	1.2	サヌカイト	平基式
	573	DT6	1層	打裂石片	11.3	7.5	3.7	427.1	安山岩	未製品。側縁を折断整形
	572	DT6	1層	石皿	24.3	18.6	7.9	4600.0	閃緑岩	側縁を剝離調整。片面に磨痕
94-1	69	石錐型石片	1層	石錐	6.1	4.1	1.7	74.0	凝灰岩	打欠石錐
94-2	69	石錐型石片	1層	石錐	6.5	4.0	2.2	97.7	凝灰岩	打欠石錐
94-3	69	石錐型石片	1層	石錐	6.2	3.9	1.4	57.7	流紋岩	打欠石錐
	82	焼土10	1層	石錐	(1.7)	1.8	0.5	1.3	黒曜石	平基式。先端部欠損
	63	SK21	1層	楔形石器	2.2	1.6	0.7	2.1	黒曜石	上端の平坦面より加算。下端につぶれ
96-6	69	配石遺構09	1層	石錐	2.5	1.3	0.3	1.2	サヌカイト	急斜度押圧剝離によって底部を作出。端部折断
100-1	74	DT7	1層	石錐	1.9	1.2	0.4	0.5	サヌカイト	平基式
100-2	74	DT7	1層	石錐	1.6	1.3	0.3	0.3	サヌカイト	凹基式
100-3	74	DT7	1層	石錐	2.2	1.3	0.3	0.6	黒曜石	凹基式
100-4	74	DT7	1層	石錐	1.9	1.0	0.3	0.6	黒曜石	傾斜度押圧剝離で形態を作出。端部折断
100-5	74	DT7	1層	石錐	2.9	1.1	0.4	1.2	サヌカイト	急斜度押圧剝離で種部を作出。側縁折断
100-6	74	DT7	1層	楔形石器	2.4	6.0	1.3	19.4	黒曜石	左右に埋着なつぶれ
100-7	74	DT7	1層	楔形石器	3.8	2.0	1.9	10.9	黒曜石	上下両端につぶれ
100-8	74	DT7	1層	楔形石器	3.0	1.9	0.8	4.4	黒曜石	上端の平坦面より加算。下端につぶれ。
100-9	74	DT7	1層	抉入石器	2.5	4.5	0.6	7.9	サヌカイト	端面に重要な直線打撃で抉りを作出。刃部は急斜度
100-10	74	DT7	1層	打裂石片	17.7	11.6	3.2	704.2	流紋岩	未製品。直接打撃による整形段階
100-11	74	DT7	1層	石錐	6.7	4.8	1.9	89.4	凝灰岩	打欠石錐
100-12	74	DT7	1層	石錐	6.2	3.5	1.3	48.0	流紋岩	打欠石錐
100-13	74	DT7	1層	石錐	9.2	5.9	2.5	221.9	流紋岩	打欠石錐

測定番号	回版番号	整理番号	グリッド・道	層位	基準	計測値(cm・g)				石 材	備 考
						長さ	幅	厚さ	重量		
100-14	74		DT7	1層	石鏡	6.5	6.2	2.4	149.4	流紋岩	打欠石鏡
100-15	74		DT7	1層	石鏡	12.2	16.8	3.5	1222.8	凝灰岩	周縁を敲打や剝離によって調整
	6		DT7	1層	石板	2.4	3.1	0.6	5.7	サスカイト	直接打撃による求心剝離石様。塊状形態は盤状
	16		DT7	1層	石板	13.1	8.4	4.7	612.2	花崗岩	大型剥片の倒産より交互剝離。残核形態はショッピングトール状
	57		DT7	1層	石鏡	1.0	(0.8)	0.3	0.2	黒曜石	基部欠損。凹基式
	39		DT7	1層	石鏡	1.8	1.4	0.2	0.5	サスカイト	平基式
	41		DT7	1層	石鏡	2.0	1.4	0.4	1.2	サスカイト	未製品
	42		DT7	1層	石鏡	(1.2)	1.3	0.2	0.4	サスカイト	平基式
	37		DT7	1層	石鏡	1.7	1.5	0.4	0.5	サスカイト	未製品。折断面が残る
	9		DT7	1層	石鏡	4.1	1.3	0.9	4.5	黒曜石	剥片の端部を急削り押圧剝離で調整し部を作出
	8		DT7	1層	石鏡	(1.8)	1.2	0.3	0.5	黒曜石	先端部欠損。緩斜度押圧剝離で調整
	10		DT7	1層	石鏡	(3.0)	2.4	0.3	2.3	サスカイト	先端部欠損。基部は折断
	27		DT7	1層	楔形石器	2.0	2.0	0.4	1.7	黒曜石	上端の平端面より加筆。下端はつぶれ
	48		DT7	1層	楔形石器	2.0	3.6	1.0	6.5	黒曜石	上下両端につぶれ。下端のつぶれは押圧剝離によって切られたおりスクリーパーへのリダクションの可能性
	25		DT7	1層	楔形石器	3.2	1.8	0.6	5.0	黒曜石	上下両端につぶれ。打面転移が見られる
	26		DT7	1層	楔形石器	1.4	2.0	1.0	2.6	黒曜石	上端の平端面より加筆。下端部はつぶれ
	8		DT7	1層	ノッチ	2.3	2.2	1.1	4.4	黒曜石	剥片の端部に快り。RFの可能性
	6		DT7	1層	RF	2.4	2.3	0.4	2.1	サスカイト	楔形石器の可能性
	5		DT7	1層	UF	3.8	2.0	0.7	4.6	黒曜石	不明
	7		DT7	1層	UF	2.1	3.5	1.1	6.1	黒曜石	剥片の端部に微細剝離痕
	6		DT7	1層	UF	1.4	1.8	0.6	1.3	黒曜石	剥片の右側縁に微細剝離痕
	655		DT7	1層	磨石・叩石頭	10.7	5.0	2.1	189.9	流紋岩	片面に瘤痕?
	656		DT7	1層	磨石・叩石頭	11.6	9.9	4.0	683.5	流紋岩	両面に瘤痕
	658		DT7	1層	磨石・叩石頭	10.7	9.6	5.3	790.2	閃長岩	両面に瘤痕
	653		DT7	1層	石皿	16.8	16.5	8.1	3000.0	凝灰岩	両面に瘤痕。側縁を交互剝離。石板転用?
	654		DT7	1層	石皿	9.3	6.8	4.2	460.7	凝灰岩	大半が欠損。両面に瘤痕
	718		DT7	1層	石皿	36.0	41.0	11.5	21640.0	凝灰岩	片面に瘤痕。側縁を交互剝離
100-24	76		DT8	1層	楔形石器	1.7	1.4	0.5	1.4	黒曜石	上下両端につぶれ
	58		DT8	1層	石鏡	1.9	1.6	0.5	1.0	黒曜石	未製品
	13		DT8	1層	石鏡	2.1	1.3	0.4	1.0	黒曜石	基部に傾斜度押圧剝離。小型サイドスクレイパーの可能性
	6		DT8	1層	サイドスクレイパー	3.3	1.9	0.7	4.2	サスカイト	傾斜度な押圧剝離の交互剝離によって刃部を調整
	14		DT8	1層	RF	2.3	1.4	0.5	1.4	黒曜石	楔形石器の削片用。左側縁に押圧剝離
	13		DT8	1層	RF	1.6	1.4	0.3	0.4	黒曜石	石鏡の未製品?
	17		DT8	1層	RF	3.3	1.8	0.5	2.5	黒曜石	楔形石器の削片の削線に散在の剝離
	15		DT8	1層	UF	1.9	2.1	0.5	1.5	黒曜石	楔形石器の削片の端部に微細剝離痕
106-1	76	SS1	1層	石鏡	1.4	1.2	0.2	0.3	サスカイト	凹基式	
106-2	76	SS3	1層	石鏡	1.1	0.9	0.2	0.2	サスカイト	凹基式	
106-3	76	SS3	1層	石鏡	2.2	1.0	0.5	0.6	黒曜石	先端部、基部欠損。凹基式	
106-4	76	SS2	1層	楔形石器	1.8	2.5	0.8	3.7	サスカイト	上下両端につぶれ	
106-5	76	SS2	1層	楔形石器	1.9	1.9	0.6	2.6	サスカイト	上端の平端面より加筆。下端はつぶれ	
106-6	76	SS3	1層	楔形石器	1.9	1.9	0.5	2.5	サスカイト	上下両端につぶれ	
	70	SS1	1層	石鏡	(1.0)	(0.6)	0.2	0.2	黒曜石	先端部、基部欠損。凹基式	
	50	SS1	1層	楔形石器	1.4	0.6	0.6	0.7	黒曜石	上下両端につぶれ	
	49	SS1	1層	楔形石器	1.9	1.4	0.5	1.6	サスカイト	上下両端につぶれ	
	51	SS2	1層	楔形石器	1.6	1.8	0.3	1.3	サスカイト	上端の平端面より加筆。下端はつぶれ	
	53	SS2	1層	楔形石器	2.0	1.2	1.0	2.7	サスカイト	上端のみつぶれ	
	57	SS3	1層	楔形石器	1.5	1.5	0.2	0.7	サスカイト	上下両端につぶれ	
	56	SS3	1層	楔形石器	2.4	2.2	0.6	3.0	サスカイト	上端につぶれ。下端欠損	
	13	SS1	1層	RF	1.8	1.6	0.3	0.7	黒曜石	サイドスクレイパーの可能性	
	19	SS1	1層	RF	1.4	1.3	0.2	0.4	サスカイト	石鏡の未製品?	
	20	SS1	1層	RF	2.6	3.5	0.6	6.3	サスカイト	求心剝離石様の可能性	
	21	SS2	1層	RF	1.0	2.6	0.2	0.7	サスカイト	剥片の打面部にわずかな剝離。UFの可能性	
120-1	89	F13	1層	石鏡	1.5	1.2	0.4	0.3	サスカイト	凹基式	
120-2	89	B13	1層	石鏡	1.4	1.2	0.2	0.3	サスカイト	平基式	
120-3	89	F10	1層	サイドスクレイパー	2.7	6.0	0.5	13.2	サスカイト	押圧剝離による両面削整で刃部調整	

標図 番号	図版 番号	整理 番号	グリッド 位置	層位	器種	計測値(cm・g)				石材	備考
						長さ	幅	厚さ	重量		
120-4	88	B15	1層	打製石斧	12.3	4.7	0.8	67.3	サスカイト	基部欠損。側縁は直接打撃で整形。	
120-5	88	B12	1層	打製石斧	13.6	6.5	1.7	188.9	流紋岩	直接打撃によって調整。未製品の可能性	
120-6	88	D12	1層	磨製石斧	(9.5)	3.2	3.2	113.0	塩基性片岩	基部欠損。刃部研磨。基部付近は斜打痕が残る	
120-7	89	C15	1層	磨製石斧	10.6	5.5	3.7	324.4	塩基性片岩	刃部研磨。基部は斜打痕が残る	
120-8	88	E12	1層	石錐	7.8	5.8	2.7	184.6	凝灰岩	打欠石錐	
120-9	89	E12	1層	石錐	6.2	5.0	1.2	68.1	流紋岩	切欠石錐	
	11	D14	1層	石錐	1.8	2.3	1.1	3.9	黒曜石	直接打撃によって打面を転移させながら剥離。残核形状はサイコロ状	
	12	B14	1層	石錐	2.3	3.2	2.3	25.4	水晶	円錐を素材として一枚剥離。残核形状はサイコロ状	
	16	C12	1層	石核	9.7	7.4	4.2	396.3	玄武岩?	直接打撃による文瓦剥離石核。残核形状はショッピングトゥール状	
	52	D12	1層	石錐	(1.0)	(0.5)	0.2	0.1	黒曜石	先端削と基部の大半が久絶	
	60	A13	1層	石核	1.5	1.3	0.3	0.4	黒曜石	未製品	
	51	E11	1層	石錐	1.9	1.6	0.3	0.5	サスカイト	凹基式	
	50	E12	1層	石錐	(1.4)	(1.1)	0.2	0.3	サスカイト	基部欠損	
	74	G13	1層	石錐	(1.3)	1.3	0.2	0.4	サスカイト	先端削と久絶	
	6.3	不明	1層	石錐	1.7	1.4	0.3	0.7	サスカイト	平基式	
	66	A15	1層	石錐	1.4	1.2	0.3	0.4	サスカイト	平基式	
	65	B14	1層	石錐	1.5	1.4	0.3	0.5	サスカイト	未製品	
	64	B14	1層	石錐	1.5	1.2	0.2	0.3	サスカイト	平基式	
	66	A15	1層	石錐	1.4	1.2	0.3	0.4	サスカイト	凹基式	
	6.8	A14	1層	石錐	2.1	2.0	0.3	1.3	サスカイト	未製品	
	57	B14	1層	石錐	1.4	1.5	0.3	0.5	サスカイト	平基式	
	59	D12	1層	石核	1.3	1.3	0.3	0.4	サスカイト	平基式	
	36	A14	1層	楔形石器	1.8	1.8	0.5	2.1	黒曜石	上下両端につぶれ	
	43	B15	1層	楔形石器	2.1	2.0	0.6	3.6	黒曜石	上下両端につぶれ	
	42	C13	1層	楔形石器	2.2	0.9	0.6	1.0	黒曜石	上下両端につぶれ	
	47	B14	1層	楔形石器	2.5	1.1	1.5	2.9	黒曜石	上端の平坦面より加筆。下端につぶれ	
	33	G12	1層	楔形石器	1.6	1.7	0.3	1.5	サスカイト	上端の平坦面より加筆。下端につぶれ	
	35	D12	1層	楔形石器	1.9	1.0	0.6	1.2	サスカイト	上端につぶれ。下端欠損	
	58	G13	1層	楔形石器	4.6	4.5	0.9	24.5	サスカイト	上下両端につぶれ	
	37	A14	1層	楔形石器	2.5	1.8	0.5	2.3	サスカイト	上端の平坦面より加筆。下端につぶれ。側縁に神押剝離による調整。	
	38	不明	1層	楔形石器	1.7	0.7	0.3	0.6	サスカイト	不明	
	65	G13	1層	楔形石器	1.7	1.6	0.6	1.9	サスカイト	上下両端につぶれ	
	44	不明	1層	楔形石器	1.4	2.2	0.3	1.2	サスカイト	上下両端につぶれ	
	46	B14	1層	楔形石器	2.6	2.9	1.3	6.2	サスカイト	上下両端につぶれ	
	11	B12	1層	サイドクリヤーバー	4.0	2.9	0.5	6.9	真岩?	顕著な研磨痕	
	7	C14	1層	抉入石器	2.9	(1.4)	0.6	2.2	サスカイト	側縁欠損。周面に顯著な研磨痕	
	9	B15	1層	ノッチ	3.4	2.7	0.7	6.0	黒曜石	嵌長剝離片の右側縁に急傾斜の押圧剝離で抉りを作出	
	16	C14	1層	R.F.	1.5	2.9	0.6	2.0	黒曜石	剝片の両端を切削して三角形に整形。端部に神押剝離を示す刃部としている?	
	11	F11	1層	R.F.	2.0	2.9	0.3	2.2	サスカイト	剝片の右側縁に数枚の押圧剝離	
	12	E12	1層	R.F.	3.0	2.5	0.4	2.1	サスカイト	剝片の打点部に加工? 極形石器の削片の可能性	
	23	D15	1層	R.F.	2.1	1.7	0.3	1.2	サスカイト	剝片の両側縁に神押剝離。楔形石器の可能性	
	15	D15	1層	R.F.	1.1	2.6	0.3	0.7	サスカイト	剝片の打点部に二次加工	
	18	B14	1層	R.F.	0.9	2.4	0.5	1.3	サスカイト	剝片の削線にて二次加工。楔形石器の可能性	
	11	E12	1層	U.F.	2.0	2.1	0.3	1.4	黒曜石	剝片の端部に微細剝離痕	
	16	A14	1層	U.F.	1.8	1.3	0.2	0.2	黒曜石	剝片の打点部に微細剝離痕	
	14	B12	1層	U.F.	2.1	2.4	0.4	1.2	サスカイト	剝片の右側縁に微細剝離痕	
	17	B15	1層	U.F.	3.0	5.7	0.9	10.9	サスカイト	剝片の右側縁に微細剝離痕	
	13	B12	1層	U.F.	5.8	2.6	0.6	10.0	玉髓・メノウ	嵌長剝離片の右側縁に微細剝離痕	
	489	B12	1層	打製石斧	6.3	5.3	1.0	43.5	泥岩	基底のみ残存。垂直打撃により整形	
	487	C14	1層	打製石斧	8.0	5.1	2.0	127.1	流紋岩	側縁を斜打調査	
	486	D12	1層	打製石斧	8.7	4.3	1.4	81.7	流紋岩	側縁を折断調査。刃部に磨耗痕	
	488	A14	1層	打製石斧の素材片	9.1	5.5	1.1	118.2	流紋岩	垂直打撃面の成長剝離片	
	484	G12	1層	磨製石斧	14.1	5.4	3.6	357.8	流紋岩	柱状の円錐を直接加工した未製品。打製石斧の可能性	
	485	G12	1層	磨製石斧	12.0	5.6	3.2	288.3	花崗岩	風化が著しい	
	13	T2	1層	磨製石斧	10.9	6.0	2.3	259.5	安山岩	全面研磨。刃部に使用による剝離	

持因 番号	図版 番号	監理 番号	グリッド・ 通し番号	層位	基 標	計測値(cm・g)				石 材	備 考
						長さ	幅	厚さ	重量		
	16		H11年度 トレント	1層	磨石・叩石類	10.2	10.1	8.9	1406.3	花崗岩	半分欠損。片面に墨痕
	18		H11年度 トレント	1層	磨石・叩石類	13.6	9.9	6.1	1290.7	花崗岩	面間に墨痕
490	G12			1層	磨石・叩石類	16.0	18.5	14.3	2600.0	花崗岩	面間に墨痕
17	T_2			1層	磨石・叩石類	14.2	11.8	8.2	2000.0	花崗岩	片面に墨痕
12	T_2			1層	磨石・叩石類	9.2	8.7	4.5	711.8	閃綠岩?	面間に顯著な墨痕
10	T_2			1層	磨石・叩石類	10.4	7.9	5.4	720.1	閃綠岩	全面に墨痕
491	D11			1層	磨石・叩石類	12.3	11.4	5.8	1280.6	花崗岩	面間に墨痕
492	G12			1層	磨石・叩石類	11.8	10.8	4.9	919.6	閃綠岩	片面に墨痕
494	G12			1層	磨石・叩石類	12.8	8.2	4.5	718.5	閃綠岩	片面に墨痕
138	E10			1層	石皿	34.5	27.5	8.3	12000.0	花崗岩	側面を剥離調整。片面に墨痕
11	T_2			1層	石皿	21.7	12.3	6.3	3100.0	閃綠岩?	半分欠損。片面に凹み
59	廣土				楔形石器	2.8	1.8	0.8	4.9	サヌカイト	上下両端につぶれ
66	廣土				楔形石器	2.4	4.7	0.8	10.8	サヌカイト	上下両端につぶれ
67	廣土				楔形石器	1.8	1.7	0.6	1.2	サヌカイト	上下両端につぶれ
	21				UF	1.8	2.0	0.4	1.4	風化石	剝片の左側縁に微細剥離痕

第5表 林原遺跡出土石錐観察表

整理番号	グリッド・道 構	層位	計測値(cm・g)			整理番号	グリッド・道 構	層位	計測値(cm・g)			整理番号	グリッド・道 構	層位	計測値(cm・g)					
			長さ	幅	厚さ				長さ	幅	厚さ				長さ	幅	厚さ	重量		
695	儀土01	1a層	6.1	5.0	2.2	80.6	F10	1a層	6.6	5.5	13.0	85.0	340	DT1-2	1b層	5.5	5.2	2.0	74.5	
708	儀土02	1a層	7.8	6.0	1.9	111.4	26	1a層	5.4	4.3	1.5	77.3	246	DT1-2	1b層	6.5	5.0	1.9	102.1	
709	儀土02	1a層	6.6	3.8	1.7	68.8	27	1a層	4.2	3.0	7.4	79.9	247	DT1-2	1b層	4.9	3.2	1.2	28.6	
176	DT1-1	1a層	6.5	5.0	1.5	75.9	34	1a層	7.3	5.4	1.6	115.8	350	DT1-2	1b層	7.6	6.8	1.9	159.7	
195	DT1-1	1a層	7.0	5.4	2.4	112.5	36	1a層	5.9	3.0	1.1	41.1	254	DT1-2	1b層	6.4	4.1	1.7	68.2	
206	DT1-1	1a層	7.1	5.2	1.8	76.0	22	1a層	5.8	4.5	6.5	52.7	259	DT1-2	1b層	7.9	4.8	2.1	170.0	
214	DT1-1	1a層	5.3	4.2	1.4	52.5	38	1a層	7.4	5.0	1.2	73.7	260	DT1-2	1b層	9.2	5.4	2.0	169.9	
215	DT1-1	1a層	6.8	5.2	1.9	92.3	40	1a層	5.2	7.0	1.3	62.7	264	DT1-2	1b層	5.8	4.8	2.5	97.4	
168	DT1-1	1a層	6.3	5.8	1.7	96.5	23	1a層	8.3	5.0	1.0	99.8	266	DT1-2	1b層	6.1	4.2	1.2	64.3	
169	DT1-1	1a層	6.0	4.2	1.6	58.0	42	1a層	7.9	4.4	1.3	99.0	275	DT1-2	1b層	5.8	5.1	2.1	107.0	
170	DT1-1	1a層	6.9	4.2	2.8	355.4	20	1a層	4.9	3.0	13.5	51.1	277	DT1-2	1b層	5.0	4.1	1.8	92.8	
171	DT1-1	1a層	5.9	4.5	1.7	74.8	21	1a層	9.4	5.2	19.8	236.2	292	DT1-2	1b層	5.7	4.3	2.1	70.7	
172	DT1-1	1a層	6.6	5.0	1.0	91.4	35	1a層	5.8	4.0	1.7	82.9	293	DT1-2	1b層	6.0	5.0	2.4	85.3	
173	DT1-1	1a層	6.2	5.7	1.7	89.1	248	DT1-2	1b層	6.9	7.2	2.8	255.6	294	DT1-2	1b層	6.5	5.6	1.8	85.2
174	DT1-1	1a層	5.8	5.4	1.9	77.4	251	DT1-2	1b層	8.4	6.6	1.9	175.4	297	DT1-2	1b層	7.2	4.0	2.1	143.3
175	DT1-1	1a層	5.8	5.4	1.5	107.1	258	DT1-2	1b層	5.0	4.4	2.3	75.7	305	DT1-2	1b層	5.7	5.3	2.3	133.8
177	DT1-1	1a層	6.4	4.3	1.6	82.7	261	DT1-2	1b層	5.5	4.0	1.9	56.0	312	DT1-2	1b層	6.9	5.2	2.1	107.1
178	DT1-1	1a層	9.9	5.6	1.8	104.9	263	DT1-2	1b層	6.0	3.7	1.7	59.2	319	DT1-2	1b層	5.2	4.1	1.6	52.7
179	DT1-1	1a層	7.2	4.4	1.7	86.3	269	DT1-2	1b層	6.8	3.7	1.3	54.2	323	DT1-2	1b層	5.6	5.2	2.2	89.3
181	DT1-1	1a層	5.9	5.2	1.5	61.5	262	DT1-2	1b層	5.0	3.2	2.2	27.7	242	DT1-2	1b層	5.9	5.3	1.1	56.9
185	DT1-1	1a層	8.4	6.6	1.5	138.8	284	DT1-2	1b層	6.9	6.0	1.0	96.0	255	DT1-2	1b層	5.2	5.7	1.8	79.5
186	DT1-1	1a層	5.6	4.2	1.3	39.8	285	DT1-2	1b層	5.8	4.7	1.1	52.4	256	DT1-2	1b層	5.8	4.2	1.6	54.2
188	DT1-1	1a層	5.6	4.1	1.5	59.6	268	DT1-2	1b層	5.8	6.0	2.4	115.3	278	DT1-2	1b層	5.1	5.1	1.8	63.1
189	DT1-1	1a層	6.5	6.1	2.4	124.0	295	DT1-2	1b層	5.9	3.1	1.4	40.3	286	DT1-2	1b層	6.8	5.6	1.8	100.1
190	DT1-1	1a層	7.2	5.1	1.9	118.5	302	DT1-2	1b層	6.3	5.0	1.5	58.1	290	DT1-2	1b層	6.7	3.8	1.3	53.4
191	DT1-1	1a層	8.2	5.2	2.8	165.0	303	DT1-2	1b層	7.5	4.5	1.8	89.9	291	DT1-2	1b層	6.8	5.0	2.1	51.7
192	DT1-1	1a層	5.4	5.6	2.9	50.6	310	DT1-2	1b層	7.9	5.9	1.6	99.9	296	DT1-2	1b層	7.7	4.3	1.3	61.7
193	DT1-1	1a層	6.7	5.0	1.6	54.2	311	DT1-2	1b層	5.7	5.4	1.7	77.2	299	DT1-2	1b層	6.0	5.0	1.8	73.5
194	DT1-1	1a層	6.2	4.2	1.7	59.4	320	DT1-2	1b層	6.5	4.1	2.5	110.5	300	DT1-2	1b層	6.4	4.6	1.6	70.3
195	DT1-1	1a層	5.4	4.2	1.7	64.0	324	DT1-2	1b層	6.0	5.0	1.6	121.6	301	DT1-2	1b層	6.8	3.9	1.9	89.5
197	DT1-1	1a層	7.1	5.2	2.3	141.0	325	DT1-2	1b層	7.0	4.5	1.6	71.2	308	DT1-2	1b層	6.7	3.7	2.6	65.3
198	DT1-1	1a層	5.8	5.1	1.8	65.5	327	DT1-2	1b層	6.8	4.5	1.4	58.9	309	DT1-2	1b層	9.3	5.8	2.2	180.6
199	DT1-1	1a層	7.2	5.8	1.8	121.0	328	DT1-2	1b層	5.4	4.1	1.2	40.6	314	DT1-2	1b層	9.3	4.8	2.8	106.6
201	DT1-1	1a層	7.3	4.2	2.2	82.7	330	DT1-2	1b層	7.7	6.4	2.0	141.1	315	DT1-2	1b層	9.9	7.1	2.2	251.3
202	DT1-1	1a層	6.2	5.3	1.9	99.4	333	DT1-2	1b層	6.5	7.1	2.2	151.5	321	DT1-2	1b層	8.3	6.0	1.7	132.0
203	DT1-1	1a層	8.1	6.4	2.2	163.8	325	DT1-2	1b層	6.9	6.8	2.0	133.9	322	DT1-2	1b層	6.6	5.2	2.2	102.9
204	DT1-1	1a層	5.2	4.1	1.5	52.9	336	DT1-2	1b層	6.8	5.2	1.6	122.0	323	DT1-2	1b層	4.8	5.2	1.7	65.6
205	DT1-1	1a層	6.5	4.5	2.2	53.0	337	DT1-2	1b層	8.3	6.9	1.9	160.2	326	DT1-2	1b層	6.0	4.0	2.0	65.4
207	DT1-1	1a層	8.0	5.3	2.3	145.0	341	DT1-2	1b層	7.0	5.8	1.4	79.7	343	DT1-2	1b層	6.3	4.4	1.6	62.0
209	DT1-1	1a層	6.1	5.1	1.3	59.8	342	DT1-2	1b層	8.6	4.5	1.6	95.5	147	DT1-2	1b層	6.3	4.7	1.9	91.5
210	DT1-1	1a層	7.7	4.7	2.1	105.6	344	DT1-2	1b層	6.5	6.1	1.2	105.3	348	DT1-2	1b層	5.9	5.6	2.2	111.4
211	DT1-1	1a層	7.7	5.8	1.9	118.8	723	DT1-2	1b層	9.3	6.7	1.6	147.6	149	DT1-2	1b層	6.2	5.2	1.7	78.1
217	DT1-1	1a層	7.4	5.7	1.9	109.6	724	DT1-2	1b層	6.2	4.2	1.7	61.3	150	DT1-2	1b層	6.0	4.5	1.8	70.9
218	DT1-1	1a層	5.8	4.7	2.1	74.6	240	DT1-2	1b層	4.9	4.2	1.8	52.3	151	DT1-2	1b層	6.9	4.9	2.1	102.0
219	DT1-1	1a層	6.6	5.8	1.2	91.1	241	DT1-2	1b層	7.1	4.1	1.6	66.7	152	DT1-2	1b層	6.3	5.5	1.9	93.2
220	DT1-1	1a層	10.1	5.7	1.9	165.2	243	DT1-2	1b層	6.2	5.1	1.8	79.9	153	DT1-2	1b層	7.0	5.6	1.6	95.5
221	DT1-1	1a層	6.7	5.7	2.0	92.4	244	DT1-2	1b層	7.2	5.4	1.1	99.4	154	DT1-2	1b層	8.6	5.8	1.8	131.0
222	DT1-1	1a層	6.2	5.3	2.1	93.3	245	DT1-2	1b層	7.6	4.1	1.8	88.8	155	DT1-2	1b層	6.8	4.5	2.5	98.0
225	DT1-1	1a層	8.6	5.0	1.9	127.4	249	DT1-2	1b層	6.5	6.2	2.1	125.7	156	DT1-2	1b層	5.6	4.8	1.5	62.6
226	DT1-1	1a層	5.7	5.6	1.5	76.1	252	DT1-2	1b層	6.3	4.8	1.6	73.4	159	DT1-2	1b層	6.9	5.6	2.6	147.5
227	DT1-1	1a層	6.3	4.5	1.4	69.5	253	DT1-2	1b層	6.3	4.2	1.6	50.6	162	DT1-2	1b層	8.8	6.3	2.6	183.0
228	DT1-1	1a層	5.4	4.3	1.4	55.4	257	DT1-2	1b層	6.9	5.3	1.6	84.6	163	DT1-2	1b層	6.1	5.2	1.4	121.2
229	DT1-1	1a層	6.1	5.2	2.1	86.9	262	DT1-2	1b層	9.8	4.7	2.1	64.6	164	DT1-2	1b層	7.7	4.8	2.4	113.2
230	DT1-1	1a層	5.8	4.4	1.9	75.8	265	DT1-2	1b層	4.3	4.4	1.4	48.8	165	DT1-2	1b層	8.6	4.3	2.5	105.3
231	DT1-1	1a層	5.1	4.6	2.3	80.5	267	DT1-2	1b層	5.8	4.8	1.4	57.9	166	DT1-2	1b層	4.8	3.9	1.8	56.2
232	DT1-1	1a層	6.3	4.5	2.0	88.9	268	DT1-2	1b層	6.5	4.9	2.0	104.5	170	DT1-2	1b層	5.5	5.2	1.9	71.3
233	DT1-1	1a層	5.2	4.6	1.3	46.5	270	DT1-2	1b層	5.1	4.9	1.5	56.1	153	DT1-2	1b層	7.2	4.8	1.6	77.7
234	DT1-1	1a層	7.9	5.0	2.4	132.7	271	DT1-2	1b層	6.9	6.5	2.0	106.0	166	DT1-2	1b層	6.9	5.1	2.2	96.0
208	DT1-1	1a層	7.2	4.3	2.2	83.8	272	DT1-2	1b層	8.1	6.7	2.7	213.2	166	DT1-2	1b層	6.9	4.4	2.1	99.7
187	DT1-1	1a層	6.3	4.9	1.5	70.9	273	DT1-2	1b層	5.0	7.0	1.3	78.1	168	DT1-2	1b層	7.0	5.1	1.8	79.7
200	DT1-1	1a層	7.2	5.5	2.2	117.9	274	DT1-2	1b層	6.7	5.6	2.4	118.7	671	DT1-2	1b層	6.2	5.5	2.2	102.2
223	DT1-1	1a層	6.2	5.1	2.0	113.3	276	DT1-2	1b層	6.5	4.4	1.6	118.7	667	DT1-2	1b層	6.3	4.6	1.3	55.8
224	DT1-1	1a層	5.8	4.4	1.2	75.1	306	DT1-2	1b層	7.1	6.8	2.0	114.4	61	DT1-2	1b層	5.2	4.0	1.4	49.1
180	DT1-1	1a層	6.2	5.8	1.8	101.2	280	DT1-2	1b層	5.5	4.4	1.1	50.0	51	C11	1b層	5.8	4.7	2.0	94.4
182	DT1-1	1a層	5.0	2.1	1.6	32.5	281	DT1-												

監査番号	グリッド・構造	層位	計測値(cm・g)			監査番号	グリッド・構造	層位	計測値(cm・g)			監査番号	グリッド・構造	層位	計測値(cm・g)						
			長さ	幅	厚さ				長さ	幅	厚さ				長さ	幅	厚さ	重量			
79	C11	1b層	6.1	5.7	1.4	69.1	699	SK14	1層	6.7	5.7	1.9	131.2	562	DT6	1層	5.2	3.2	1.2	37.7	
83	C11	1b層	6.9	5.0	1.2	101.6	691	SK14	1層	5.0	4.3	1.4	49.3	563	DT6	1層	6.6	4.9	1.4	66.1	
84	C11	1b層	6.3	5.3	2.0	98.4	692	SK14	1層	7.4	4.7	2.1	99.2	570	DT6	1層	6.5	6.1	1.9	84.7	
85	C11	1b層	6.5	4.6	1.9	84.5	693	SK14	1層	7.2	5.3	2.0	94.5	564	DT6	1層	7.1	4.5	1.6	106.0	
56	D10	1b層	8.2	5.5	2.2	170.9	675	配石造築物	1層	7.0	5.7	1.6	91.9	565	DT6	1層	6.9	5.9	2.2	133.7	
50	D11	1b層	7.4	6.7	0.8	76.3	674	SK19	1層	6.3	6.1	1.3	141.1	569	DT6	1層	6.7	5.3	1.8	96.2	
52	D11	1b層	6.8	4.8	2.0	113.3	495	DT3	1層	7.7	6.6	2.4	175.7	567	DT6	1層	7.1	5.0	1.9	117.5	
54	D11	1b層	6.4	4.3	1.4	74.3	496	DT3	1層	6.4	5.3	1.8	106.6	568	DT6	1層	6.8	7.1	2.4	178.9	
64	E10	1b層	7.1	4.2	2.3	123.5	497	DT3	1層	6.2	4.8	2.1	90.7	571	DT6	1層	8.8	5.4	3.5	248.2	
74	E10	1b層	5.9	5.2	2.3	108.1	499	DT4	1層	7.2	6.5	1.9	122.9	725	DT6	1層	7.7	5.6	1.8	114.5	
80	E10	1b層	6.8	5.1	1.4	60.4	500	DT4	1層	9.1	5.4	1.6	165.5	566	DT6	1層	7.1	4.9	1.1	52.9	
70	E11	1b層	5.5	4.1	1.5	49.9	501	DT4	1層	5.7	5.9	1.8	101.1	143	石錆塗まり3	1層	6.7	5.5	2.2	116.5	
81	F10	1b層	7.3	6.7	1.6	121.8	157	石錆塗まり2	1層	7.6	6.6	1.6	146.7	144	石錆塗まり3	1層	5.9	4.5	2.4	87.8	
82	F10	1b層	6.9	5.8	2.6	151.9	158	石錆塗まり2	1層	8.8	5.1	2.2	162.2	145	石錆塗まり3	1層	6.2	5.2	2.4	99.0	
86	F10	1b層	8.2	5.2	1.6	119.4	159	石錆塗まり2	1層	6.4	4.3	1.2	59.0	146	石錆塗まり3	1層	7.3	6.2	1.9	127.5	
87	F10	1b層	7.2	4.7	1.2	99.3	160	石錆塗まり2	1層	5.5	4.9	1.3	70.7	677	SK21	1層	6.8	3.7	1.7	69.2	
88	F10	1b層	5.9	3.9	1.1	46.2	161	石錆塗まり2	1層	4.5	3.8	1.5	38.1	514	DT7	1層	7.1	4.2	1.6	75.8	
89	F10	1b層	5.6	4.2	1.5	60.7	162	石錆塗まり2	1層	6.6	6.4	1.6	103.7	515	DT7	1層	5.8	5.5	1.8	79.4	
90	F10	1b層	7.1	6.3	1.9	121.5	163	石錆塗まり2	1層	6.7	4.3	1.1	59.2	516	DT7	1層	6.5	4.5	1.3	55.8	
67	F9	1b層	5.5	4.4	1.2	48.3	164	石錆塗まり2	1層	5.0	4.2	1.4	43.3	517	DT7	1層	7.5	5.7	1.8	104.3	
68	F9	1b層	6.9	4.5	1.2	69.3	165	石錆塗まり2	1層	5.9	5.1	1.2	55.5	518	DT7	1層	7.6	5.9	1.9	116.4	
73	H8	1b層	5.8	4.4	1.7	64.9	166	石錆塗まり2	1層	8.8	5.5	1.7	132.0	519	DT7	1層	6.6	7.6	1.5	123.5	
720	T2	1b層	5.0	5.3	1.5	60.0	167	石錆塗まり2	1層	5.1	6.6	1.1	42.4	560	DT7	1層	6.3	8.1	2.1	164.5	
676	SK08	1b層	9.0	6.2	2.1	175.1	711	配石造築物	1層	7.6	5.3	2.4	148.8	561	DT7	1層	5.6	7.2	2.0	128.3	
103	C10	1b層	5.4	4.9	1.1	43.2	502	DT5	1層	7.6	6.3	1.9	135.9	562	DT7	1層	6.4	4.0	2.0	73.9	
121	C10	1b層	10.6	5.3	2.9	217.5	503	DT5	1層	6.6	6.1	3.0	134.4	563	DT7	1層	7.0	5.6	2.1	119.1	
93	C11	1b層	6.7	4.3	1.3	65.6	504	DT5	1層	3.6	5.1	1.7	45.3	564	DT7	1層	6.9	5.6	1.2	94.6	
94	C11	1b層	5.8	4.7	1.4	58.5	505	DT5	1層	7.2	5.7	2.2	129.4	565	DT7	1層	6.7	4.9	1.5	76.5	
100	C11	1b層	5.1	4.2	1.8	45.3	506	DT5	1層	7.1	5.2	2.0	92.1	566	DT7	1層	6.6	5.6	1.3	86.3	
105	C11	1b層	5.3	4.3	1.2	42.8	507	DT5	1層	6.4	4.7	2.5	110.8	567	DT7	1層	6.5	5.2	1.8	89.2	
106	C11	1b層	5.2	4.1	2.1	52.3	508	DT5	1層	6.2	5.5	1.8	105.8	568	DT7	1層	7.9	4.0	1.2	71.1	
107	C11	1b層	6.1	4.1	2.0	77.4	509	DT5	1層	7.7	4.5	2.0	99.4	569	DT7	1層	6.4	5.8	1.9	93.5	
108	C11	1b層	7.2	5.5	2.0	74.9	510	DT5	1層	7.3	4	2.4	127.1	590	DT7	1層	6.8	4.2	2.3	70.1	
110	C11	1b層	6.5	5.0	1.2	65.2	511	DT5	1層	6.4	3.7	1.9	71.5	591	DT7	1層	5.2	7.1	2.3	126.8	
111	C11	1b層	5.0	4.2	1.2	48.5	512	DT5	1層	7.3	3.1	1.9	89.9	592	DT7	1層	6.7	7.4	3.0	211.1	
113	C11	1b層	5.0	4.5	1.5	49.9	513	DT5	1層	5.0	4.7	1.1	48.1	593	DT7	1層	9.6	7.9	2.3	236.3	
115	C11	1b層	5.7	4.2	1.5	50.4	501	DT5	1層	6.7	5.6	2.4	130.4	594	DT7	1層	7.3	5.8	1.9	120.7	
117	C11	1b層	4.9	3.3	1.2	27.9	515	DT5	1層	7.2	4.6	1.7	104.0	595	DT7	1層	6.6	4.5	1.8	76.5	
118	C11	1b層	6.1	3.8	1.3	52.5	516	DT5	1層	9.0	4.4	2.0	127.9	596	DT7	1層	6.9	4.7	1.8	79.7	
119	C11	1b層	5.4	5.5	2.7	68.2	517	DT5	1層	6.9	5.9	1.9	109.3	597	DT7	1層	6.1	5.9	2.0	58.5	
128	C11	1b層	5.3	4.8	1.6	61.4	518	DT5	1層	6.8	5.8	2.0	91.6	598	DT7	1層	7.3	4.7	2.4	122.9	
135	C11	1b層	5.8	3.9	2.1	69.6	519	DT5	1層	8.2	7.5	2.4	228.5	599	DT7	1層	6.3	5.2	2.6	148.8	
137	C11	1b層	6.4	4.8	2.5	115.5	520	DT6	1層	6.8	4.8	2.2	154.6	600	DT7	1層	9.4	5.1	2.2	162.0	
96	C12	1b層	7.5	4.8	1.6	85.3	521	DT5	1層	5.0	4.7	2.2	56.6	601	DT7	1層	7.4	4.6	1.5	71.6	
120	C12	1b層	5.6	5.0	1.8	73.8	522	DT5	1層	9.0	5.1	2.1	150.1	602	DT7	1層	6.6	5.4	2.2	129.2	
122	C12	1b層	6.9	6.1	2.1	119.6	523	DT5	1層	8.3	4	4.1	18.9	603	DT7	1層	7.3	6.1	2.3	128.7	
127	C12	1b層	7.0	3.5	1.4	63.3	524	DT5	1層	6.5	4.6	1.8	112.7	604	DT7	1層	7.0	4.9	2.2	95.6	
129	C12	1b層	6.1	6.0	2.1	74.7	525	DT5	1層	8.7	4	7	2.4	164.4	605	DT7	1層	6.7	4.9	1.9	91.0
132	C12	1b層	6.6	4.2	2.1	66.7	526	DT5	1層	5.6	3.7	1.5	49.6	606	DT7	1層	5.5	4.8	2.4	83.2	
95	D10	1b層	6.4	4.8	1.8	70.4	527	DT5	1層	5.8	4.5	2.6	101.6	607	DT7	1層	6.3	4	2.1	103.2	
97	D10	1b層	5.8	5.6	1.2	96.0	528	DT5	1層	5.7	6.3	2.1	111.5	608	DT7	1層	7.0	4.5	2.0	84.7	
98	D10	1b層	6.1	5.6	2.1	116.5	529	DT5	1層	9.3	7.4	2.8	265.8	609	DT7	1層	8.2	5.1	1.6	104.1	
104	D10	1b層	5.2	3.8	1.3	35.8	530	DT5	1層	5.8	5.3	1.8	77.7	610	DT7	1層	8.0	6.8	1.2	158.4	
125	D10	1b層	5.3	3.6	2.2	72.0	531	DT5	1層	7.1	5.5	1.9	112.8	611	DT7	1層	8.3	4.7	1.6	100.1	
126	D10	1b層	6.3	4.6	1.7	73.0	532	DT5	1層	7.4	7.2	2.1	207.2	612	DT7	1層	8.1	5.2	1.8	126.5	
92	D11	1b層	5.7	4.7	2.1	79.1	533	DT5	1層	6.1	4.9	1.9	85.2	613	DT7	1層	5.8	6.6	1.3	56.5	
101	D11	1b層	7.2	4.2	1.2	78.7	534	DT5	1層	6.8	4.5	1.3	65.8	614	DT7	1層	6.5	5.9	2.2	115.8	
102	D11	1b層	7.1	5.8	2.3	127.9	535	DT5	1層	5.6	5.9	2.4	107.0	615	DT7	1層	8.7	7.2	2.3	211.8	
112	D11	1b層	6.2	5.2	2.0	74.9	536	DT5	1層	8.4	6.3	2.4	191.1	616	DT7	1層	5.2	5.1	1.5	65.1	
116	D11	1b層	7.0	5.2	1.7	88.3	537	DT5	1層	6.3	3.5	2.1	140.2	617	DT7	1層	9.2	4.8	2.3	158.4	
120	D11	1b層	7.7	6.2	1.8	136.4	538	DT5	1層	7.1	4.2	1.5	60.8	618	DT7	1層	5.4	3.8	1.5	57.0	
131	D11	1b層	7.1	4.5	2.2	81.3	539	DT5	1層	7.2	6.3	2.1	74.3	619	DT7	1層	9.5	8.1	2.4	234.3	
134	D11	1b層	7.0	5.2	1.5	93.3	540	DT5	1層	6.6	5.7	1.9	105.7	620	DT7	1層	6.2	5.3	1.8	93.5	
135	D11	1b層	7.1	5.6	1.4	57.1	541	DT5	1層	6.1	3.6	2	172.4	621	DT7	1層	5.7	6.6	1.4	74.9	
144	E10	1b層	5.7	5.1	1.8	47.5	542	DT5	1層	11.1	5.9	2.6	237.8	622	DT7	1層	7.5	5.8	1.8	119.9	
99	E11	1b層	6.7	3.4	1.6	47.5	543	DT5	1層	6.1	5.0	2.0	89.0	623	DT7	1層	9.2	6.4	1.6	83.6	
123	E11	1b層	8.0	4.3	1.7	90.5	544	DT5	1層	7											

整理番号	グリッド・道標	層位	計測値 (cm・g)			整理番号	グリッド・道標	層位	計測値 (cm・g)			整理番号	グリッド・道標	層位	計測値 (cm・g)					
			長さ	幅	厚さ				長さ	幅	厚さ				長さ	幅	厚さ	重量		
539	D7	1層	6.1	5.8	2.1	121.5	354	B14	1層	7.3	4.6	2.2	127.2	423	D12	1層	5.5	5.5	1.4	80.9
640	D7	1層	7.8	5.7	2.4	164.4	355	B14	1層	6.4	5.1	2.3	98.5	424	D12	1層	4.3	3.7	1.2	28.8
641	D7	1層	5.8	4.9	1.6	88.5	363	B14	1層	7.7	5.2	1.2	92.7	440	D12	1層	6.1	6.2	1.7	128.1
642	D7	1層	4.6	4.3	1.6	51.0	378	B14	1層	11.9	11.3	3.2	667.2	468	D12	1層	7.9	5.9	2.8	165.3
643	D7	1層	7.0	5.6	2.7	140.0	432	B14	1層	7.7	4.5	2.1	118.5	476	D12	1層	6.9	4.9	2.2	113.2
644	D7	1層	8.1	4.8	2.1	119.2	441	B14	1層	6.5	6.8	1.6	105.0	439	D12	1層	6.1	5.1	2.1	97.6
645	D7	1層	5.1	3.9	2.0	114.1	444	B14	1層	7.0	6.1	1.6	102.4	440	D12	1層	7.3	6.2	2.6	183.1
646	D7	1層	6.4	4.6	2.1	90.7	445	B14	1層	6.8	6.4	1.4	87.2	442	D12	1層	6.0	4.6	1.9	79.6
647	D7	1層	8.7	4.2	2.4	101.3	462	B14	1層	7.7	6.1	2.1	126.5	431	D13	1層	6.1	6.0	2.0	109.4
648	D7	1層	8.6	5.0	1.8	110.5	463	B14	1層	7.5	4.6	1.8	96.1	395	D14	1層	4.9	3.9	1.9	65.2
649	D7	1層	7.6	4.5	1.9	97.2	465	B14	1層	7.4	6.1	1.5	110.3	436	D14	1層	4.9	5.6	1.2	54.2
650	D7	1層	8.5	7.8	1.6	172.8	467	B14	1層	7.0	5.6	1.5	86.2	451	D15	1層	9.1	8.3	3.0	314.2
651	D7	1層	9.2	4.1	2.0	159.5	468	B14	1層	6.6	6.5	1.2	107.4	469	D15	1層	7.6	5.9	2.4	140.2
652	D7	1層	5.0	5.4	1.4	64.1	474	B14	1層	8.0	7.2	2.2	191.1	433	E11	1層	4.1	5.4	1.6	58.8
422	A11	1層	6.4	4.2	1.6	57.9	348	B14	1層	8.4	5.1	1.9	125.9	437	E11	1層	7.4	6.1	3.6	160.4
478	A12	1層	7.2	4.2	1.2	66.9	349	B15	1層	6.2	5.5	2.2	101.5	481	E11	1層	7.2	6.7	1.6	112.6
368	A13	1層	5.6	3.3	1.5	40.1	362	B15	1層	7.6	6.9	2.1	128.1	482	E11	1層	6.3	3.8	2.9	87.8
381	A13	1層	5.5	5.3	1.8	95.0	388	B15	1層	7.0	5.3	2.1	115.9	483	E11	1層	6.3	5.5	2.0	87.2
394	A13	1層	6.3	4.9	1.9	69.1	435	B15	1層	9.0	7.4	1.8	160.1	352	E12	1層	5.9	5.4	2.0	95.9
402	A13	1層	7.6	8.2	2.1	192.8	456	B15	1層	6.8	6.4	1.8	120.5	377	E12	1層	7.6	6.4	2.0	144.1
429	A13	1層	6.1	4.6	1.9	83.3	457	B15	1層	12.1	6.8	3.3	384.0	391	E12	1層	5.8	4.6	1.6	55.5
438	A13	1層	5.4	6.7	1.5	61.4	458	B15	1層	9.5	5.5	1.5	109.1	413	E12	1層	5.1	4.0	1.6	48.3
446	A13	1層	6.5	4.7	1.5	65.9	459	B15	1層	7.7	5.3	1.3	113.8	428	E12	1層	7.6	6.7	1.5	125.6
447	A13	1層	6.9	5.2	1.4	87.3	460	B15	1層	5.7	5.1	1.3	67.7	442	E12	1層	5.4	3.9	2.5	78.4
3	A14	1層	5.9	3.5	1.5	56.8	471	B15	1層	6.4	5.8	1.9	105.4	443	E12	1層	6.6	5.7	1.6	90.3
399	A14	1層	5.1	4.4	1.5	60.5	385	C11	1層	7.8	5.8	2.0	120.3	475	E12	1層	8.2	5.5	1.7	136.1
350	B12	1層	6.1	5.6	1.8	65.1	417	C11	1層	5.4	4.4	1.6	51.9	477	E13	1層	6.5	5.9	1.7	86.5
351	B12	1層	7.0	5.7	1.8	86.6	418	C11	1層	5.2	5.7	2.2	81.8	404	E14	1層	9.0	6.9	2.2	193.4
358	B12	1層	8.5	5.3	1.9	148.6	419	C11	1層	5.1	3.6	1.4	40.3	405	E14	1層	4.7	5.5	2.3	87.2
359	B12	1層	6.8	5.7	1.5	95.6	420	C11	1層	5.0	5.5	2.6	104.3	397	F14	1層	6.5	5.1	1.0	46.9
361	B12	1層	9.1	5.8	2.5	178.9	421	C11	1層	5.2	4.9	1.3	38.1	398	F14	1層	7.2	3.3	2.1	79.2
370	B12	1層	6.2	4.8	1.2	88.5	426	C11	1層	5.3	4.6	2.0	79.0	408	F14	1層	7.5	6.4	1.6	112.4
373	B12	1層	6.2	4.2	2.1	83.4	390	C11	1層	4.9	3.9	1.5	36.3	410	F14	1層	7.4	4.9	1.8	93.2
374	B12	1層	5.9	4.4	1.8	58.2	415	C12	1層	5.7	3.8	1.6	50.5	375	G10	1層	6.6	4.4	1.0	41.6
379	B12	1層	7.4	6.5	2.2	172.7	396	C13	1層	6.7	7.7	2.2	149.2	386	G10	1層	7.3	4.2	2.0	103.0
392	B12	1層	6.8	7.1	2.7	196.4	464	C14	1層	9.7	7.0	2.2	206.0	411	G11	1層	6.6	5.5	1.3	105.1
401	B12	1層	8.3	4.3	2.2	121.7	356	C15	1層	7.1	5.6	2.1	134.3	405	G12	1層	7.9	3.7	2.2	95.6
407	B12	1層	5.5	5.0	1.4	52.6	357	C15	1層	6.1	4.9	2.5	103.8	416	G12	1層	5.9	5.2	1.6	67.1
409	B12	1層	7.0	4.3	2.2	84.3	365	C15	1層	6.8	6.0	1.4	92.8	425	G12	1層	7.8	6.0	1.9	113.7
411	B12	1層	6.6	4.9	1.6	76.1	366	C15	1層	8.5	6.5	2.4	160.9	439	G12	1層	7.3	5.9	1.9	127.1
412	B12	1層	6.0	7.4	2.1	111.7	387	C15	1層	7.6	5.2	2.0	117.5	472	G12	1層	9.0	6.0	2.5	179.9
427	B12	1層	6.4	4.9	3.6	156.1	449	C15	1層	7.5	5.2	1.9	103.1	382	G13	1層	7.4	5.2	1.4	74.3
430	B12	1層	7.9	5.9	2.3	138.6	450	C15	1層	7.4	8.5	2.6	227.4	414	G14	1層	7.7	6.8	1.8	119.6
434	B12	1層	7.2	5.2	2.4	162.9	452	C15	1層	6.7	8.7	2.5	212.4	712	C11	不明	6.6	5.2	1.4	61.7
448	B12	1層	4.9	5.2	2.0	55.0	453	C15	1層	9.6	6.8	1.7	158.8	6	T2	不明	5.4	4.0	1.2	54.3
360	B13	1層	6.3	4.6	1.1	52.3	454	C15	1層	6.7	10.2	1.9	179.6	15	T2	不明	7.4	3.9	1.6	89.1
364	B13	1層	7.0	5.5	2.0	114.7	455	C15	1層	8.6	4.3	2.0	96.7	1	T2	不明	6.9	5.1	1.8	99.5
367	B13	1層	2.1	6.3	1.5	101.9	461	C15	1層	7.3	5.8	1.2	109.3	2	T5	不明	5.8	4.4	0.9	50.4
369	B13	1層	5.3	4.9	1.1	58.9	470	C15	1層	6.9	5.0	1.2	89.2	14	H11年T	不明	5.0	2.9	1.2	37.9
383	B13	1層	6.7	6.4	2.4	141.9	473	C15	1層	9.0	7.4	2.6	233.6	4	不明	不明	7.0	3.8	1.9	96.6
384	B13	1層	7.5	6.0	2.0	99.9	376	D11	1層	6.2	6.1	2.0	105.0	5	不明	不明	5.5	3.8	1.1	46.9
399	B13	1層	6.4	4.9	2.1	108.8	380	D11	1層	9.2	5.1	1.9	139.2	713	不明	鉢土	6.8	5.3	1.6	84.7
400	B13	1層	7.4	5.7	2.1	121.3	479	D11	1層	4.7	4.3	1.8	52.1	714	不明	鉢土	6.7	5.2	1.5	83.3
403	B13	1層	6.6	5.0	1.8	91.8	371	D12	1層	9.9	6.1	1.9	143.0	7	不明	不明	8.4	7.0	2.2	258.7
480	B13	1層	5.4	6.4	1.7	86.2	372	D12	1層	8.1	5.1	2.6	161.0	8	不明	不明	4.8	3.8	1.2	48.9
352	B14	1層	7.3	5.8	2.3	141.5	389	D12	1層	5.4	5.4	1.5	62.2	9	不明	不明	4.1	4.2	1.4	41.5

第6表 林原遺跡出土土器集計表

遺跡・層相		[01]-[1] [01]-[2] [01]-[3] [01]-[4] [01]-[5] [01]-[6] [01]-[7] [01]-[8] [01]-[9] [01]-[10] [01]-[11] [01]-[12] [01]-[13] [01]-[14] [01]-[15] [01]-[16] [01]-[17] [01]-[18] [01]-[19] [01]-[20]																	
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			
大河内文化																			

形式・意味		分類		A11	A12	A13	A14	A15	B12	B13	B14	B15	B16	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	C19	C20	C21	C22	C23	C24	C25	C26	C27	C28	C29	C30	C31	C32	C33	C34	C35	C36	C37	C38	C39	C40	C41	C42	C43	C44	C45	C46	C47	C48	C49	C50	C51	C52	C53	C54	C55	C56	C57	C58	C59	C60	C61	C62	C63	C64	C65	C66	C67	C68	C69	C70	C71	C72	C73	C74	C75	C76	C77	C78	C79	C80	C81	C82	C83	C84	C85	C86	C87	C88	C89	C90	C91	C92	C93	C94	C95	C96	C97	C98	C99	C100	C101	C102	C103	C104	C105	C106	C107	C108	C109	C110	C111	C112	C113	C114	C115	C116	C117	C118	C119	C120	C121	C122	C123	C124	C125	C126	C127	C128	C129	C130	C131	C132	C133	C134	C135	C136	C137	C138	C139	C140	C141	C142	C143	C144	C145	C146	C147	C148	C149	C150	C151	C152	C153	C154	C155	C156	C157	C158	C159	C160	C161	C162	C163	C164	C165	C166	C167	C168	C169	C170	C171	C172	C173	C174	C175	C176	C177	C178	C179	C180	C181	C182	C183	C184	C185	C186	C187	C188	C189	C190	C191	C192	C193	C194	C195	C196	C197	C198	C199	C200	C201	C202	C203	C204	C205	C206	C207	C208	C209	C210	C211	C212	C213	C214	C215	C216	C217	C218	C219	C220	C221	C222	C223	C224	C225	C226	C227	C228	C229	C230	C231	C232	C233	C234	C235	C236	C237	C238	C239	C240	C241	C242	C243	C244	C245	C246	C247	C248	C249	C250	C251	C252	C253	C254	C255	C256	C257	C258	C259	C260	C261	C262	C263	C264	C265	C266	C267	C268	C269	C270	C271	C272	C273	C274	C275	C276	C277	C278	C279	C280	C281	C282	C283	C284	C285	C286	C287	C288	C289	C290	C291	C292	C293	C294	C295	C296	C297	C298	C299	C300	C301	C302	C303	C304	C305	C306	C307	C308	C309	C310	C311	C312	C313	C314	C315	C316	C317	C318	C319	C320	C321	C322	C323	C324	C325	C326	C327	C328	C329	C330	C331	C332	C333	C334	C335	C336	C337	C338	C339	C340	C341	C342	C343	C344	C345	C346	C347	C348	C349	C350	C351	C352	C353	C354	C355	C356	C357	C358	C359	C360	C361	C362	C363	C364	C365	C366	C367	C368	C369	C370	C371	C372	C373	C374	C375	C376	C377	C378	C379	C380	C381	C382	C383	C384	C385	C386	C387	C388	C389	C390	C391	C392	C393	C394	C395	C396	C397	C398	C399	C400	C401	C402	C403	C404	C405	C406	C407	C408	C409	C410	C411	C412	C413	C414	C415	C416	C417	C418	C419	C420	C421	C422	C423	C424	C425	C426	C427	C428	C429	C430	C431	C432	C433	C434	C435	C436	C437	C438	C439	C440	C441	C442	C443	C444	C445	C446	C447	C448	C449	C450	C451	C452	C453	C454	C455	C456	C457	C458	C459	C460	C461	C462	C463	C464	C465	C466	C467	C468	C469	C470	C471	C472	C473	C474	C475	C476	C477	C478	C479	C480	C481	C482	C483	C484	C485	C486	C487	C488	C489	C490	C491	C492	C493	C494	C495	C496	C497	C498	C499	C500	C501	C502	C503	C504	C505	C506	C507	C508	C509	C510	C511	C512	C513	C514	C515	C516	C517	C518	C519	C520	C521	C522	C523	C524	C525	C526	C527	C528	C529	C530	C531	C532	C533	C534	C535	C536	C537	C538	C539	C540	C541	C542	C543	C544	C545	C546	C547	C548	C549	C550	C551	C552	C553	C554	C555	C556	C557	C558	C559	C560	C561	C562	C563	C564	C565	C566	C567	C568	C569	C570	C571	C572	C573	C574	C575	C576	C577	C578	C579	C580	C581	C582	C583	C584	C585	C586	C587	C588	C589	C590	C591	C592	C593	C594	C595	C596	C597	C598	C599	C600	C601	C602	C603	C604	C605	C606	C607	C608	C609	C610	C611	C612	C613	C614	C615	C616	C617	C618	C619	C620	C621	C622	C623	C624	C625	C626	C627	C628	C629	C630	C631	C632	C633	C634	C635	C636	C637	C638	C639	C640	C641	C642	C643	C644	C645	C646	C647	C648	C649	C650	C651	C652	C653	C654	C655	C656	C657	C658	C659	C660	C661	C662	C663	C664	C665	C666	C667	C668	C669	C670	C671	C672	C673	C674	C675	C676	C677	C678	C679	C680	C681	C682	C683	C684	C685	C686	C687	C688	C689	C690	C691	C692	C693	C694	C695	C696	C697	C698	C699	C700	C701	C702	C703	C704	C705	C706	C707	C708	C709	C710	C711	C712	C713	C714	C715	C716	C717	C718	C719	C720	C721	C722	C723	C724	C725	C726	C727	C728	C729	C730	C731	C732	C733	C734	C735	C736	C737	C738	C739	C740	C741	C742	C743	C744	C745	C746	C747	C748	C749	C750	C751	C752	C753	C754	C755	C756	C757	C758	C759	C760	C761	C762	C763	C764	C765	C766	C767	C768	C769	C770	C771	C772	C773	C774	C775	C776	C777	C778	C779	C780	C781	C782	C783	C784	C785	C786	C787	C788	C789	C790	C791	C792	C793	C794	C795	C796	C797	C798	C799	C800	C801	C802	C803	C804	C805	C806	C807	C808	C809	C8010	C8011	C8012	C8013	C8014	C8015	C8016	C8017	C8018	C8019	C8020	C8021	C8022	C8023	C8024	C8025	C8026	C8027	C8028	C8029	C8030	C8031	C8032	C8033	C8034	C8035	C8036	C8037	C8038	C8039	C8040	C8041	C8042	C8043	C8044	C8045	C8046	C8047	C8048	C8049	C8050	C8051	C8052	C8053	C8054	C8055	C8056	C8057	C8058	C8059	C8060	C8061	C8062	C8063	C8064	C8065	C8066	C8067	C8068	C8069	C8070	C8071	C8072	C8073	C8074	C8075	C8076	C8077	C8078	C8079	C8080	C8081	C8082	C8083	C8084	C8085	C8086	C8087	C8088	C8089	C8090	C8091	C8092	C8093	C8094	C8095	C8096	C8097	C8098	C8099	C80100	C80101	C80102	C80103	C80104	C80105	C80106	C80107	C80108	C80109	C80110	C80111	C80112	C80113	C80114	C80115	C80116	C80117	C80118	C80119	C80120	C80121	C80122	C80123	C80124	C80125	C80126	C80127	C80128	C80129	C80130	C80131	C80132	C80133	C80134	C80135	C80136	C80137	C80138	C80139	C80140	C80141	C80142	C80143	C80144	C80145	C80146	C80147	C80148	C80149	C80150	C80151	C80152	C80153	C80154	C80155	C80156	C80157	C80158	C80159	C80160	C80161	C80162	C80163	C80164	C80165	C80166	C80167	C80168	C80169	C80170	C80171	C80172	C80173	C80174	C80175	C80176	C80177	C80178	C80179	C80180	C80181	C80182	C80183	C80184	C80185	C80186	C80187	C80188	C80189	C80190	C80191	C80192	C80193	C80194	C80195	C80196	C80197	C80198	C80199	C80200	C80201	C80202	C80203	C80204	C80205	C80206	C80207	C80208	C80209	C80210	C80211	C80212	C80213	C80214	C80215	C80216	C80217	C80218	C80219	C80220	C80221	C80222	C80223	C80224	C80225	C80226	C80227	C80228	C80229	C80230	C80231	C80232	C80233	C80234	C80235	C80236	C80237	C80238	C80239	C80240	C80241	C80242	C80243	C80244	C80245	C80246	C80247	C80248	C80249	C80250	C80251	C80252	C80253	C80254	C80255	C80256	C80257	C80258	C80259	C80260	C80261	C80262	C80263	C80264	C80265	C80266	C80267	C80268	C80269	C80270	C80271	C80272	C80273	C80274	C80275	C80276	C80277	C80278	C80279	C80280	C80281	C80282	C80283	C80284	C80285	C80286	C80287	C80288	C80289	C80290	C80291	C80292	C80293	C80294	C80295	C80296	C80297	C80298	C80299	C80300	C80301	C80302	C80303	C80304	C80305	C80306	C80307	C80308	C80309	C80310	C80311	C80312	C80313	C80314	C80315	C80316	C80317	C80318	C80319	C80320	C80321	C80322	C80323	C80324	C80325	C80326	C80327	C80328	C80329	C80330	C80331	C80332	C80333	C80334	C80335	C80336	C80337	C80338	C80339	C80340	C80341	C80342	C80343	C80344	C80345	C80346	C80347	C80348	C80349	C80350	C80351	C80352	C80353	C80354	C80355	C80356	C80357	C80358	C80359	C80360	C80361	C80362	C80363	C80364	C80365	C80366	C80367	C80368	C80369	C80370	C80371	C80372	C80373	C80374	C80375	C80376	C80377	C80378	C80379	C80380	C80381	C80382	C80383	C80384	C80385	C80386	C80387	C80388	C80389	C80390	C80391	C80392	C80393	C80394	C80395	C80396	C80397	C80398	C80399	C80400	C80401	C80402	C80403	C80404	C80405	C80406	C80407	C80408	C80409	C80410	C80411	C80412	C80413	C80414	C80415	C80416	C80417	C80418	C80419	C80420	C80421	C80422	C80423	C80424	C80425	C80426	C80427	C80428	C80429	C80430	C80431	C80432	C80433	C80434	C80435	C80436	C80437	C80438	C80439	C80440	C80441	C80442	C80443	C80444	C80445	C80446	C80447	C80448	C80449	C80450	C80451	C80452	C80453	C80454	C80455	C80456	C80457	C80458	C80459	C80460	C80461	C80462	C80463	C80464	C80465	C80466	C80467	C80468	C80469	C80470	C80471	C80472	C80473	C80474	C80475	C80476	C80477	C80478	C80479	C80480	C80481	C80482	C80483	C80484	C80485	C80486	C80487	C80488	C80489	C80490	C80491	C80492	C80493	C80494	C80495	C80496	C80497	C80498	C80499	C80500	C80501	C80502	C80503	C80504	C80505	C80506	C80507	C80508	C80509	C80510	C80511	C80512	C80513	C80514	C80515	C80516	C80517	C80518	C80519	C80520	C80521	C80522	C80523	C80524	C80525	C80526	C80527	C80528	C80529	C80530	C80531	C80532	C80533	C80534	C80535	C80536	C80537	C80538	C80539	C80540	C80541	C80542	C80543	C80544	C80545	C80546	C80547	C80548	C80549	C80550	C80551	C80552	C80553	C80554	C80555	C80556	C80557	C80558	C80559	C80560	C80561	C80562	C80563	C80564	C80565	C80566	C80567	C80568	C80569	C80570	C80571	C80572	C80573	C80574	C80575	C80576	C80577	C80578	C80579	C80580	C80581	C80582	C80583	C80584	C80585	C80586	C80587	C80588	C80589	C80590	C80591	C80592	C80593	C80594	C80595	C80596	C80597	C80598	C80599	C80600	C80601	C80602	C80603	C80604	C80605	C80606	C80607	C80608	C80609	C80

第7表 林原遺跡出土石器集計表

項目		地名		種別		形状		石質		石量		SC		B/S石量		N/S		鉱物石量		OF		UF		物理的性質		物理的性質		岩石		鉱石		石墨	
総合		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
サスカチウ		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安山岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
水島		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他の岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
合計		0.0		0.0		51.79		2.05		0.0		0.0		0.0		3.74		0.0		2.38		0.0		0.0		0.0		0.0					
隕石		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
砂岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他の岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
合計		0.0		0.0		51.79		2.05		0.0		0.0		0.0		3.74		0.0		2.38		0.0		0.0		0.0		0.0					
隕石		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安カイト		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安山岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
木島		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他の岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
合計		0.0		0.0		51.79		2.05		0.0		0.0		0.0		3.74		0.0		2.38		0.0		0.0		0.0		0.0					
隕石		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安カイト		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安山岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
木島		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他の岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
合計		0.0		0.0		51.79		2.05		0.0		0.0		0.0		3.74		0.0		2.38		0.0		0.0		0.0		0.0					
隕石		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安カイト		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安山岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
木島		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他の岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
合計		0.0		0.0		51.79		2.05		0.0		0.0		0.0		3.74		0.0		2.38		0.0		0.0		0.0		0.0					
隕石		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安カイト		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
安山岩		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
木島		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他の岩		-																															



遺跡遠景（航空写真）

写真図版 2



調査区東西セクション西側（北西より）



調査区東西セクション中央（北西より）



調査区東西セクション東側（北西より）



1 a 層遺構完掘状況（南東より）

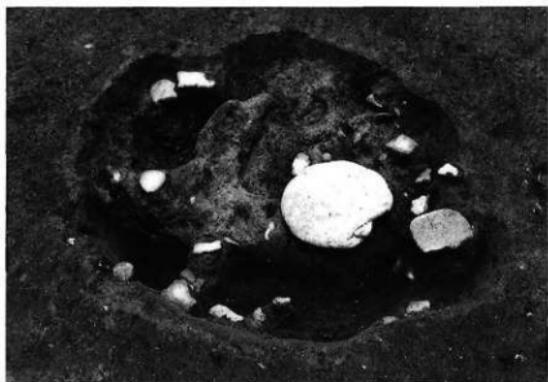
写真図版 4



土器溜まり 1-1 検出状況（南より）



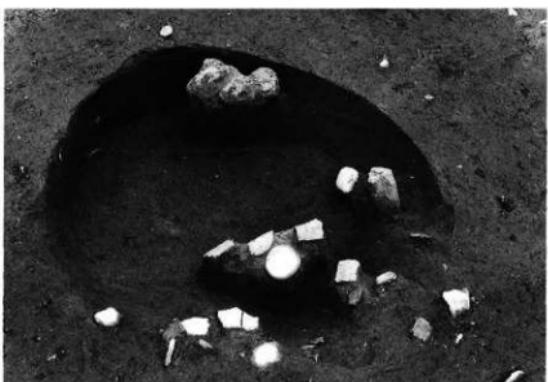
焼土01セクション（東より）



焼土01遺物出土状況
(東より)



焼土02セクション
(西より)

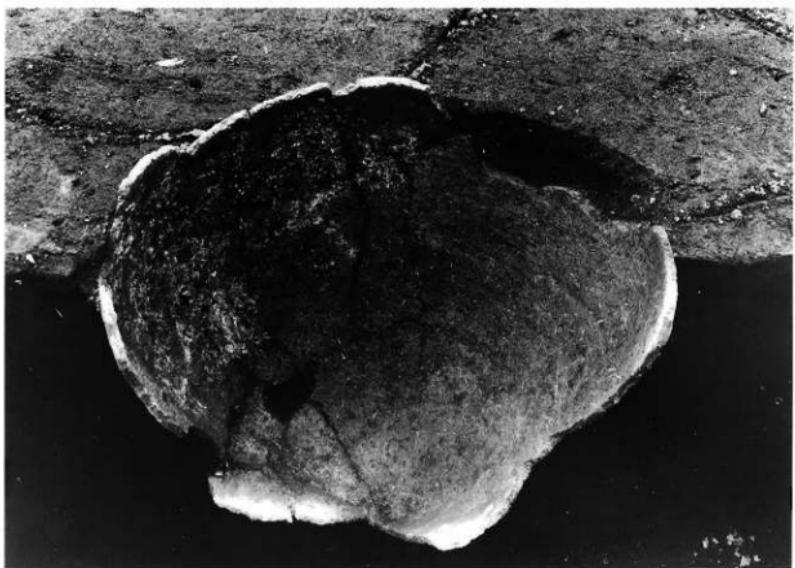


焼土02遺物出土状況
(西より)

写真図版 6



土器埋設構造 1 側面（南より）



土器埋設構造 1 完掘状況（南より）

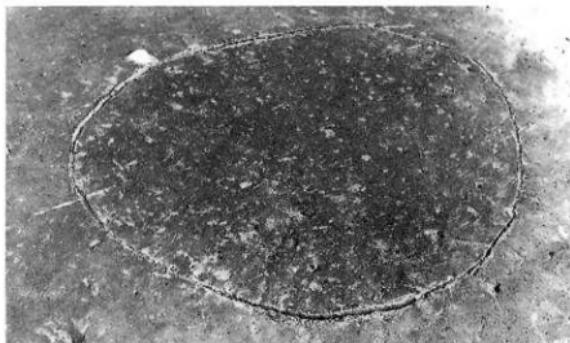


炭窯セクション（南東より）



焼土・炭集中部検出状況（南より）

写真図版 8



炭溜まり02検出状況
(東より)



配石遺構01検出状況
(西より)



配石遺構02完掘状況 (南より)



1 b. 厩遺構完掘状況（南東より）

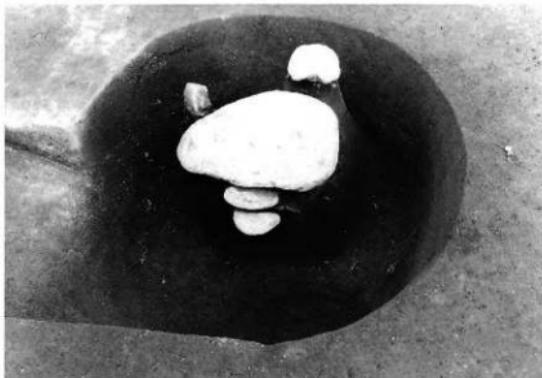


焼土04検出状況
(東より)

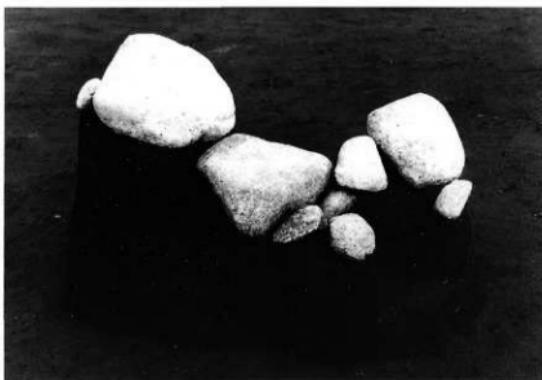


石錘溜まり 1 検出状況
(東より)

写真図版10



S K 08石検出状況
(南より)



配石造構03石検出状況
(東より)



S K 10石検出状況
(東より)



S K 14セクション（南より）



S K 14石検出状況（南より）

写真図版12



S I 01及び上面ピット検出状況（北より）



S I 01遺物出土状況（北より）



S I 01遺物出土状況拡大（西より）



S I 01完掘状況（北より）

写真図版14



S I 01東セクション
(南より)



S I 01北セクション
(西より)



S I 01-焼土 1 検出状況
(南より)



S I 01-焼土 1
セクション (北より)



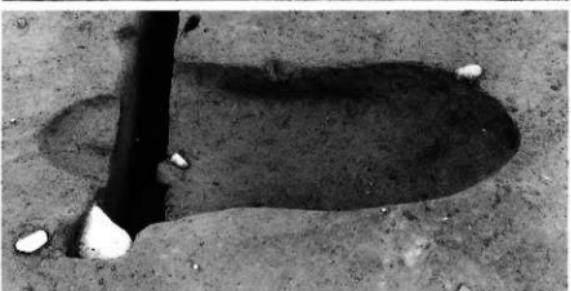
S I 01-S K 1セクション
(北より)



S I 01-S K 1 完掘状況
(北より)



S I 01-S K 2セクション
(西より)



S I 01-S K 2 完掘状況
(西より)

写真図版16



焼土05セクション
(南東より)



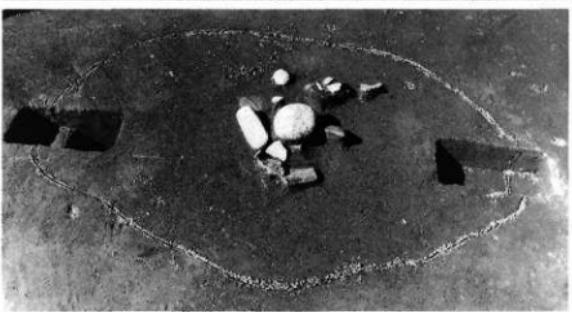
配石造構04セクション (北東より)



配石造構04石・遺物出土状況 (北東より)



S K 15セクション
(北西より)



S K 16遺物出土状況
(東より)



S K 18セクション
(東より)



S K 18遺物出土状況
(東より)



配石遺構05石出土状況
(北東より)



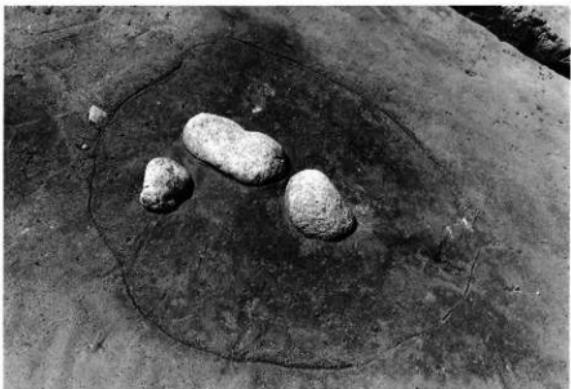
石圓炉状造構 1 完掘状況
(西より)



土器溜まり 3 南北セクション (北西より)



土器溜まり5遺物出土状況（北西より）

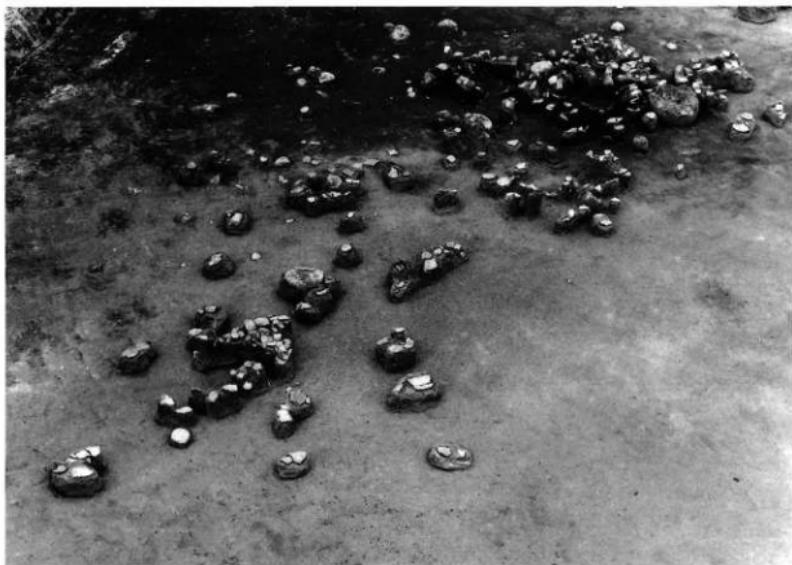


配石遺構07検出状況
(北東より)



石錐溜まり2検出状況
(北東より)

写真図版20



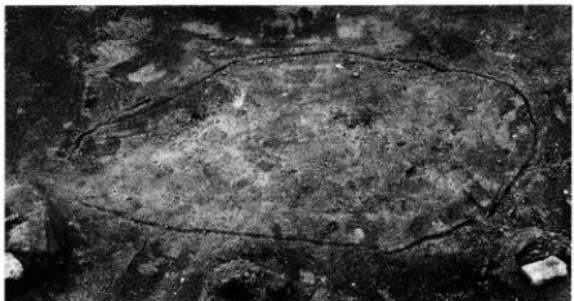
土器溜まり 6 遺物出土状況（西より）



土器溜まり 7 遺物出土状況（南西より）



焼土08検出状況
(南より)

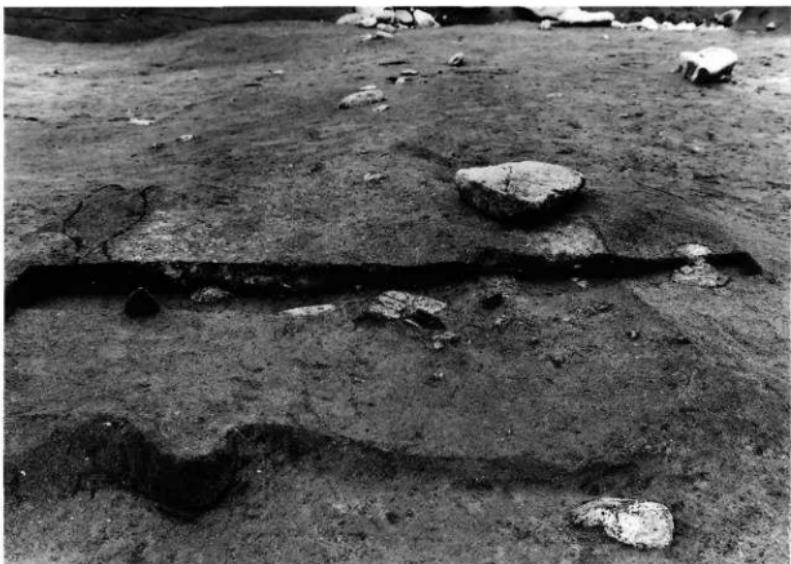


焼土09検出状況
(南より)



土器溜まり 7 直下の遺構（粘土面・硬化面 3）検出状況（南より）

写真図版22



土器溜まり 7 直下の遺構（粘土面・硬化面3・粘土ピット）セクション（南より）



土器溜まり 7 直下の遺構（硬化面4・焼土10・石圓炉状遺構2）検出状況（南より）



土器溜まり 7 直下の遺構
(硬化面 4・石圓炉状遺構 2)
検出状況 (北より)

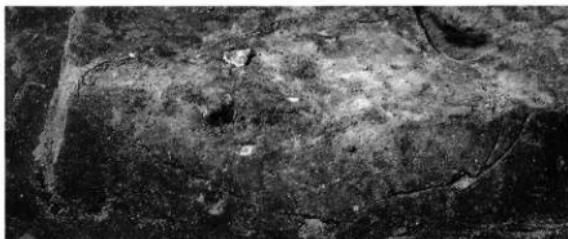


石圓炉状遺構 2 検出状況
(北より)

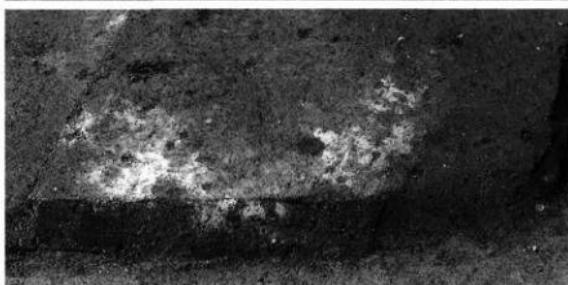


石錐溜まり 3 検出状況
(西より)

写真図版24



焼土11セクション
(南より)



焼土12セクション
(東より)



配石遺構08検出状況
(西より)



S K21セクション
(東より)



焼土13・配石遺構09
検出状況（北東より）

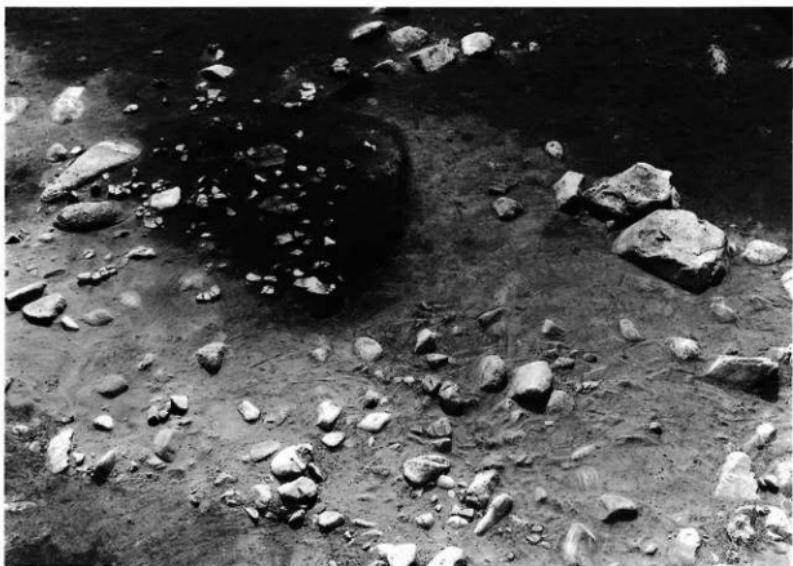


配石遺構09セクション
(北東より)



配石遺構09石検出状況
(北東より)

写真図版26



土器溜まり 8 遺物出土状況（東より）



土器溜まり 8 遺物出土状況（北東より）



土器溜まり 8 東セクション
(南より)



土器溜まり 8 西セクション
(南より)



土器溜まり 8 南セクション
(西より)



土器溜まり 8 北及び
焼土14・15セクション
(西より)



焼土14・15完掘状況
(西より)



土器埋設遺構 2 側面
(南より)



土器埋設遺構 4 セクション
(北より)



配石遺構10石・遺物
出土状況 (北東より)



S 102検出状況（北より）

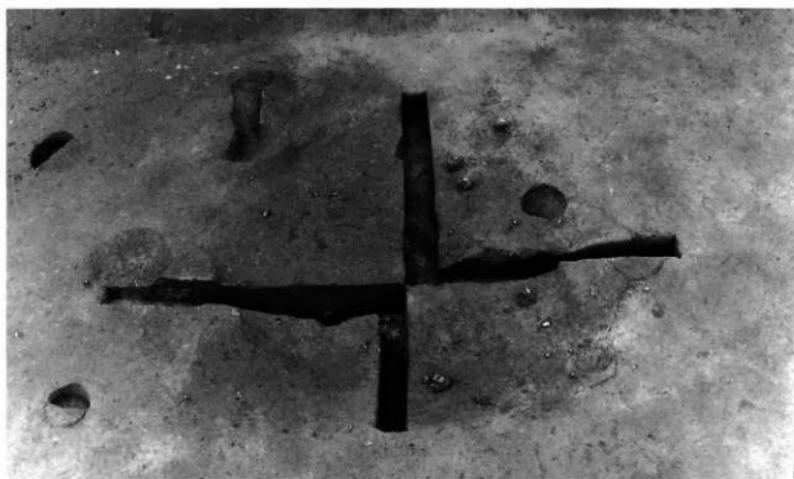


S 102西南セクション
(南西より)



S 102北東セクション
(北東より)

写真図版30



S I 02完掘状況（北より）



焼土16・硬化面5・6
検出状況（東より）



焼土16セクション
(北より)



配石遺構11セクション
(東より)



配石遺構12石検出状況
(東より)



配石遺構13石検出状況(東より)



配石遺構14検出状況(南より)

写真図版32



配石遺構15検出状況
(南東より)



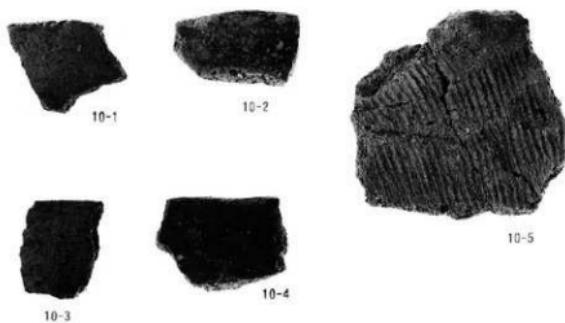
配石遺構16検出状況
(北東より)



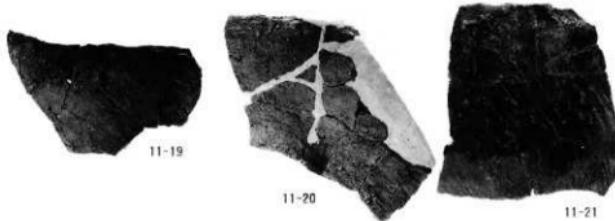
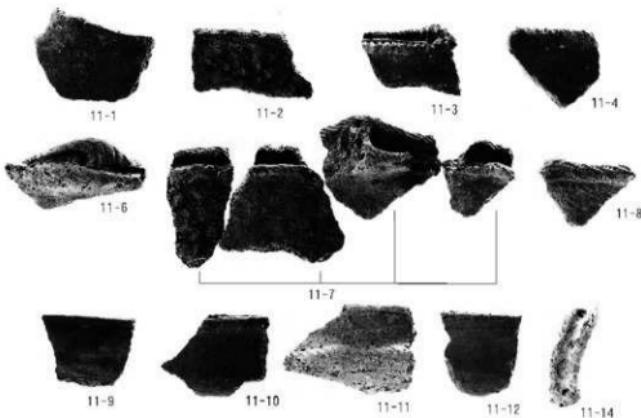
配石遺構17検出状況
(南西より)



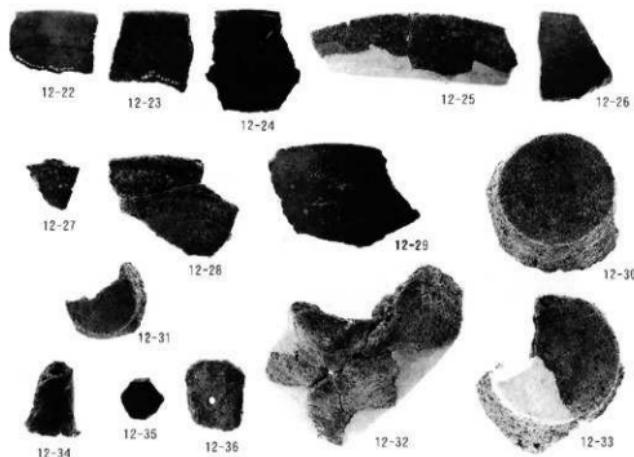
林原遺跡出土土偶



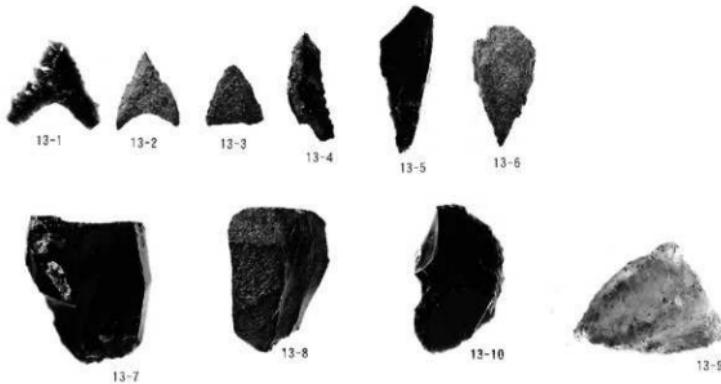
焼土01・03出土遺物



土器溝まり 1-1 出土土器 (1)

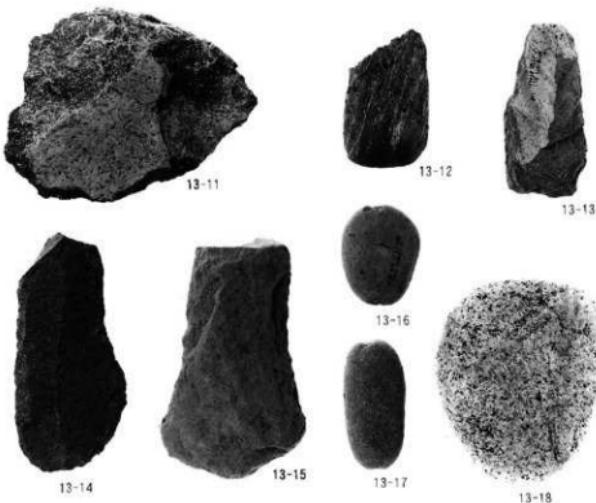


土器溜まり 1-1 出土土器 (2)

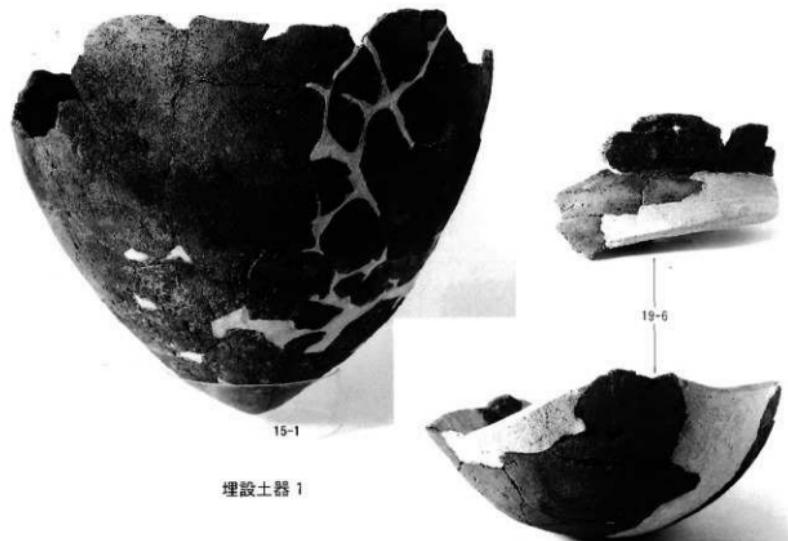


土器溜まり 1-1 出土石器 (1)

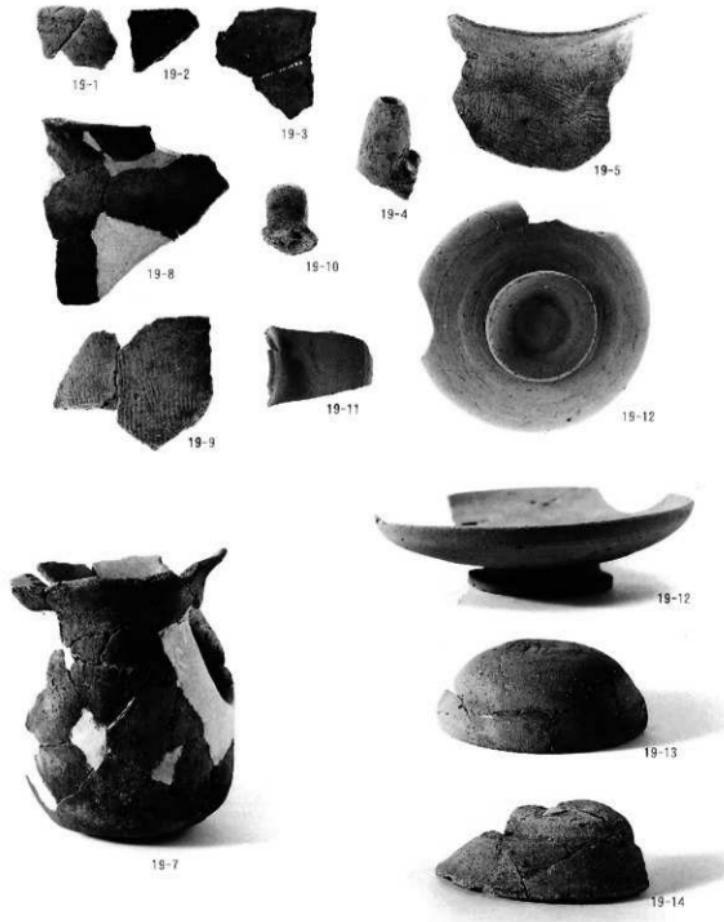
写真図版36



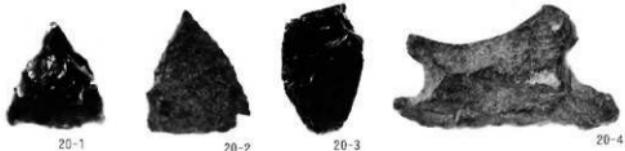
土器溜まり 1-1 出土石器 (2)



埋設土器 1

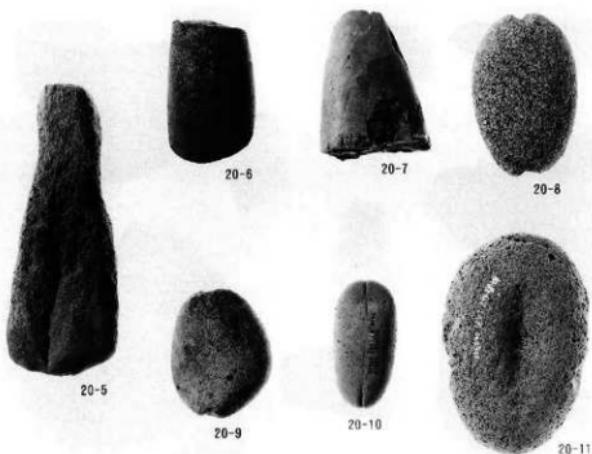


1 a 層出土土器 (2)

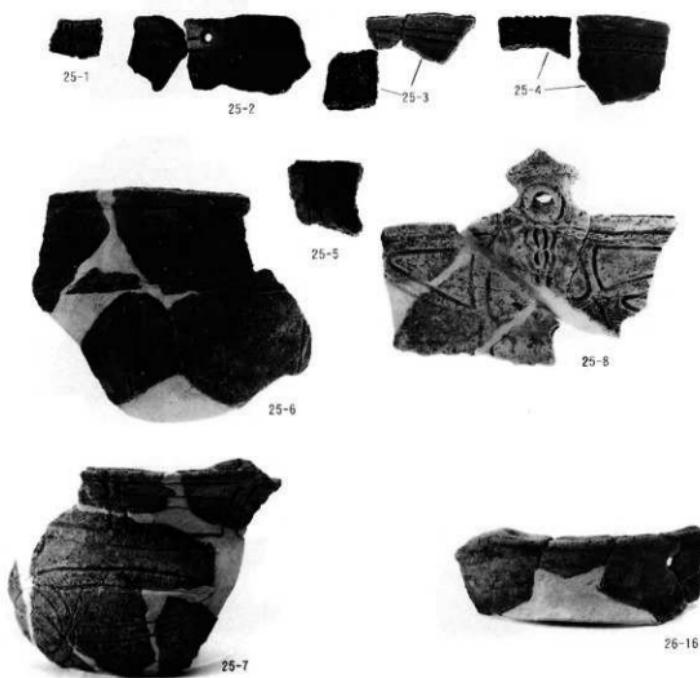


1 a 層出土石器 (1)

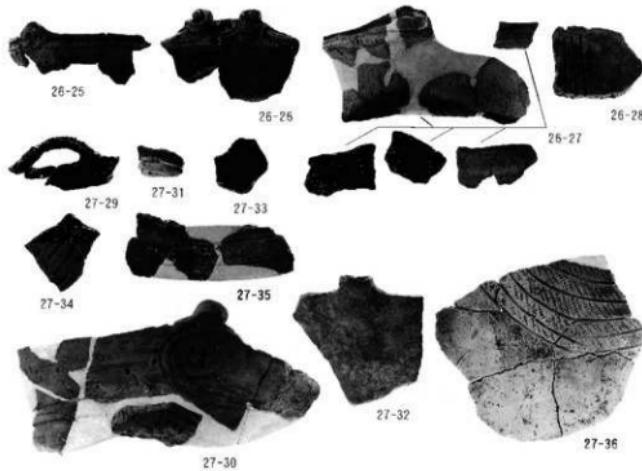
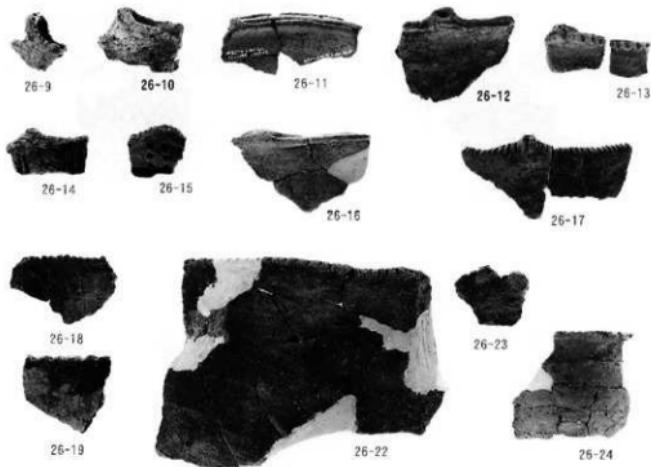
写真図版38



1 a 層出土石器 (2)



土器溜まり 1 - 2 出土土器 (1)



土器溜まり 1 - 2 出土土器 (2)



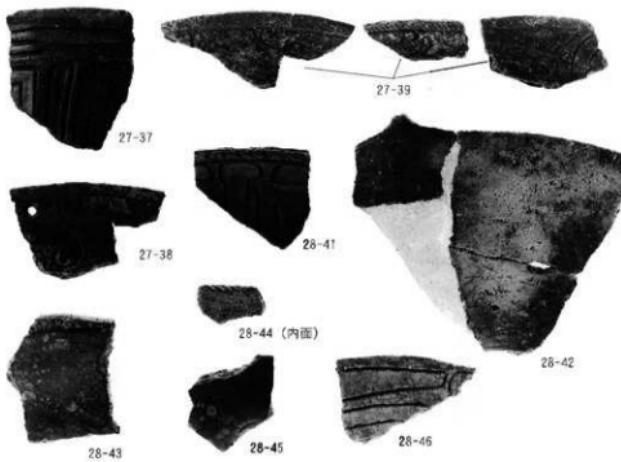
26-20



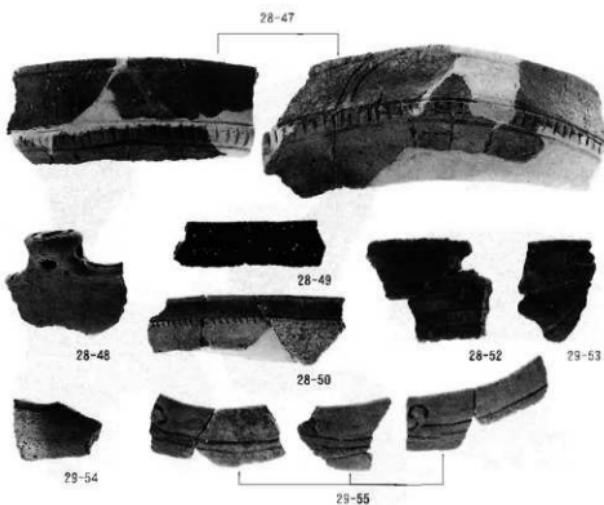
26-21



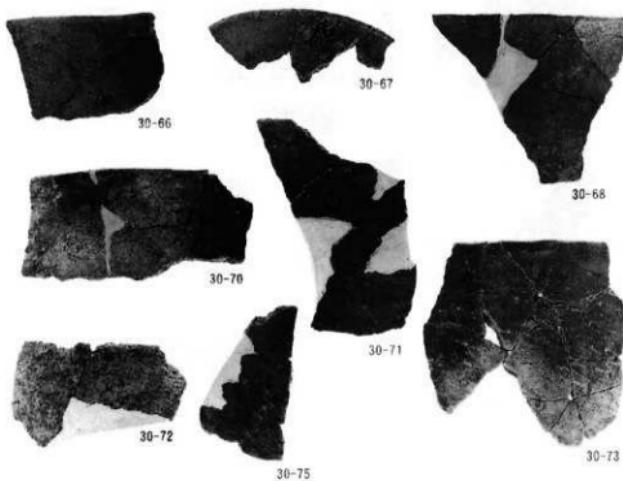
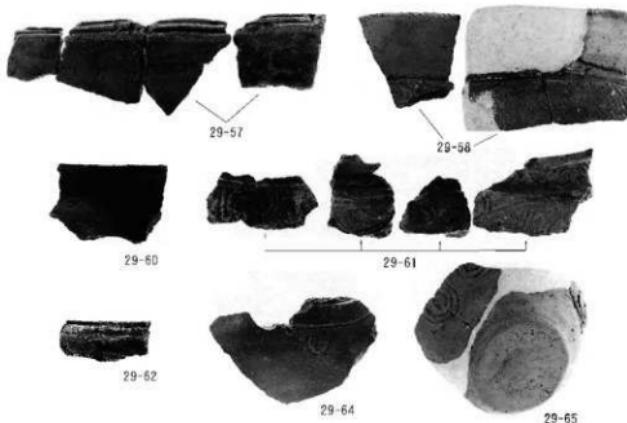
27-40



土器溜まり 1 - 2 出土土器 (3)



土器溜まり 1-2 出土土器 (4)



土器窯より1-2出土土器 (5)



30-76



31-77



31-81



31-82



31-83



31-84

32-87

土器溜まり 1-2 出土土器 (6)



31-78

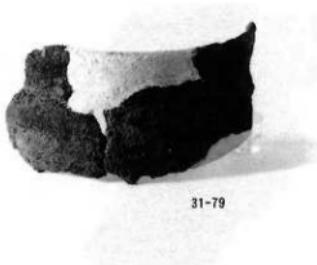


31-85



34-116

土器淹まり 1 - 2 出土土器 (7)



31-79



31-80



32-86



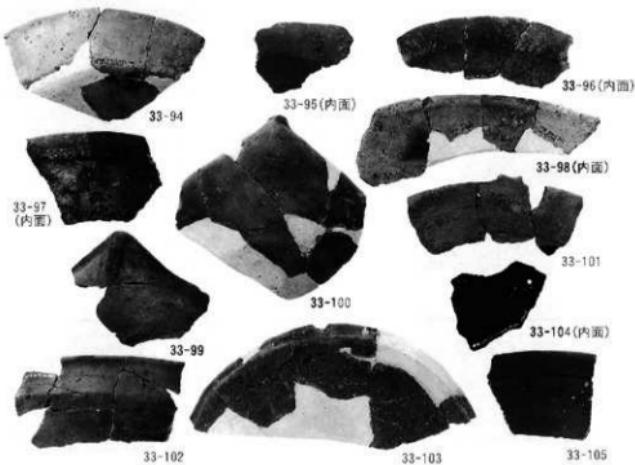
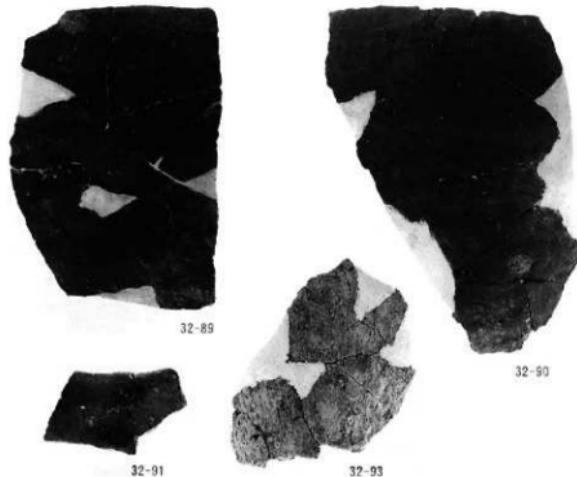
32-92



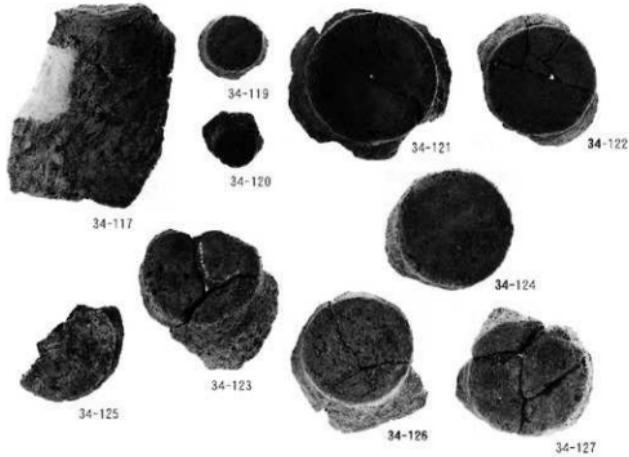
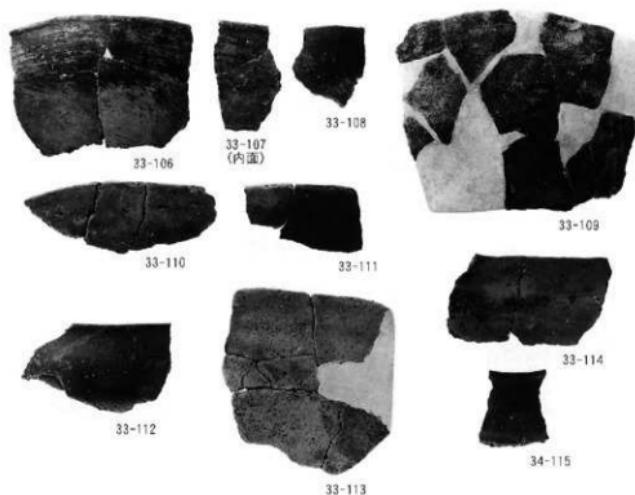
32-88



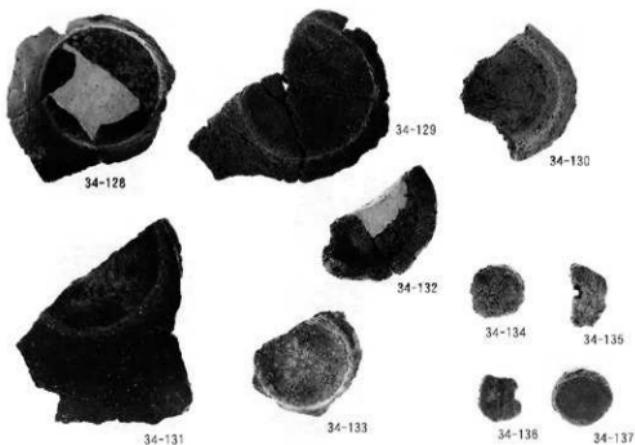
34-118



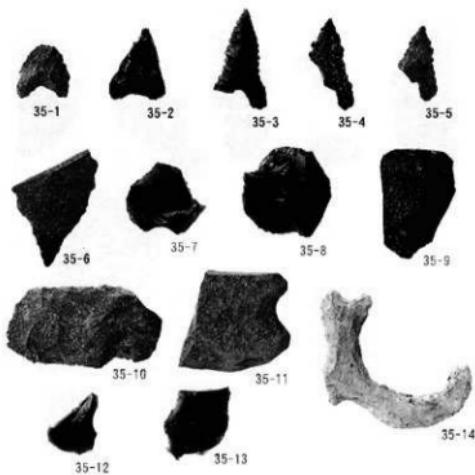
土器溜まり 1 - 2 出土土器 (9)



土器溜まり 1 - 2 出土土器 (10)



土器溜まり 1-2 出土土器 (11)



土器溜まり 1-2 出土石器 (1)